

リアホナ

エズラ・
ベンソン、
フローラ・
ベンソン夫妻——
一致して携わった
主の業, 32ページ

救い主がお教えになったように
教えるには, 24ページ

人生で最も大切な御方,
56ページ

小さな手, 大きなちがい, 64ページ



「塩は良いものだ。
しかし、塩も
ききめがなくなったら、
何によって塩味が
取りもどされようか。」

ルカ 14 : 34

左 —
死海のアイングェティ海岸における
冬の夜明け。前景は塩。



メッセージ

- 4 大管長会メッセージ——
預言者に従う
トーマス・S・モンソン大管長
- 7 家庭訪問メッセージ——
イエス・キリストの特質
——従順な息子

特集

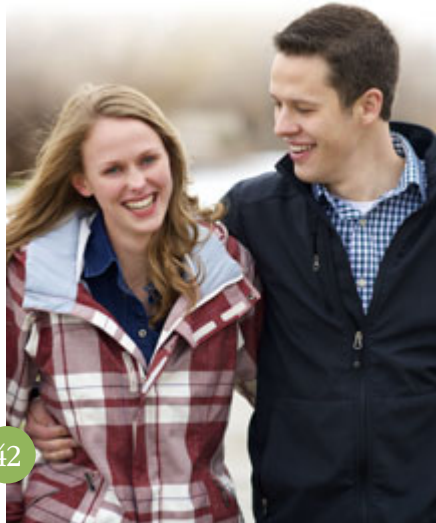
- 18 何を選びますか？
ラッセル・M・ネルソン長老
人生で選択肢がたくさん存在する
とき、正しい選択をしていると確信
できるようにしてください。
- 24 あなたがたは
どのような教師であるべきか
中央日曜学校長
救い主は、御自身の福音の教え方
について、最もよく教えることができ
になります。
- 28 預言者の勧告と神殿の祝福
青柳弘一長老
わたしたちが預言者に従い、神殿
での礼拝を最優先するとき、祝福が
わたしたちの生活に注がれます。
- 32 フローラとわたし——
主の業における対等のパートナー
アロン・L・ウェスト
エズラ・タフト・ベンソン大管長は、
フローラ夫人とともに、愛に満ち、互い
に支え合う結婚生活を享受しました。
そのような結婚生活が第13代大管長
にとっていかに助けとなったかについ
て学んでください。

シリーズ

- 8 2014年10月の大会ノート
- 10 キリストについて語る——
主と一緒に
目を覚ましているひととき
マリーツァ・ゴンザレス・エスペホ
- 12 わたしたちの家庭、
わたしたちの家族——
永遠の家族への道
ガス・ハンブリン、
サンディー・ハンブリン
- 14 熟考——
蛭
デビッド・ライト
- 15 教会での奉仕——
先生にじゃがいもあげる
ボニー・ダールスルッド
- 16 教会のニュース
- 38 末日聖徒の声
- 80 また会う日まで——
どうしたら
主が赦してくださったことが
分かりますか
ハロルド・B・リー大管長

表紙

表紙——
写真/教会歴史図書館の厚意により掲載
表紙裏——
写真/ジラード・マス



42

42 **しばしばともに評議する——**

夫婦の家族会議

ニコール・エック

有意義で実り豊かな家族会議を持つようになる方法

46 **結婚する勇氣**

クリスティアン・ヘグルント

結婚がわたしの踏むべき次の段階であることは分かっていました。でも、どうするべきか主が教えてくださいまで待ちたかったのです。



50

48 **2015年のミューチアルのテーマ**

中央若い女性会長会、
中央若い男性会長会

今年のミューチアルのテーマは、わたしたちが天の御父に最もよく仕えるにはどうしたらよいかを理解する助けになります。

50 **一歩ずつ進む**

ヒラリー・オールセン

イタリアの青少年が、心と、勢力と、思いと、力を尽くして神に仕える方法を分かち合います。

53 **あなたの心と、勢力と、思いと、力を
尽くして神に仕えなさい**

今年のミューチアルのテーマをどのように実践したらよいのでしょうか。幾つかの例を紹介しましょう。

55 **ポスター——出で立とう**

56 **なぜわたしの人生で**

イエス・キリストが重要なのですか
救い主があなたの人生で一番重要である5つの理由を紹介します。

60 **永遠の目標を達成するには**

ロバート・D・ヘイルズ長老

これらの4つの目標は、あなたがこの地上での使命を全うするとき、喜びをもたらすでしょう。

61 **わたしはこのようにして知りました——
わたしの人生の中心**

ロベルト・パッチェッコ・プレーテル

「キリストがアメリカ大陸を訪れられた？」
宣教師は間違っているに違いない、と思いました。

62 **そこが知りたい**

63 **最高の贈り物をする**

マリエラ・ロドリゲス

預言者の勧告に従うことによって、これまでで最高の贈り物をすることができました。



こんげつごう なか かく
今月号の中に隠れている
リアホナを搜しましょう。
ヒント——バスの座席を
見つけてください



71

64 **手をかしてください!**

この子供たちのように、いろんな方法で友だちを助けることで、あなたがいつも友だちを気にかけていることを示すことができます。

66 **新約聖書読書チャレンジ**

この活動は、今年1年間、新約聖書から毎週少しずつ読んでいくのに役立ちます。

69 **自分の時間を使って、よいことをする**

クレイトン・W
寒すぎで外では遊べません。ほくはほかにどんなことができるでしょう。

70 **わたしたちの ページ**

71 **特別な証人——
聖文はどのように
わたしを助けてくれるでしょうか**
ボイド・K・パッカー会長

72 **ひみつ兵器**

ジェシカ・ラーセン
アイビーはクラスで一番小さな女の子でした。彼女が勝利に貢献するなんて、あり得るのでしょうか。

74 **聖文の時間——
イエス・キリストについて 学ぶ旅**

76 **アビーの10の目標リスト**
ローズマリー・M・ウィクソム
あなたが人生で成し遂げたい10の目標は何ですか。

77 **新約聖書に出てくる 人——
しんでんで 教えをつたえられる
イエス**

78 **バスの中のいのり**
ミッツイー・ヒメネス・ラミレス
天のお父様は、あなたがどこにいても、あなたの祈りを聞くことができます。

家庭の夕べのためのアイデア

今月号には、家庭の夕べで活用できる記事や活動が載っています。以下に二つの例を挙げます。



「永遠の目標を達成するには」60 ページ、
「アビーの10の目標リスト」76 ページ
——新年を迎えて、あなたもあなたの家族も、個人および家族として達成したい特定の目標について考えていることでしょう。若い女性が人生で達成したい目標の上位10項目について書かれた、ローズマリー・M・ウィクソム姉妹の記事を読み、子供たちに自分自身の目標を考えるよう勧めてください。年長の子供には、永遠の目標とそれを達成するために計画を立てることの大切さについて書かれた、ロバート・D・ヘイルズ長老の記事について話し合うのもためになるでしょう。家族全員に、自分の目標を書いた紙を家の中で目につく場所に貼っておくように勧めてください。

「新約聖書読書チャレンジ」66 ページ
——家族で新約聖書を読み始めることを提案してみてください。最初に、家族の一人一人にイエス・キリストの生涯から自分の好きな話を分かち合ってもらいましょう。その後、家族で gospelart.lds.org または scripturestories.lds.org を開き、読む箇所にあったビデオや美術作品を探してください。あるいは、読んでいる新約聖書の場面を劇にして演じてみるのもよいでしょう。

あなたの言語で

languages.lds.org で、「リアホナ」や、教会のその他の資料を多くの言語で入手できます。

今月号に採り上げられているテーマ

数字は記事の最初のページを表します。

- | | | |
|---------------------------------|----------------------|------------------------------------|
| 愛, 15 | 悔い改め, 12, 39, 80 | 前世, 18 |
| 争い, 62 | 結婚, 28, 32, 42, 46 | 選択の自由, 18 |
| イエス・キリスト, 7, 10, 24, 56, 61, 74 | 決断, 4, 6, 18 | 総大会, 8 |
| 祈り, 78 | 従順, 7 | 尊敬, 72 |
| 永遠の命, 14, 60, 76 | 贖罪, 10 | 伝道活動, 40, 48, 53, 55, 63 |
| エズラ・タフト・ベンソン, 32 | 信仰箇条, 69 | 奉仕, 15, 38, 41, 48, 50, 53, 55, 64 |
| 教える, 24 | 親切, 72 | 目標, 60, 76 |
| 改心, 12 | 神殿の業, 12, 28 | 誘惑, 14 |
| 家族, 12, 28, 32, 42, 46 | 新約聖書, 66, 68, 74, 77 | 赦し, 80 |
| 教育, 18 | 聖餐, 10 | 預言者, 28, 32 |
| | 聖典, 66, 71 | |



トーマス・S・
モンソン大管長

預言者 に従う

第二次世界大戦の末期、わたしは合衆国海軍に従事しました。海軍で最も低い階級である水兵でした。後に上等水兵の資格を得、次に事務担当の三等兵曹の資格を得ました。

第二次世界大戦が終わり、やがて除隊しました。でも一つ決意したことがありました。もし軍隊に戻ることもあるとするなら士官として働きたいと思ったのです。「避けられるものなら、兵士の食堂はもうたくさんだし、甲板磨きももうやりたくない」と思いました。

除隊後、合衆国海軍予備隊に入隊しました。毎週月曜日の夜には訓練に行きました。学力に関する条件を満たすことができるように熱心に勉強しました。精神面、身体面、情緒面について、ありとあらゆる試験を受けました。そしてついにすばらしい知らせが届きました。「あなたは合衆国海軍予備隊の少尉への任官が認められました。」

わたしは大喜びで妻のフランシスに通知を見せました。「やった、やったよ！」妻はわたしを抱き締め、次のように言ってくれました。「そのために懸命に努力してきたものね。」

ところがその後、あることが起こりました。わたしはワードのビショップリックの顧問に召されたのです。ビショップの評議会集会は、海軍の訓練と同じ日の夜でした。両立するのはとても難しいことが分かりました。海軍予備隊とビショップリックの職務の**両方**に携わる時間はありません。どうすればよいのでしょうか。決断を下す必要がありました。

この件について祈りました。その後、わたしの少年時代のステーキ会長であり、当時十二使徒定員会会員だったハロルド・B・リー長老（1899 - 1973 年）に会いに行きました。

テーブルを挟んでリー長老と向かい合って座り、自分が今回の任官をどれほど大事に思っているかを伝えました。受け取った任命書の写しをリー長老に見せたほどでした。

一瞬考え込んだ後、リー長老はわたしに次のように言いました。「モンソン兄弟、どうするべきか教えましょう。海軍事務局に手紙を書いて、ビショップリックの一員に召されたため合衆国海軍予備隊での任官に応じることはできないと教えてください。」

わたしは心が沈みました。リー長老はこう付け加えました。「それからサンフランシスコの第 12 海軍区の司令官に手紙を書いて、予備隊を除隊したいと伝えてください。」

わたしは言いました。「リー長老は軍隊というものを分かっていらっしゃいません。もし辞退すれば、確かに任官は取りやめになるでしょう。でも第 12 海軍区が除隊を認めてくれることはありません。朝鮮で戦争が起ころうとしているので、下士官〔訳注 —— 士官と兵の間に位する軍人〕は間違いなく召集されることになります。もし呼び戻されるなら士官として戻りたいですが、この任官に応じなかったなら、そうはならないでしょう。本当にこの助言を受け入れるように望んでおられるのですか。」

リー長老は片手をわたしの肩に置き、父親が語るように言いました。「モンソン兄弟、もっと信仰を持ってください。軍隊はあなたの進む道ではありません。」

わたしは家に帰りました。涙の跡が残った任命書を、同封されていた手紙と一緒に封筒に戻し、任官を辞退しました。それから第 12 海軍区に手紙を書き、海軍予備隊からの除隊を申請しました。

わたしは朝鮮戦争の勃発前に海軍予備隊からの除隊を



もしハロルド・B・リー長老の助言に従っていなかったなら、わたしは今日自分が教会で就いている役職に就いてはいないでしょう。

認められた最後の除隊組の一人となりました。そしてわたしの司令部は戦時編制されました。ビショップリックの顧問に召されて6週間後、わたしはワードのビショップに召されました。

もし預言者の助言に従っていなかったなら、あの決断について祈っていなかったなら、そして次の重要な真理を理解するようになっていなかったなら、わたしは今日自分が教会で就いている役職に就いてはいないでしょう。その真理とは、神の知恵は人には愚かなものに思われることが度々ある、ということです。¹ その一方で、わたしたちが現世で学ぶことのできる最も偉大な教訓とは、神が語られ、その子供たちが従うとき、彼らは常に正しいということなのです。

歴史を動かすのは小さなちようつがいであると言われますが、わたしたちの

人生も同じです。数々の決断がその人の行く末を決めるのです。しかし決断を下す際に、わたしたちは助けもなく放っておかれるわけではありません。

もし天の光を見たいなら、もし全能の神の靈感を受けたいなら、もし天の御父が導いてくださっていると胸の内

に感じたいなら、神の預言者に従いましょう。預言者に従うとき、皆さんは安全な領域にいるのです。■

注

1.1 コリント2:14 参照

このメッセージから教える

モンソン大管長のように使徒から個別に助言を受ける機会のある教会員は多くありません。それでも、わたしたちは預言者や使徒の教えに従うときに祝福を受けることができます。最近の総大会でのモンソン大管長の説教を読むとよいでしょう（開会と閉会の言葉にも心を留めてください）。具体的な指示や行動の呼びかけを探してください。学んだことを訪問先の人たちと話し合い、モンソン大管長の助言を実践する方法を考えるとよいでしょう。

このメッセージを青少年や子供に教えるためのアイデアについては、6 ページを参照してください。

難しい選択に対する助言

大管長会第一顧問のヘンリー・B・アイリング管長は、自分が預言者の助言に従ったときの話をしています。ある総大会で、エズラ・タフト・ベンソン大管長（1899 - 1994年）が会員に負債をなくすように、特に住宅ローンを完済するように勧めました。

アイリング管長は次のように述べています。「わたしは大会が終わると、『住宅ローンを完済する方法があると思うか』と妻に尋ねました。最初、そんな方法は思いつきませんでした。」しかしアイリング

管長は、その日の夕方には、何年も前から売り払おうとして売れずにいた不動産のことを考えていました。「主を信頼し、主の僕のメッセージ……を信じて、……わたしたちは……電話をかけました。……わたしの耳に入ってきた返事は、神とその僕を今日に至るまでしっかりと信頼できるようにしてくれるものでした。」その同じ日に、ある人がアイリング家の不動産物件の購入を申し込んでいて、その提示額が彼らの住宅ローンをほんの少しだけ上回る金額だったのです。アイリング家はすぐに

負債から解放されました（「神を信頼し、行って行く」『リアホナ』2010年11月号、72-73参照）。

あなたには支払うべき住宅ローンはないかもしれませんが、預言者の助言は、職業や教育、伝道、デートに関する難しい決断を下せるように、まさに今、あなたを導いてくれます。決断を下さなければならぬときにどのように預言者に従うことができるか、家族や同年代の友達と話し合ってください。

こども

道を 見つける

天のお父さまのところに
もどるためには たくさんの
ことを えらばなければなりません。
よげんしゃに したがうとき、一番
よい えらびが できます。

めいろで 道を見つけてください。
どちらに 行くか えらばなければ
ならないときは、よげんしゃの かん
こくに 目を むけてください。



せいぶんを 読む
みぎに 行く



いのる
したに 行ってから 右に 行く



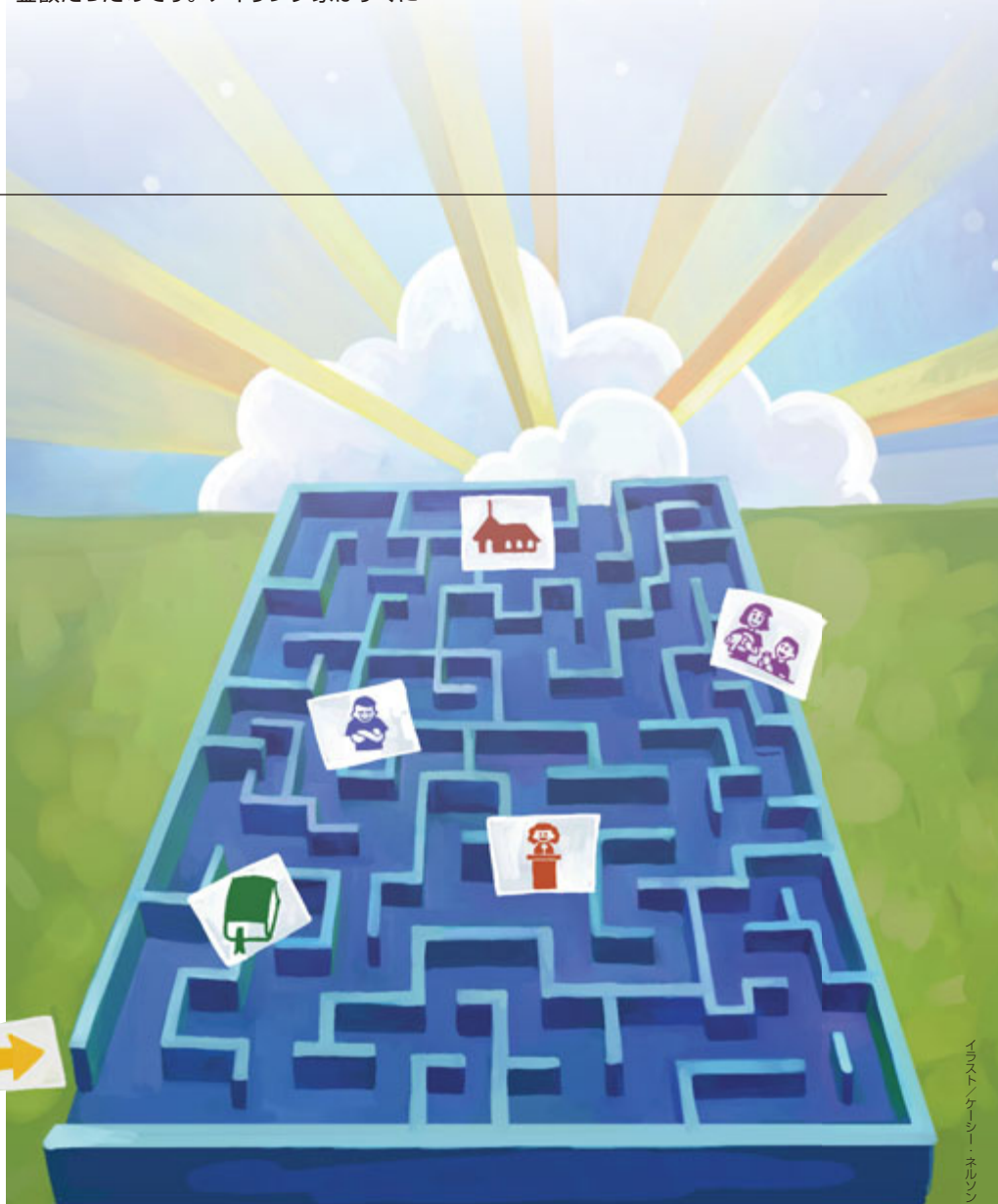
あかしを つたえる
みぎに 行く



人を たすける
したに 行ってから 左に 行く



教会に 行く
うへに 行く



祈りをもってこの資料を学び、何を伝えるべきか分かるよう祈り求めてください。
救い主の生涯と使命が理解できるようになると、救い主を信じるあなたの信仰はどれほど増し、
家庭訪問を通してあなたが見守っている姉妹にどれほど祝福が注がれるでしょうか。
詳しくは <https://www.lds.org/callings/relief-society?lang=jpn> をご覧ください。

イエス・ キリストの特質—— 従順な息子

本記事は、救い主の特質に焦点を当てた
家庭訪問メッセージシリーズの一環です。

イエス・キリストの従順の模範
に従うことで、主を信じるわた
したちの信仰が増します。十二使徒
定員会のジェフリー・R・ホランド
長老はこう言いました。「キリスト
が何よりも先に御自身のことを御父
に関連して定義されたことは驚くに
は当たりません。主は御父を愛し、
忠実な息子として御父に従われたの
です。……従順はまさに天の第一
の律法です。」¹

聖文はこう教えています。「神から
祝福を受けるときは、それが基づく
律法に従うことによるのである。」
(教義と聖約 130:21) わたしたち
は、従順を通して神に近づき、生活
の中に救い主の贖罪しよくざいの力を招くとき
に靈的に成長します。

十二使徒定員会のD・トッド・
クリストファーソン長老はこう話しま
した。「イエス・キリストの福音の
原則と戒めに従順に生活すること
によって、神が聖約の中で約束された



祝福が、絶えず流れ込むようになり
ます。このような祝福は、生きてい
く中で、単に作用される者でなく、
作用する者となるために必要な力
を与えてくれます。……従順に従うな
ら、生活を管理する力が強められ、
自由に動く力、働く力、創造する力
が増します。」²

その他の聖句

ルカ 22:41 - 46; 教義と聖約 82:
10; 93:28

注

1. ジェフリー・R・ホランド, "The Will of the Father in All Things" (ブリガム・ヤング大学ディボーションナル, 1989年1月17日), 4, speeches.byu.edu
2. D・トッド・クリストファーソン「聖約の力」『リアホナ』2009年5月号, 20 - 21
3. デビッド・A・ベドナー「主に帰依する」『リアホナ』2012年11月号, 109



信仰・家族・扶助

聖文から

「戒めに絶えず従順であることから得られる靈的な強さは、他の人に与えることができるでしょうか。」十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老はそのように尋ね、自らこう答えました。「できないというのが、〔この〕問いに対する明白な答えです。」³

10人のおとめのたとえは、この原則の一例です。おとめの全員が「花婿を迎え」るために明かりを持って行きましたが、5人の思慮深いおとめたちだけが明かりと一緒に、入れ物の中に油を用意していました。他の5人の思慮の浅いおとめたちは「油を用意していなかった」のです。

夜中に、「さあ、花婿だ、迎えに出なさい」と呼ぶ声がしました。おとめたちは皆起きて、それぞれ明かりを整えました。しかし、思慮の浅いおとめたちには油がありませんでした。彼女たちは思慮深いおとめたちにこう言いました。「あなたがたの油をわたしたちにわけてください。わたしたちのあかりが消えかかっていますから。」

すると、思慮深いおとめたちは答えて言いました。「わたしたちとあなたがたとに足りるだけは、多分ないでしょう。店に行って、あなたがたの分をお買いになる方がよいでしょう。」思慮の浅いおとめたちが買いに出ているうちに、花婿が到着し、思慮深いおとめたちは、花婿と一緒に部屋に入り、そして「戸がしめられた」のです。(マタイ 25:1 - 13)

考えてみましょう

聖文に記された従順の例としてどのようなものがありますか。

2014年10月の大会ノート

「主なるわたしが語ったことは、わたしが語ったのであ〔る。〕……
わたし自身の声によろうと、わたしの僕たちしもべの声によろうと、それは同じである。」
(教義と聖約1:38)

2014年10月の総大会を読み返す際に、このページ(および今後の「大会ノート」)を使って、
生ける預言者と使徒、他の教会指導者の最近の教えを学び、生活に取り入れることができます。

教義的な重要点



わたしたちは生ける預言者によって導かれている

「昨年、モンソン大管長が教会の大管長として節目の5年という奉仕の期間に達したとき、使徒としての50年の奉仕を振り返って、次のように言いました。……『わたしは皆さんに断言します。教会は正しい道を歩んでいます。大管長会と十二〔使徒〕定員会の評議会のために定められたシステムが保証していることは、教会がこれからも正しい道を歩んでいくということです。そして、何が起ころうとも、心配することも恐れることもないということです。』

わたしたちが従い、わたしたちが礼拝し、わたしたちが仕える救い主である

イエス・キリストが舵かじを取っておられるのです。』¹

モンソン大管長、わたしたちはこうした真理にあずかっていることを大管長に感謝しています。また、生涯にわたって模範を示し、献身的な奉仕をして下さっていることに感謝します。……手を挙げるだけではなく、心を込め、神聖な努力を重ねることによって、大管長を支持します。」

ラッセル・M・ネルソン長老
「預言者を支持する」『リアホナ』2014年11月号、76

注
1. "Message from President Thomas S. Monson,"
Church News, 2013年2月3日付, 9

預言者の約束



キリストの歩まれた道

「イエスは人に永遠の命を得させるために亡くられました。そして、わたしたちが主の御言葉を学び、主の教えに従い、主の歩まれた道を歩んでキリストを生活の中心にするよう努めるならば、御自身が持っておられるのと同じ永遠の命を与えると約束しておられます。これ以上の目標はありません。主の懲らしめを受け入れてイエスの弟子となり、生涯イエスの業を行うことを選ぶべきです。それ以外の何を選ぶとも、イエスがお与えになる祝福を受けることはできません。」

トーマス・S・モンソン大管長
「あなたの足の道に気をつけよ」
『リアホナ』2014年11月号、88



すべての人が 断食によって 祝福される

「断食の律法に従う人々には霊的にも物質的にも奇跡が訪れることを証します。……少なくとも月に1度、その神聖な機会を大切に、状況が許す

限り惜しみなく、断食献金やその他の人道、教育、伝道のための献金をささげましょう。わたしは約束します。神は皆さんを惜しみなく祝福し、皆さんの援助を受けた人は永遠にわたって皆さんを祝福された人と呼ぶでしょう。」

ジェフリー・R・ホランド長老
「わたしたちは皆、物乞いではないだろうか」
『リアホナ』2014年11月号、41-42参照



あなたのための答え

各大会で、預言者と指導者は教会員が抱くかもしれない疑問に靈感を受けて答えています。それらの疑問への答えを見つけるには、『リアホナ』2014年11月号を読むか、lds.org/general-conference?lang=jpn にアクセスしてください。

- 天の御父とイエス・キリストはどのように一つなのでしょう。ロバート・D・ヘイルズ「永遠の命——天の御父と御子イエス・キリストとを知ること」80参照
- 証とは何でしょうか。どうしたら証を得られるでしょうか。クレグ・C・クリステンセン「自分自身で知っている」50
- 自分の疑問への答えを探し求めている間、何をするべきでしょうか。M・ラッセル・バラード「船にとどまり、つかまっていなさい」89参照

類似点を見つける

神殿

同じ福音のテーマで複数の話者が話すことが時折あります。3人の話者が神殿について語ったことを次に挙げます。

- 「神殿では、靈感や啓示、そして人生の逆境に立ち向かう力を得ることができます。」——リンダ・K・バートン姉妹「まったく知られていなかった方法で備えをしていた」111
- 「神殿で感じる養いの御霊により、わたしたちは生活の中で救い主の贖罪の真実性と、それがもたらす力と希望を知ることができます。」——ニール・F・マリオット姉妹「光を分かち合う」117
- 「神が心から惜しみなく与えてくださる全ての祝福を受けたいと思うなら、わたしたちは地上で神殿へ向かう道を歩まなくてはなりません。神殿は神の愛の表れです。」——ジーン・A・スティーブンス姉妹「神の聖約の娘たち」114



総大会の説教を読んだり、見たり、聴いたりするには、lds.org/general-conference?lang=jpn にアクセスしてください。

主と一緒に目を覚ましているひととき

マリーツァ・ゴンザレス・エスペホ

ある日、^{せいさん}聖餐会の話の準備をしようとして、『リアホナ』2008年3月号に掲載された、十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老の「イエス・キリストの^{しよくざい}贖罪」という記事を丹念に読んでいました。ホランド長老はその記事の中で、オーソン・F・ホイットニー長老（1855 - 1931年）が夢でゲツセマネの園における救い主の御姿^{しよすがた}を見たことについて述べています。ホイットニー長老は、目の前で救い主がどのような痛みと苦しみを受けておられたかを述べてから、このように記しています。

「それからイエスは立ち上がると、使徒たちがひざまずいている所へ行かれました。彼らはすっかり眠り込んでいました。イエスは彼らを優しく揺り動かして起こすと、いささかの怒りも非難も表すことなく、穏やかにとがめる口調で、ひとときも一緒に目を覚ましていることができないのかとお尋ねになりました。……

イエスは先ほどの場所に戻って再び祈り、その後使徒たちのもとへ来られると、彼らはまたもや眠っていました。再び彼らを起こし、いさめると、また戻って前と同じように祈られました。これが3度繰り返されました。」¹

この記事を読んでいると、心に啓示の霊が注がれました。その瞬間に、

「ひととき主と一緒に目を覚まして」いられるかどうかは、毎週日曜日の聖餐会にどのような姿勢で臨むかにかかっていることが分かりました。このときから、聖餐会はさらに深く天の御父に祈れるひとときであることを学びました。どのようなときでも祈ることが基本ですが、^{みたま}御霊がとどまる聖餐のひとときは、自分を高めて天の御父と救い主イエス・キリストに近づく機会なのです。主に思いを向けるとき、それはある意味において、主がわたしたちの罪

をその身に引き受けて激しい苦痛に耐えておられる瞬間に、主のそばにいます。聖餐の時間は、主がわたしたちのために受けられた苦しみに感謝するときなのです。

わたしにとって、聖餐会は何よりも大切に、無限の救いのひとときです。聖餐会は、交わした聖約を尊んで救い主の完全な模範に従うことを思い出し、祈りと御霊を通して決意する神聖なひとときとなっています。主が生きておられ、わたしを愛してくださ



敬虔な内省のとき

「聖餐式は力強く敬虔なひとときであり、内省のときであるべきです。また、霊的な気持ちや思いを鼓舞するときです。ですから、聖餐式は急いで行うべきものではありません。また、『さっさと終わらせる』ものでもありませんので、聖餐の真の目的が果たせるように行わなくてはならないのです。聖餐会の真の目的は、**確かに**今申し上げたとおりですが、聖餐会で行われる話や歌、祈りは全てこの神聖な儀式の意義に添ったものでなくてはなりません。」

十二使徒定員会 ジェフリー・R・ホランド長老
「わたしを記念するため、このように行いなさい」
『聖徒の道』1996年1月号、73参照



ていることを知っています。主の犠牲と主が流された貴い血を通してのみ、わたしたちが皆救いを受けられることを知っています。これが真実であると確信しています。なぜなら、「主と一緒に目を覚まして」いるように努力することにより、理解力が広がり、人生が祝福され、そして主のみもとでの永遠の命に対する洞察が深まったからです。■

筆者はペルー、イカ在住です。

注

1. オーソン・F・ホイットニーの言葉。ジェフリー・R・ホランド「イエス・キリストの贖罪」『リアホナ』2008年3月号, 33 参照

聖餐を受けることはわたしの生活をどのように変えるでしょうか

2012年10月の総大会で、七十人のドン・R・クラーク長老は「聖餐のために適切に備えるならば、わたしたちは生活を変えることができます」と教えました。そして、「ふさわしい状態で聖餐を受けるときにわたしたちの生活に祝福をもたらす5つの原則」を提案しました。

1. イエス・キリストの贖罪に対する感謝の気持ちを持つ。
2. バプテスマの聖約を新たにしていることを思い起こす。
3. 罪の赦しを感じるができるように求める。
4. 問題を解決するために靈感を求め。
5. 聖霊に満たされるようにふさわしい状態で聖餐を受ける。

クラーク長老は次のように約束しています。「礼拝の中心が聖餐であるならば、聖餐会は常にすばらしいものとなるでしょう。」¹

注

1. ドン・R・クラーク「聖餐から受ける祝福」『リアホナ』2012年11月号, 104 - 106 参照

永遠の家族への道

ガース・ハン布林, サンディー・ハン布林

アカウ・オラ家族は改宗すると、神殿に参入する決心をしました。

ある日曜日の朝、トンガに住むシオベ・アカウ・オラは友人とほとんど夜通しで酒とカワカワ〔訳注——コショウ科の灌木かんぼくから作られる嗜好飲料〕を飲んだ後、家に向かっていました。すると、よそ行きの服を着た家族の姿が目に入りました。彼らは一緒に歩きながら、笑ったり話したりしていました。シオベは彼らがどうしてそんなに幸せそうなのか不思議に思い、どこに向かっているのかを見届けるために後について行きました。

その家族が末日聖徒の教会の建物に入っていくのが見えました。窓からのぞいていると、他の人々もやってきました。家族一緒に座り、礼拝の歌を歌う顔が幸せそうに輝いていました。

シオベは妻のリウについて考え始めました。結婚当初に互いに抱いていた愛が薄れかけていました。シオベはその愛を取り戻したいと思いました。大急ぎで家に帰り、「家族がうまくいく方法を見つけたよ」と妻に言いました。そのためには、家族で教会に入る必要がありました。

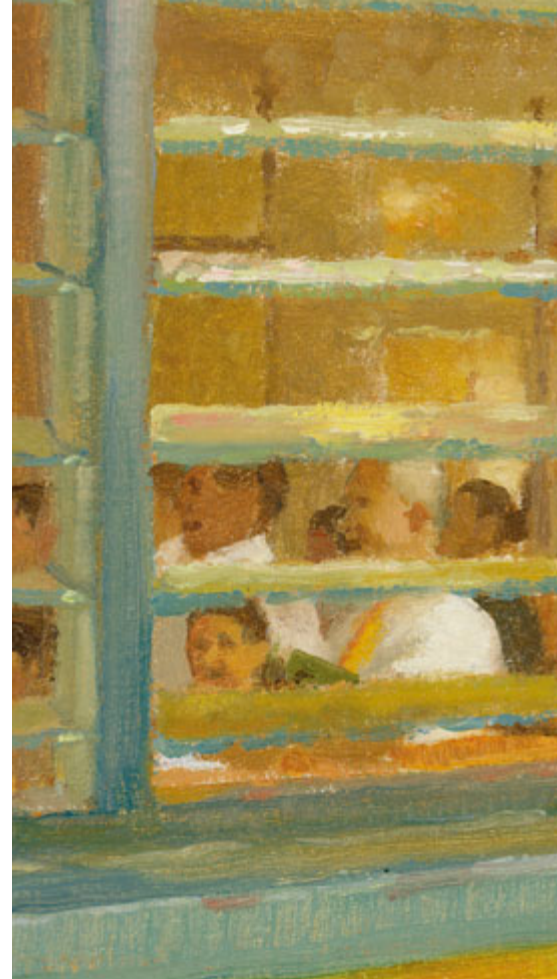
その日のうちに、シオベは同じ村に住むビショップの家に行きました。ビショップはシオベに見覚えがありました。通りで酔っ払っている姿を見たことがあるからです。話をしているとき、シオベにはビショップがいぶかしげな表情をしているのが分かりましたが、決心が揺らぐことはありませんでした。

「バプテスマを受けたいのです」と思い切ってビショップに伝えました。ビショップは話を中断してシオベを招き入れ、イエス・キリストの福音を教え始めました。

最初、リウは気が進みませんでした。夫が次第に良い方に変わっていく姿を見守っていました。シオベは子供ともっと一緒に過ごすようになり、行いを通して妻や家族にもっと愛を示すようになりました。そうするうちにリウも宣教師から福音を学び始め、間もなく二人ともバプテスマを受けました。

バプテスマを受けて1年が過ぎようとしていたとき、アカウ・オラ家族は神殿のすばらしい祝福について深く考えました。シオベはこう言いました。「考えてごらん。バプテスマを受けてから得てきた祝福より神殿の祝福がはるかに大きいなら、神殿の祝福はこの上なくすばらしいものに違いない。」彼らは結び固めを受けたいと願いましたが、トンガの神殿は改装中で、1年以上待つか、あるいは神殿に入るために高い旅費をかけてニュージーランドかフィジーに行かなければなりませんでした。

家族は一生懸命に考え、どうすればよいか祈りました。最終的に、少額のローンを組むことにしました。その承認を待っている間に、ローンを審査していた銀行が火事で全焼してしまいました。一切のローンが下りるのは

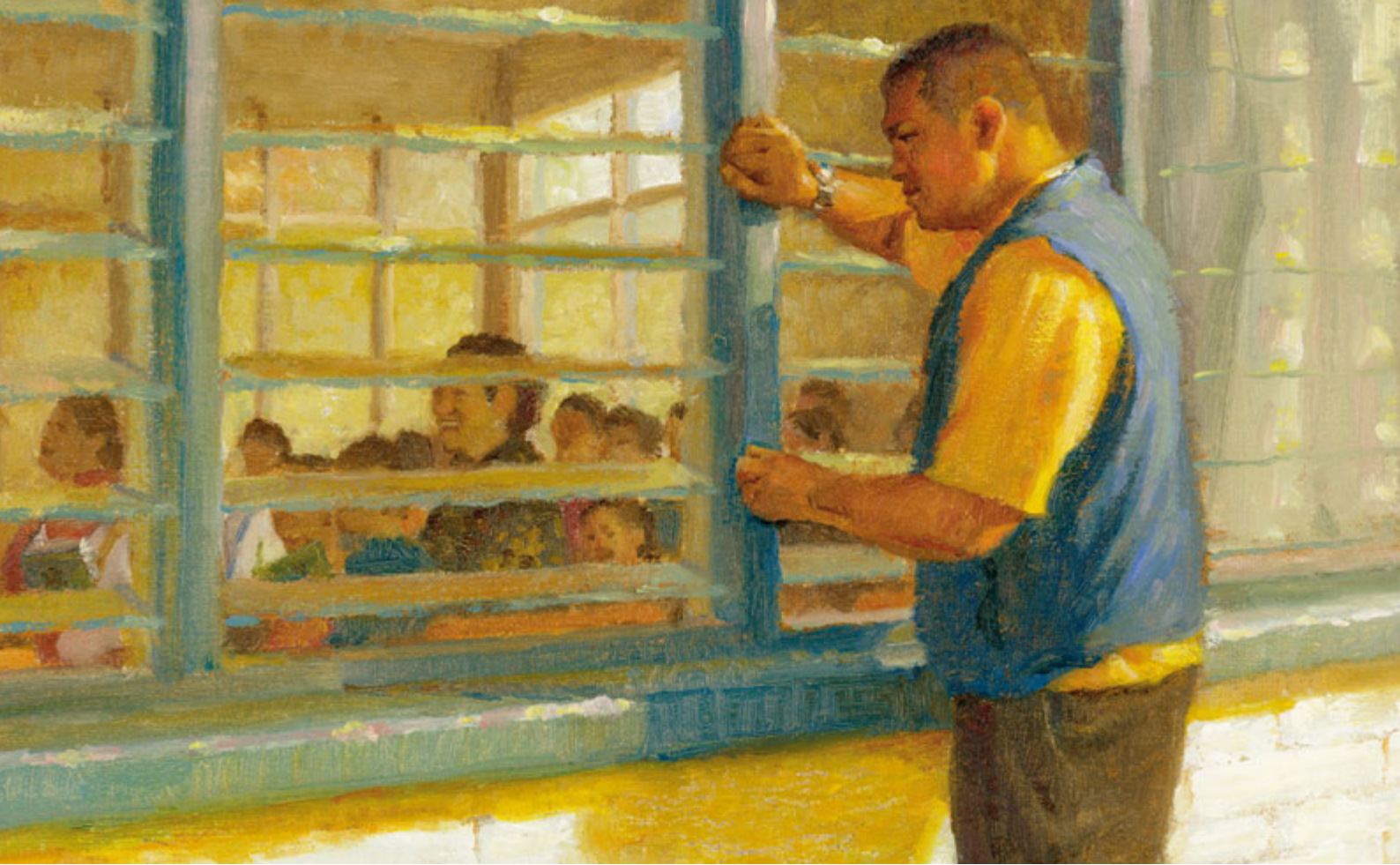


翌年まで延期になりました。

シオベとリウはすっかり落胆しました。小さな居間に二人で座り、奇跡が起きるように祈りました。一緒に祈り、話し合っていると答えを受けました。「心の中で我が家のワゴン車がわたしたちにほほえみかけているのが見えました。それが祈りの答えであると確信しました」とシオベは言います。次の日、ワゴン車を売却し、家族5人でフィジーに行く航空券を購入することができました。

夜遅くフィジーのナンディに着きました。3人の子供は疲れ切っていて、しかもスバ神殿まで車で長時間かけて移動しなければなりませんでした。リウはこう言います。「主の宮に近づこうとすればするほど、祝福を受ける前に断念させようと、サタンがますます躍起になるのが分かりました。」

空港で座ってこれからどうしたらよいか決めようとしていると、一人の



女性が助けてくれました。通常よりもかなり安い料金で、宿と次の日スパに行く交通手段を手配できました。神が自分たちを助けるために天使を送ってくださったと感じました。

次の日に神殿に到着しました。リウは次のように話しています。「神殿に入ると、心が和み穏やかな気持ちになりました。これまで、神殿の中にあるような清さと白さを見たことがありません。」心にこんな思いが浮かんできました。「人が建てた神殿がこれほど美しいのなら、天の御父がわたしたちに約束された天の住まいはどんなに素晴らしいことでしょう！」

神殿での経験は、家族の人生を変えるものでした。リウはこう言います。「フィジーにいた間ずっと、わたしたちに対する天の御父の愛を感じました。神に従うことを選ぶと、神は本当に豊かに祝福してくださいます。」

アカウ・オラ家族には帰国した後もすばらしい祝福が注がれ続けました。シオベとリウは二人とも大学の奨学金を受けて教員課程を修了し、リアホナ高等学校に採用されました。

高校で教えているうちに、住む家が必要な子供たちがいることに気づきました。あるときは1人で、たいていは2、3人単位で、子供がシオベとリウの

家のドアをたたくようになり、シオベとリウはその子供たちを受け入れました。現在、彼らの小さな家には20人が住んでいます。他にも大学に通うため、または伝道のために家を離れている「養子」が5人います。

シオベとリウは、この子供たちが愛され、人生の進路について指導を受けると、成長し、才能を開花させることを知っています。教会員でなかった子供たちは福音を受け入れ、今ではもう伝道に出る望みを抱くようになっています。シオベとリウは、世話をしている子供たちをうちの子と呼び、子供たちは皆シオベとリウを「お父さん」「お母さん」と呼んでいます。アカウ・オラ家族は自分たちが豊かに祝福されてきたことをよく知っているため、その祝福を喜んで分かち合いたいと思っています。■

筆者はアメリカ合衆国アラスカ州出身で、現在トンガで夫婦宣教師として奉仕しています。



蛍

デビッド・ライト

わたしたちが目を向けているのは永遠の報いでしょうか。それとも何か別のものでしょうか。

数年前、わたしはアグアテカと呼ばれる考古学調査の現場で働いていました。その場所は、グアテマラの美しい秘境にあり、曲がりくねったペテシュバトゥン川を長時間ボートで上る以外にたどり着くことができません。

ある晩、近隣の現場で一日過ごした後、数人の考古学者とともにアグアテカへ帰るところでした。モーターが静かにうなる音と虫の鳴き声だけが響く川をボートで上っているとき、わたしはボートの縁に寄りかかり、穏やかな航行と、月のない、いつになくよく晴れた夜の景色を満喫していました。川が蛇のようにくねっている部分を通って行くとき、わたしは北極星を目で追って方向感覚を保とうとしました。北極星はときどき、川岸に並ぶ樹木の影に隠れて見えなくなりましたが、必ずすぐにまた現れました。

川のある湾曲部分で北極星は再びこずえに隠れてしまい、見失ってしまいました。一旦ボートが南に向きを変えると、すぐにまた見つけました。わたしは経験豊かな航海士のような気分になり、常に正しい方角を把握している自分の能力を誇りに思いました。しかし、少しの間じっと見詰めていると、見間違えていることに気がつきました。わたしが見つけたのは北極星どころか、星でもありませんでした。蛍を見ていたのです。

このとき初めて、わたしの上に見えた「星」の多くが、実際は暖かい夜空

を無音で飛び交う蛍であることに気がつきました。驚いたことに、頭上にいる数十匹の蛍の光は、遠くの星や星雲の光とほとんど同じ明るさだったため、川に沿ってボートが右へ左へと向きを変えているうちに、二つの光をいとも簡単に見間違えてしまったのです。

「小さな蛍とほぼ無限の輝きを放つ星を見間違えたのは一体なぜだろうか」と不思議に思いましたが、答えははっきりしていました。単なる見え方の問題なのです。比較的かすかではかない蛍の光が星の光に匹敵したのは、単に、蛍がわたしのほんの1、2メートル上において、星がはるか遠くにあったからです。わたしの目にはどちらも同じように見えたのです。

蛍のように、誘惑や試練はわたしたちのすぐそばにあるので、大きく見えます。一方、約束された祝福は、星の

ようにはるか遠くにあるように見えることがあります。

霊的な目の視力が弱いと、様々な結果を引き起こしかねません。報いが遠く見えれば見えるほど、悔い改めの目を引き延ばしても天の御父のもとに帰って永遠の受け継ぎを求めることができると思います（アルマ34：33-34参照）。永遠の報いを疑うようになるかもしれませんし、または遠い将来に受けるはずの祝福を待つよりも、生まれながらの人としての欲望を今すぐに満たす方が楽しいと思いついてしまうかもしれません。生涯にわたって罪と戦い続けることを恐れるかもしれませんし、サタンが何度も仕掛ける誘惑に負けないよう主が助けてくださるといふ信仰を持ってないかもしれません。

わたしたちは皆、時として永遠の見地を見失います。大切なのは、それをできるだけ早く取り戻すことです。この世は魅力的な、偽りの報いを提供するかもしれませんが、人生の紆余曲折にあってイエス・キリストに頼り、真に主が「ご自身を求める者に報いて下さる」御方であると信頼することができます（ヘブル11：6）。

あの川をボートで航行してからも何年もたちますが、今も誘惑に直面すると立ち止まって自分自身に言い聞かせます。「あれは蛍にすぎないのだ」と。

■
筆者はアメリカ合衆国フロリダ州在住です。



先生にじゃがいもあげる

ボニー・ダールスルッド

毎回立派な奉仕をする必要はないことを学びました。ささやかな愛の行いも、十分すばらしいのです。

25年以上小学校の教師をしていると、生徒から面白いものをたくさんもらいます。たわいない手紙、手描きの絵、創意に富んだ作品はよくあるプレゼントです。そんな中、昨年初めてじゃがいもをもらいました。

「先生にじゃがいもあげる。」小さなエマはわたしの机に来て得意げに言いました。「だって、りんごがなかったんだもの。」そのじゃがいもは中くらいの大きさで、きれいに洗ってあり、じゃがいもとしては形のいいものでした。わたしはエマに「ありがとう」と言って机の上に置きました。その日、エマがじゃがいもを見るたびに大きな青い目が得意げに輝くのが分かりました。

放課後、机に向かって仕事をしていると、じゃがいもを見てほほえまずにいらませんでした。子供は非常に単純な物の見方をします。そしてあのごく普通のじゃがいもによって、エマは大切なことを教えてくれました。そのことを忘れないように、わたしはそのじゃがいもを1週間以上机の上に置きました。

訪問教師やワードの姉妹と

して、わたしは人に奉仕したいと思っていますが、いつも「りんご」が手に入るのを待ってから助ける時間を取っていました。忙しくて料理を多めに作れなかったり、特別な花をプレゼントしたくても花屋に行けなかったりしたら、わたしの奉仕が必要な人についてささやく御霊の静かな細い声を無視していました。

「今度の週末の時間があるときにしよう。今日はきっと誰にも必要とされていないわ」と自分を納得させていました。

しかし、誰かが本当にわたしを必要としていたらどうでしょうか。高齢の隣人や、夫を亡くしたばかりの若い女性を訪ねなさいという促しを無視していなかったらどうだったでしょうか。

そのとき差し出せるものが「じゃがいも」だったとしても、人を助け、奉仕することができたのではないのでしょうか。

わたしはエマから学んだ大切な教訓を一生懸命実践しようとしています。りんごが手元になくても、代わりにじゃがいもを、しかもすぐに差し出します。差し入れの料理や自慢のレモンクリームパイを作るまで待つのではなく、代わりにクッキーを買って行きます。花屋に行けないことがしばしばですが、花がなくてもちょっと立ち寄って話をすることができます。手作りのカードはすばらしいですが、すぐに電話をかけるのもすばらしいのです。毎回立派な奉仕をする必要はありません。ささやかな愛の行いも十分すばらしいのです。

そのじゃがいもはもう自宅に持ち帰っていますが、きっと食べることはないと思います。促しを受けたときに奉仕することをいつも思い出させてくれるものだからです。もっと後まで待つのではなく、今できることをします。生徒がくれたじゃがいもは、本当に一番すてきな贈り物でした。■

筆者はアメリカ合衆国ユタ州在住です。



教会のニュース

教会のニュースや出来事についてもっとお知りになりたい方は
lds.org/church/news?lang=jpn にアクセスしてください。

条件の変更により、セミナリーの生徒の 学習の質を高めることが求められる

生徒の「学習の質を高める」助けとなる、セミナリーの新しい卒業条件が、全教会で実施される。今年の「教義と聖約および教会歴史」から適用されるこの条件には、以下の二つの重要点がある。

1. セミナリーの生徒には、出席状況とビショップまたは支部会長の推薦を基に単位を取得するだけでなく、その年に学ぶ聖典を読むことが求められる。聖文を読むことはこれ

一緒に聖文を学ぶ南アメリカ、
ガイアナの生徒たち。



までも強く勧められてきたが、それが卒業条件になったのである。

2. 生徒は、セミナリーのコースで学んでいる内容の理解度調査を年度中に2回受け、75パーセント以上を取らなければならない。この理解度調査は、年度の間と年度末に実施される。この調査では、おもに教義の理解度と、福音の原則を日々の生活に応用できるかどうか問われる。

セミナリーの新しい条件は、『わたしの福音を宣べ伝えなさい——伝道活動のガイド』および日曜日の青少年用教科課程「わたしに従ってきなさい」とともに、自分で証^{あかし}を得、福音の理解を深め、福音の知識を人に伝える力を高める機会を青少年に提供し、これによって青少年は、奉仕の生活と、弟子として歩む生活に備えることができるようになる。

年度末ごとに生徒たちは、必要条件（聖文読了と理解度調査の結果を含む）を満たしたことを示す証明書か、出席条件を満たしたことを認定する証明書のいずれかを受け取ることになる。



索引作成チャレンジ、 記録を塗り替える

国際索引作成チャレンジの参加者が、新しい記録を打ち立てた。オンラインでの参加者が、1日で最多の索引を作成したのである。2014年7月22日、6万6,511人のボランティアがインターネット上で歴史記録を見て情報を書き写し、それらはFamilySearch.orgにある検索可能なデータベースに加えられた。1日で入力した件数のこれまでの最多記録は、2012年7月に1940年合衆国国勢調査の索引作成でボランティアたちが打ち立てた4万9,025件であった。

今回のチャレンジでは、合計数（索引作成と確認作業）でも、570万件を超す史上第2位の記録を打ち立てている。（二人のボランティアが各記録の索引作成を行い、その二人とは別の、確認者と呼ばれる人が見直して、内容と正確さを確認する。）

フランス、トゥールーズのクルエビショップはこう言っている。「会員たちは若い人も年配の人も、喜んで参加していましたよ。何とすばらしいことでしょう。」

ウェールズのクリストファー・ジョーンズは次のように語っている。「家庭の夕べをその日に行くことにして、両親と、上は18歳から下は5歳まで7人の子供全員で索引作成を行いました。家族全員で、900件以上の索引を作成しましたよ。」

タイ、バンコクのナタリー・テリーは、世界規模の索引作成の日に13歳の娘と一緒に参加できてよかったと言っている。そして、イングランド、チョーリーのクリス・シュレッドは、新たに30件ほど、家族の名前を見つけたことができたと述べている。その中には、「バプテスマを受けた直後に亡くなって、国勢調査の記録から漏れていた幼い女の子」もいた。■



ソーシャルメディアは福音を分かち合うまたとない機会を提供する、と語るデビッド・A・ベドナー長老。

ソーシャルメディアに関する十二使徒の勧告

十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老は2014年8月19日のブリガム・ヤング大学教育週間における説教で、次のように語った。「本日この場所で、わたしは皆さんに勧めます。義と真理のメッセージで地を満たしてください。うそ偽りなく、人を啓発し、称賛に値するメッセージで、文字どおり洪水のごとくに地を満たすのです。」

ソーシャルメディアを利用して真理を伝えることをテーマに話したベドナー長老は「鉄砲水のように急に起こってすぐに引いてしまうようなやり方をしないよう祈っています」と言い、現代を「世界史上またとない時期」と称して、わたしたちは「救いの業を加速し、実現する、奇跡的な技術革新と発明」という祝福にあずかっていると述べた。

「全世界の宣教師の約40パーセントが間もなく電子機器を使って改宗や定着、活発化の業を行うようになります。わたしたちは皆、科学技術の恩恵にあずかっていることを認めていると、わたしは確信しています。科学技術のおかげで家族歴史活動や神殿の儀式は勢いを増し、回復された福音

の個人学習と家族での学習は加速されています。それに、わたしたちは驚くべき方法で世の中について学んだり、世の中を見たり、世の見聞を広めたりすることができるようになってきているのです。」

ベドナー長老は、「イエスのおかげで」という教会制作の復活祭のビデオを公開するという、先頃行われたソーシャルメディア活動について述べた。このビデオは191の国や領土で500万回以上見られ、ハッシュタグ #didyouthinktopray では、祈りの必要性について4万件以上の会話が交わされた。

このような試みやその他の試みは「小さな滴の滴りにすぎない」とベドナー長老は言い、「この滴りが洪水になるよう」末日聖徒に協力を呼びかけた。ベドナー長老はまた、ソーシャルメディアを利用する際に以下のことに気をつけてほしいとも言っている。

- 「自分を大きく見せたり飾り立てたり、別の人を装ったりしないでください。信頼できる建設的な内容の投稿を行ってください。」
- 「人と議論したり争ったり、人を軽

蔑したりばかにしたりするメッセージではなく、人を啓発し、高めるメッセージを伝えてください。」

- 「自分の信じていることを勇気をもって大胆に主張し、擁護してください。でも、尊大になってはいけません。また、人と争わないでください。キリストの弟子であるわたしたちの目的は、回復されたイエス・キリストの福音の光と真理を伝える手段として、ソーシャルメディアを活用することなのです。」
- 「科学技術の使い方を誤ると、あまりに多くの時間が無駄になり、あまりに多くの人間関係が損なわれ、貴重な義の規範が妨げられる恐れがあります。ソーシャルメディアを良い目的に使う場合であっても、自分の時間や労力、リソースをさらに有効に活用できる方法、最善の方法があるのであれば、そちらを優先すべきです。」
- 「わたしたちはソーシャルメディアの達人になる必要もなければ、ソーシャルメディアのマニアになる必要もありません。過度な時間を費やして詳細なメッセージを作成し、それを皆に伝える必要はないのです。」■

皆さんが、世の光となり、
神の子らを救う手助けをして、
喜びを得ることを選び、最終的に永遠の命の
祝福にあずかることができますように。





十二使徒定員会
ラッセル・M・
ネルソン長老

何を 選びますか？

皆さんは、今地上に神の王国を築き、
救い主を受け入れられるよう人々を備える業を、
天の御父から託されています。

「貴い生得権を持つ若人¹である皆さんは、世界の歴史のこの時期に最も神聖な目的のために生を受けた、文字どおりの神の息子、娘です。社会の道徳的、宗教的な価値観は世界中で弱まっていますが、この教会の若人は、主の旗を掲げ、かがり火となって他の人を主のもとに引き寄せます。皆さんは特別な目的を持った、比類ない人々です。

皆さんは何者でしょうか？ 皆さんは、神が父祖アブラハムと交わされた聖約の子供です。アブラハムは「地上の諸民族は、あなたの子孫によって祝福を受けるであろう」という約束を受けました（使徒 3：25。1 ニーファイ 15：18；3 ニーファイ 20：25 も参照）。皆さんも「約束の日の子ら」²です。福音が全世界で広く宣言されているこの約束の時代の子らなのです。

皆さんの目的とは何でしょうか。兄弟の皆さんは前世で、神権を持つよう予任されました（アルマ 13：2-3 参照）。そして、親愛なる姉妹の皆さんは天地が造られる前に、子供を産んで、養うこと、それにより神に栄光を帰すよう選ばれました（教義と聖約 132：63 参照）。姉妹の皆さん、神と共同で創造の業に携わることの本当の意味について考えてみたことがありますか。

全ての若い男性、若い女性の皆さんは、今地上に神の王国を築き、救い主が福千年のメシヤとして治め、統治されるときに救い主を受け入れられるよう人々を備える業を、天の御父から託されています。皆さんは、貴い生得権と特質、目的、神から託された使命を持つ特別な人たちであり、他の人とは一線を画します。

しかし、生得権や、前世で聖任や委任を受けたことだけで、救われたり昇栄したりすることはできません。一つ一つの決定をすることにより、また生活の中で主の贖い^{あがな}の力を受けるといふ選択をすることにより可能となるのです。選択の自由に関するこの永遠の原則は、御父の計画の中心を成すものです。では、貴い生得権を持つ若人の皆さんは何を選びますか。

さらに学ぶことを選びますか？

教育を受けるのは皆さん自身です。他の人が皆さんに代わって受けることはできません。皆さんがどこにしようと、学びたいという深い望みを育ててください。末日聖徒であるわたしたちにとって、教育を受けることは特権であるだけでなく、宗教上の責任です。「神の栄光は英知」です（教義と聖約 93：36）。確かに、教育は永続するものなのです。

「わたしたちがこの世において得る英知の一切は、復活の時にわたしたちとともによみがえる。

そこで、もしある人が精励と従順によって、この世で……多くの知識と英知を得るならば、来るべき世でそれだけ有利になる。」（教義と聖約 130：18 - 19）

このような長期的な観点は、学ぶことについて良い選択をする助けとなります。

目標や夢を追い求めることを怖がらないでください。卓越性や高い能力を得るための近道はありません。教育とは、「他の人を助けたいと願う人」を、「助けることができる人」に変えることです。

あなたはどのような人生を選びますか？

皆さんは、他の人とは違う生き方をするよう期待されています。パウロが若いテモテに語った言葉を知っているでしょう。「あなたは……言葉にも、行状にも、愛にも、信仰にも、純潔にも、信者の模範になりなさい。」（1テモテ 4：12）³ 世の人々とは異なる考えを持ち、異なる行動をしてください。見た目も世の人とは異なることを選び、自分が良い影響を与えられることを理解してください。元中央若い女性会長のアーデス・G・カップ姉妹が言ったように、「浜辺で泳いでいる人たちと同じ身なりをしていては、ライフセーバー（救助隊員）にはなれません。」⁴

貴い生得権を持つ若人の皆さんは、すばらしい人生のスタートを切っています。しかし、皆さんは他にも責任を負っています。「多く与えられる者からは多く求められ……るからである。」（教義と聖約 82：3。ルカ 12：48 も参照）求められていることの中には、新兵となることも含まれています。バプテスマを受けたとき、皆さんは主の軍隊に再入隊したのです。⁵ 前世に行われた天での戦いで、皆さんはイエス・キリストの側に立ちました。そして今、地上では善悪両軍の戦いが続いています。この戦いは現実のことです（黙示 12：7 - 9；教義と聖約 29：40 - 41 参照）。神の側には、世の救い

主となるよう予任されたイエス・キリストがおられます（1ニーファイ 10：4 参照）。もう一方には、主に背いたサタンがいて、選択の自由を損なおうとしています（モーセ 4：3）。⁶

神の計画は、サタンがあなたを誘惑するに任せています。あなたが、選択の自由を行使して悪よりも善を選び、悔い改め、イエス・キリストのもとに来て主の教えを信じ、主の模範に従うことを選べるようにするためです。なんと大きな責任と信頼を受けていることでしょうか。

自分の思うままに行動する自由は、永遠の進歩と幸福の中心を成すため、サタンはそれを損なおうと躍起になっています（2ニーファイ 2：27；10：23 参照）。

あなたは、人生で選択をする際に助けとなる優先順位を決めますか？

あなたが行う選択は、善と悪のいずれかを選ぶだけに限りません。多くの選択は、二つの善い選択肢から行わなければならないでしょう。全ての真理が同等には作られていないため、あなたは優先順位を決める必要があります。知識を追求する上で理解してほしいことは、あなたが学ぶことのできる最も重要な真理は主から与えられるということです。御父への執り成しの祈りの中で救い主が語られた次の言葉がそれを示しています。「永遠の命とは、唯一の、まことの神でいますあなたと、また、あなたがつかわれたイエス・キリストとを知ることです。」（ヨハネ 17：3）あなたが学ぼうとしているどのようなことにも増して、天の御父であられる神とその御子イエス・キリストを知ろうと努めてください。御^{おふたかた}二方を知り、わたしと同じように御二方を愛してください。

優先順位に関するもう一つの聖文がこれまでずっとわたしの助けとなってきました。「まず神の国と神の義とを求めなさい。そうすれば、これらのものは、すべて添えて与えられるであろう。」（マタイ 6：33）

この世の何にも増して、永遠の命という栄えある最終的な行く末へとあなたを導く選択をしたいと皆さんは望んでいるでしょう。それこそが、神が皆さんに与えられた最も大きな目標なのです（教義と聖約 14：7；モーセ 1：39 参照）。永遠の命をあなたの最優先事項として選んでください。教義と聖約第 76 章や第 88 章をはじめとする聖文を研究して、永遠の命を選ぶ人とそうでない人を待ち受ける祝福の違いについてさらに理解を深めてください。永遠の命を最優先事項として選択し



多くの人はまだ
神聖な真理を
見いだしておらず、
それをどこに
見いだせばよいかを
知りません。
しかし、
貴い生得権を持つ
若人の皆さんは
彼らの救出に
向かいます。

てください。そうすれば、他の選択は簡単にできるでしょう。

どのような人と交わりますか？

あなたは、同じく神を信じる多くの善良な人たちと交わることでしょ。ユダヤ教であろうと、カトリック、プロテスタント、イスラム教であろうと、信仰を持つ人々は絶対的な真理が確かにあることを知っています。神を信じる人々には良心があります。この世の法律と天の律法の両方に従い、従わない人に対して強制力のない取り決めにも進んで従います。

法律と神の律法に従おうとする皆さんは、車が辺りに見えなくとも赤信号では止まります。神の子である皆さんは、警察に捕まらなくとも、盗みや殺人は誤りであり、最終的に神に責任を問われることを知っています。ルールを守って行動しないことの結果が一時的ではなく永遠のものであることを知っているのです。

人生の旅を続けるうちに、神を信じていない人と知り合うこともあるでしょう。このような人の多くはまだ神聖な真理を見いだしておらず、それをどこに見いだせばよいかを知りません。しかし、貴い生得権を持つ若人の皆さんは彼らの救出に向かいます。より多くの宣教師を求める預言者の

招きに応じて多くの若人が集まっています。わたしたちは一人一人に心から感謝しています。

神を信じていない人々と交わる時には、本当はあなたのためを思っているのではない人もいることに注意してください（教義と聖約1:16; 89:4 参照）。そのことに気づいて、見分けることができたら、速やかに、永久にその人から逃れてください（1テモテ6:5-6, 11）。

悲しいことですが、皆さんが会おう人の中には、一見幸福そうに見えるものを懸命に追い求めるあまり、滑りやすい罪の坂道を転げ落ちてしまう人たちがいます。そのようなぬるぬるした坂道に気をつけてください。罪の中で感じる楽しみはすぐに消え去り、脳裏に焼きついたその記憶は、つらく耐え難い罪悪感に汚されてしまいます。夫と妻を結びつけるために神が授けられた交わりをゆがめることは罪であり、むなしい偽物にすぎません。あらゆる不道徳な行いからは、深い意義と心地よい思い出が削り取られます。

自由と束縛のどちらを選びますか？

神を信じない勢力は至る所にあります。皆さんは文字ど

おり敵の領域で生活しているのです。⁷有害なポルノグラフィという疫病は蔓延しています。その陰湿な手段に屈した人は皆、わなに掛かります。

主はこのことを予見して言われました。「さてわたしは一つの秘密、すなわち、時がたつてまことにあなたがたを滅ぼすために密室で行われている一つの事柄をあなたがたに示そう。あなたがたはそれを知らなかった。」(教義と聖約 38:13。28節も参照)

密室でどれほど多くの人たちが皆さんの人生と幸福を滅ぼそうとしているか考えてみてください。肉の誘惑は今に始まったことではありません。使徒ペテロはこのわなに就いてこのように警告しています。

「彼らは……〔清い〕者たちを、肉欲と色情とによって誘惑〔する。〕……

この人々に自由を与えると約束しながら、彼ら自身は滅亡の奴隷になっている。おおよそ、人は征服者の奴隷となるものである。」(2ペテロ 2:18-19)

愛する兄弟姉妹の皆さん、そのような奴隷の身に陥らないようにしてください。現在ポルノグラフィを見ているのなら、今すぐやめてください。ビショップに助けを求めてください。ポルノグラフィに毒されてしまうと、自分だけで敵を出し抜くことができるほど賢い人はいません。それは重い皮膚病のように破壊的で、薬物のように依存症を招き、灰汁のようにむしばみます。

主と、人の哲学、どちらに従うことを選びますか？

「家族—世界への宣言」⁸を注意深く研究してください。家族は全世界で攻撃的となっていますが、この宣言に含まれる真理は皆さんを強めてくれるでしょう。

皆さんは、結婚の定義そのものについて社会で論争があり、それが広範囲に影響を及ぼすことを理解する必要があります。現在論議的となっているのは、同性である二人が結婚することができるかという疑問についてです。このことをはじめとする重要な問題に対する教会の立場について疑問がある場合は、祈りながらそのことについてよく考えてから、生ける預言者のメッセージに耳を傾けてください。靈感あふれる預言者の言葉は、聖霊からもたらされる靈感と相まって、あなたの心に真理に対する一層深い理解をもたらすでしょう。⁹

結婚に関する論議は、将来あなたに挑みかかるであろう多くの論争の一つにすぎません。貴い生得権を持つ皆さん

は、敵の執拗な声に負けずに、主と主の真理を擁護することを選ぶでしょう。

使徒パウロはこの時代の窮状について預言しました(2テモテ 3:1-5 参照)。パウロはこの時代の霊的な荒廃について明確な示現を見た後に、人々を元気づける結論を記し、どのように安全を保つかを教えています。「幼い時から、聖書に親しみ、それが、キリスト・イエスに対する信仰によって救に至る知恵を、あなたに与える書物であることを知っている。」(2テモテ 3:15)

パウロの勧告に付け加えて言います。聖文研究を続けてください。イエス・キリストを信じる信仰を築くことを行いつつ続けてください。そして、あなたが自然に行っている賢明な選択に気づいてください。

イエス・キリストとその福音を信じる信仰は、若くして子供を持つことができるうちに結婚し、子供を家庭に迎える勇気を与えてくれるでしょう。皆さんがわたしの年齢になったら、皆さんが得た他のどのような名声や財産よりも、子供や孫たち、そしてその子供たちを大切に思うでしょう。

救い主との面接にどのように備えますか？

貴い生得権を持つ若人の皆さんはまだ完全ではありません。誰も完全な人はいません。ですから、皆さんも他の人たちも、心から悔い改めるときに赦しをもたらしてくれる、救い主の贖罪にととも感謝しています。皆さんは、現世にとどまる期間は比較的短いことも知っているでしょう。やがて皆さんはこの現世ではかない生活を終えて次の世に移ります。

裁きの日がわたしたち一人一人を待ち受けています。わたしはこのことを知っています。すなわち、「門を守る者はイスラエルの聖者である。聖者はここには僕を使われない。……その御方の御名は、主なる神だからである。」(2ニューファイ 9:41) そうです、全ての人はイエス・キリストと個人面接をすることでしょう。

地上での毎日は、その面接に備える時間と機会を与えてくれます。このことを理解してください。すなわち、主の側で生活することを選ぶならば、孤立することは決してありません。神は、皆さんが現世の危険な道を歩むときに神の助けを得られるようにしてくださいました。日々の祈りの中で、勤勉に、そして熱心に神に心を注ぎ出すならば、神は皆さんを助けるために天使を送ってくださるでしょう(教義と聖約 84:88 参照)。神は、ふさわしく生活する皆さんの傍らに聖霊を



世の人々とは
異なる考えを持ち、
異なる行動を
してください。
見た目も
世の人とは
異なることを選び、
自分が良い影響を
与えられることを
理解してください。

授けてくださっています。また、皆さんがイエス・キリストの言葉をよく味わうことができるよう聖典を授けてくださいました(2ニーファイ9:51;32:3参照)。さらに、生ける預言者の言葉を聞けるようにしてくださいました。

皆さんは誰を信頼しますか？

皆さんは、神が御父であられることを知っています。神は皆さんを愛しておられます。皆さんが幸福になることを願っておられます。神に信頼を寄せてください(2ニーファイ4:34;28:31参照)。神の神聖な神殿に焦点を当て続けてください。自身のエンダウメントと結び固めの儀式を受けるためにふさわしくあってください。それらの聖約に忠実であり続け、頻繁に神殿に参入してください。覚えておいてください。皆さんにとって最も気高い目標は、神のあらゆる祝福の中で最も大なるもの、つまり永遠の命を得ることです(教義と聖約14:7参照)。神殿の儀式はその祝福に不可欠です(教義と聖約131:1-3参照)。

よく祈りながら聖文を調べ、皆さんが何者であり、どのような目的と祝福があるかを学ぼうお勧めします(教義と聖約86:8-11参照)。そうです。皆さんは確かに神の形にかた

どって造られた、貴い生得権を持つ若人です。皆さんは律法によって定められた神の相続人であり、試しを受けるためにここにいます。世の光となり、神の子らを救う手助けをして、喜びを得ることを選ぶならば、最終的に永遠の命の祝福にあずかることができます。■

2013年9月6日にブリガム・ヤング大学ハワイ校で開かれた教会教育システムディバーショナルでの説教「貴い生得権を持つ若人たち——何を選びますか？」[英文]から抜粋。全文は cesdevotionals.lds.org を参照。

注

1. 「山のごとく強く」『賛美歌』167番(訳注——英語の歌詞には“O youth of the noble birthright”[「貴い生得権を持つ若人」というフレーズが出てくる。])
2. 「シオンのつわもの」『賛美歌』159番(訳注——英語の1番の歌詞には“children of the promised day”[「約束の日の子ら」というフレーズが出てくる。])
3. “conversation”(行状)の原語は、「上向き生き方」という意味のギリシャ語“anastrophe”である。
4. アーデス・グリーン・カップ、*I Walk by Faith* (1987年)、97
5. 「戦い止むまで」『賛美歌』162番参照
6. 「選択の自由」(agency)を「自由な選択の自由」(free agency)と説明する人がいる。しかし、この表現は聖文にはない。聖文には「*道徳的な選択の自由*」(moral agency)(教義と聖約101:78参照)という記述しか出てこない(訳注——末日聖典日本語版の「自由意志」の英語は“free will”)。
7. ボイド・K・バックー「若人への助言」『リアホナ』2011年11月号、16、18参照
8. 「家族——世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号、129参照
9. 家族に関する、この教会の靈感あふれる宣言にはこのようにあります。「家族は神によって定められたものです。男女の間の結婚は、神の永遠の計画に不可欠なものです。子供たちは結婚のきずなの中で生を受け、結婚の誓いを完全に誠意をもって専ら父親と母親により育てられる権利を有しています。」「(家族——世界への宣言)『リアホナ』2010年11月号、129)

あなたがたは どのような 教師 であるべきか

もしわたしたちが本当に
救い主のようになりたいのなら、
救い主が教えた方法で
教えられるように
ならなければなりません。

中央日曜学校会長会



タッド・R・カリストー会長 (中央),
ジョン・S・タナー第一顧問 (左),
デビン・G・デュラント第二顧問 (右)

復活された主が、アメリカ大陸
での教導の業を終えられよう
としていたときのことです。
少し前に、主は天からニーファイ人と
レーマン人の地に降^{くだ}って来られ、御自分
の死後、その地を覆っていた暗闇を取
りのける光をもたらされました。主は
教え、証^{あかし}し、祈られました。人々を祝福
し、問いに答え、御自分の教会をお建
てになりました。今や弟子たちのもと
を去る用意を整えられた主は、弟子た
ちに一つの責務をお与えになりました。
その責務を与えられた弟子たちの心は
自信に満たされたことでしょう。

「あなたがたは、わたしの教会で行
わなければならないことを知っている。
わたしがするのを見たその行いを、あ
なたがたもしなさい。……

したがって、あなたがたはどのような
人物であるべきか。まことに、あなた
がたに言う。わたしのようでなければ
ならない。」(3 ニーファイ 27:21, 27)

イエスはわたしたちに御自分のよう
になるようお勧めになりました。また
主の大いなる特質の一つは教える能力
です。主は偉大な教師であります。
わたしたちが主のようになるには、教会

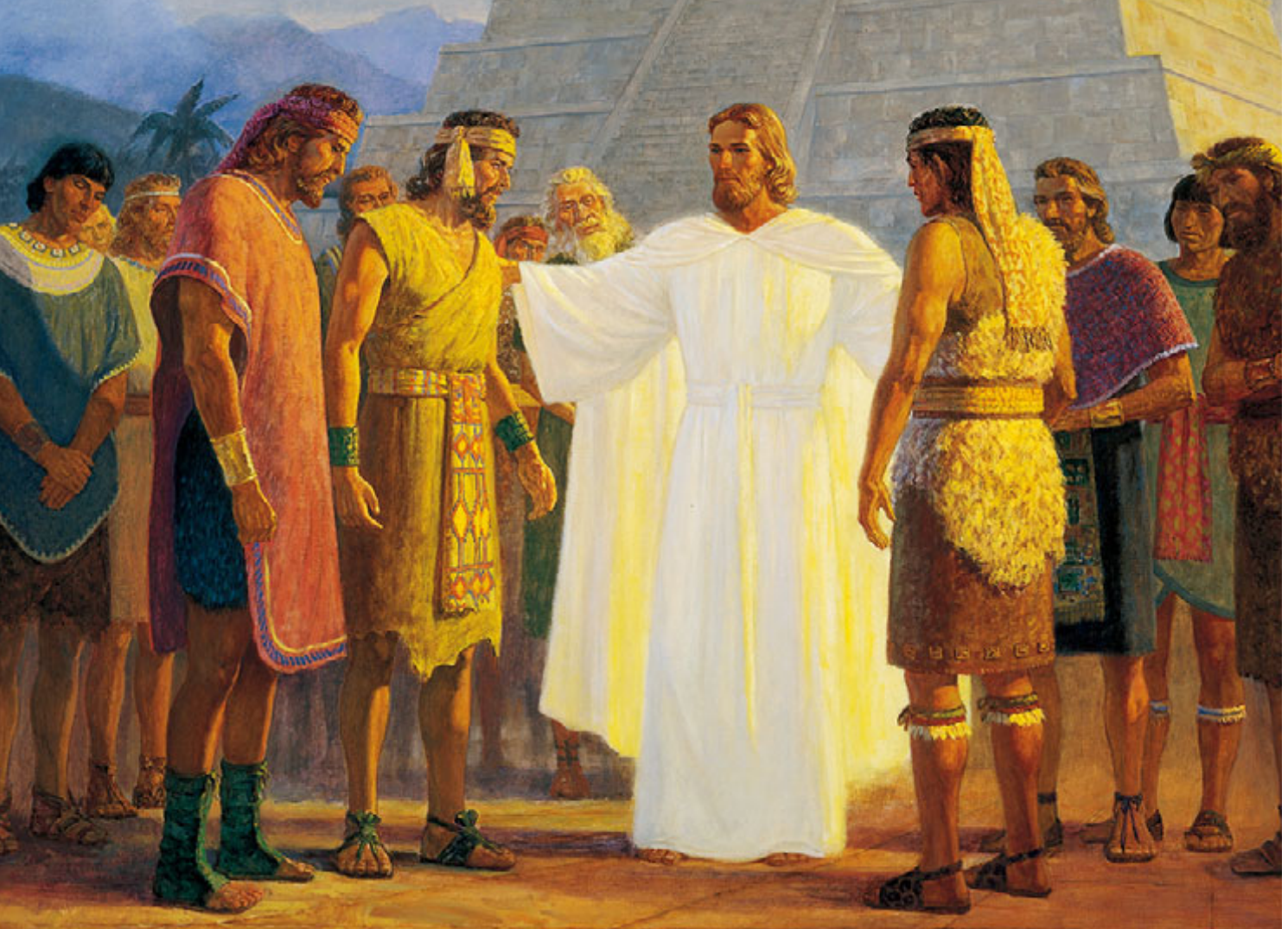
だけでなく家庭にあっても、一層愛に
満ち、生活を変える教師になる必要が
あります。また、主が教えられたように
教えたいという燃えるような強い願い
を持つべきです。

質問と勧め

イエスはよく質問や勧めを使って
教えられました。アメリカ大陸で弟子
たちと一緒におられたときに示された
手本について考えてください。あるとき
弟子たちが祈っていると、救い主が現
れ、最初にこのような質問をして弟子
たちの注意を引かれました。「あなた
がたはわたしから何を与えられたいの
か。」(3 ニーファイ 27:2) もし皆さん
が救い主からこのような質問をされ
たら、どう答えるでしょうか。

弟子たちはこう答えました。「主よ、
この教会をどのような名で呼ぶべきか、
わたしたちにお教えいただきたいと存じ
ます。この件について民の中に論争が
ございますから。」(3 ニーファイ 27:3)

キリストは弟子たちの質問に対して
御自分の質問をもってお答えになりま
した。「彼らは、『キリストの名を受け
なければならない』という聖文を読ん



だことがないのか。キリストとはわたしの名である。」(3ニーファイ 27:5) この質問が主の弟子たちに思い起こさせたのは、自分の質問の答えを見つけるためには自分でいくら努力する必要があり、多くの質問の答えは聖文に見いだせるということでした。

主はその後、結論として御自分の名の重要性を弟子たちに思い起こさせました。主の言葉は弟子たちに行動するように勧め、祝福を約束しました。「わたしの名を受け、最後まで堪え忍ぶ者は、終わりの日に救われるであろう。」(3ニーファイ 27:6)

教える模範

以上の短い数節には、イエス・キリストが示された模範が描写されています。わたしたちが教える際に倣うべき主の模範です。最初に主は、弟子たち

の必要を見極めるために、考えさせるような質問をされました。その後、彼らの答えを待ち、耳を傾けられました。

弟子たちが答えた後、主は彼らを聖文へ導くことにより、彼らが求めている事柄を見いだせるようお助けになりました。

最後に主は、二つのことをお勧めになり、進んで主の勧めに従って行動する者たちにすばらしい祝福を約束されました。この機会にキリストが教えるために用いられた方法は、下記の5つの原則に要約されるでしょう。

1. 効果的な質問をする。

救い主はこうお尋ねになりました。「あなたがたはわたしから何を与えられたいのか。」この質問はさまざまな答えを促します。わたしたちがそのような質問をすると、生徒は自分が何を学びたいのかを明確にすることができます。また、最も大切な事柄に集中

するのに役立ち、積極的に学習に取り組めるようになります。

2. 生徒の言葉に耳を傾ける。

イエス・キリストは次のように言った弟子たちの言葉に耳を傾けられました。「主よ、この教会をどのような名で呼ぶべきか、わたしたちにお教えいただきたいと存じます。」わたしたちは熱心に耳を傾けることにより、生徒の必要に注意を集中させることが一層よくできるようになります。

3. 聖文を用いる。

キリストは弟子たちに次のように思い起こさせられました。「彼らは、『キリストの名を受けなければならない』という聖文を読んだことがないのか。キリストとはわたしの名である。」教師も生徒もレッスンの準備をするために聖文を読むことに時間を使ってください。聖文の研究は教師と生徒の

両方にとって霊的な準備のために不可欠なものです。

4. 生徒に行動するよう勧める。

主は弟子たちに、(1) 主の御名を身に受けること、(2) 最後まで堪え忍ぶことをお勧めになりました。『わたしの福音を宣べ伝えなさい』にはこう書かれています。「人々に話したり、教えたりするときには必ず、キリストを信じる信仰を強めるために何かを行うよう勧めます。」¹ これは宣教師だけでなく、福音を教える全ての教師に当てはまる助言です。

5. 従順な人に対して約束された祝福について生徒に思い起こさせる。

最後にイエス・キリストは弟子たちに、主の勧めに従って行動する者は「終わりの日に救われるであろう」と約束されました。キリストは、従順な人に最高の祝福を与えるとしばしば約束しておられます(教義と聖約 14:7 参照)。主の福音を教える教師として、わたしたちも同じことをするとよいでしょう。

上記の例は救い主が教える際に使われた幾つかの重要な方法を示しています。さらに主はときどき、たとえや類比を用いて教えられました。折に触れて、主を中傷する人に反対したり激しく責めたりされることもありました。叱責した者にさえ、常に愛をもってお教えになりました(黙示 3:19 参照)。

生徒を愛する

わたしたちも救い主の方法で教えたいと思うなら、いつも愛と慈愛をもって教えなければなりません。愛は教師と生徒の両方の心を開き、「両者ともに教化されて、ともに喜ぶ」のです

(教義と聖約 50:22)。

弟子たちに対する救い主の愛を鮮明に示す模範が第三ニーファイに見いだされます。救い主が人々のために祈り、ともに涙を流し、祝福をお与えになった場面です。主が人々のために御父に祈られたとき、ニーファイの民は主の愛を感じました。「わたしたちは、イエスがわたしたちのために御父に祈ってくださるのを聞いたが、そのときにわたしたちの心に満ちた喜びは、だれも想像することができない。」(3 ニーファイ 17:17)

主は人々のために喜びの涙を流し、人々の信仰のゆえに祝福されました。主の愛は非常に深いものだったからです。

「あなたがたは信仰があるので、幸いである。見よ、わたしの喜びは満ちている」と言われ、

「そして、イエスはこれらの御言葉を語ると、涙を流された」のです(3 ニーファイ 17:20 - 21)。

深い愛は深い学びをもたらします。

聖文にはこう書かれています。「イエスは彼らにほほえみかけ」、そして「彼らの心は開かれ、……心の中で理解した。」(3 ニーファイ 19:25, 33)

生徒に証をするよう励ます

また、救い主は弟子たちに彼らの証を述べる機会をお与えになりました。一例を挙げましょう。「イエスがピリポ・カイザリヤの地方に行かれたとき、弟子たちに尋ねて言われた、『人々は人の子をだれと言っているか。』

彼らは言った、『ある人々はバプテスマのヨハネだと言っています。しかし、ほかの人たちは、エリヤだと言い、また、エレミヤあるいは預言者のひとりだ、と言っている者もあります。』

そこでイエスは彼らに言われた、『それでは、あなたがたはわたしをだれと言うか。』

シモン・ペテロが答えて言った、『あなたこそ、生ける神の子キリストです。』(マタイ 16:13 - 16)



ペテロが証を述べた後、キリストはペテロにすばらしい祝福を宣言されました。

「『バルヨナ・シモン、あなたはさいわいである。あなたにこの事をあらわしたのは、血肉ではなく、天にいますわたしの父である。』」

そこで、わたしもあなたに言う。あなたはペテロである。そして、わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てよう。黄泉の力もそれに打ち勝つことはない。

わたしは、あなたに天国のかぎを授けよう。そして、あなたが地上でつなぐことは、天でもつなぐれ、あなたが地上で解くことは天でも解かれるであろう。』」(マタイ 16:17-19)

立派な教師になるよう努める際、わたしたちも生徒たちに、声を出して、また心の中で証を述べるように促す質問をしばしばするとよいでしょう。また、日常生活の中で証を強めるような個人的な経験をするように勧めるとよいでしょう。その後、教室や家庭の中の雰囲気(みたま)が御霊の導きを招くようなものであるなら、生徒は互いに霊的な経験や証を分かち合う気持ちになるでしょう。

教えることを実践する

イエス・キリストは他の人に、御自分のなさったことを行い(3 ニーフアイ 27:21 参照)、御自分に従うよう熱心にお勧めになりました(マタイ 4:19 参照)。主は御自分が教えたことを実践されました。そのようにして模範により教えられたのです。

主は奉仕を行うことによって、奉仕について教えられました。主が弟子たちの足をお洗いになったとき、それは弟子たちにとって何と力強い模範と

なったことでしょう。「しかし、主であり、また教師であるわたしが、あなたがたの足を洗ったからには、あなたがたもまた、互に足を洗い合うべきである。

わたしがあなたがたにしたとおりに、あなたがたもするように、わたしは手本を示したのだ。」(ヨハネ 13:14-15)

主は愛することによって、愛について教えられました。「わたしは、新しいましめをあなたがたに与える、互に愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互に愛し合いなさい。」(ヨハネ 13:34)

主は祈ることによって、祈りについて教えられました。主の祈りは非常に心がこもっており、あまりにも崇高なものだったために記録することができませんでした。そのような祈りをささげた後、主はこう言われました。「わたしがあなたがたの中で祈ったように、あなたがたもわたしの教会で……祈りなさい。見よ、わたしは光である。わたしはあなたがたのために模範を示した。」(3 ニーフアイ 18:16)

イエス・キリストは、主の方法で教えたいと願いながら福音を教える全ての教師に模範を示してくださいました。わたしたちは主のように完全ではありませんが、自分が教えることを実践するよう熱心に努力することはできます。子供の歌の歌詞にあるように、教師は「わたしのするとおり まねをして ついておいで」と言えるようになってください。²

救い主の方法で教える

福音を教える全ての教師は、下記の6つの主要原則を取り入れるよう勧められています。それらは、救い主が教えられた方法を反映しています。

1. あなたが教える人々を愛する。

- 一人一人に心に向ける。
- 生徒の必要に焦点を絞る。

2. 自分自身を霊的に備える。

- 教えることを実践する。
- 利用できる資料に精通する。

3. 御霊によって教える。

- 生徒が御霊の導きに気づくように助ける。
- 学ぶ意欲のある教師になる。
- 学習しやすい環境を作る。

4. ともに福音の真理を見いだす。

- 高い期待を持つ。
- 生徒に証をするよう励ます。
- 効果的な質問をする。
- 生徒の言葉に耳を傾ける。

5. 教義を教える。

- 聖文を用いる。
- 物語や実例を用いる。
- 祝福を約束し、証する。

6. 生徒に行動するよう勧める。

- 生徒が実行するよう助ける。
- 勧めた事柄をフォローアップする。

以上の原則を応用するとき、わたしたちは一層良い教師、生徒、親、イエス・キリストの弟子となります。なぜなら、主はわたしたちに「すべての者が互いに教化し合うように」、「熱心に」、「互いに……教え合」うよう命じておられるからです(教義と聖約 88:77, 78, 122)。わたしたちが教える人々がわたしたちの中に偉大な教師の片鱗(へんりん)をかいまみるようになり、知識を得るだけでなく、考え方や生き方を変えるような経験ができますように。■

注

1『わたしの福音を宣べ伝えなさい——伝道活動のガイド』196

2『わたしのするとおり』『子供の歌集』146





預言者の勧告と 神殿の祝福

わたしが若かった頃、当時十二使徒定員会の会員であったスペンサー・W・キンボール長老（1895 - 1985年）が日本を訪れ、わたしが出席した大会で話をしました。そのときのキンボール長老の勧告を今でも覚えています。「若い人たちは伝道に出なさい。そして、神殿で結婚するのです。」

わたしは聖霊に促されるのを感じ、まだ日本に神殿がなかったにもかかわらず、伝道に出て神殿で結婚しようと決心しました。

当時わたしは19歳で大学2年生でした。末日聖徒でなかった両親は、わたしが伝道に出ようと決めたことに対して強硬に反対しました。両親から許可と同意が得られるよう毎日祈りました。6か月後、主はわたしの祈りにこたえてくださいました。

両親からこう言われたのです。「経済的に大変な問題が起きたので、これ以上おまえの授業料も生活費も払えなくなった。これからおまえは自分で生計を立てていきなさい。まだ伝道に出たければ、それも良いだろう。」

わたしは主の祝福により親の許しを得たので、大学をやめて教会の建築宣教師として奉仕しました。その奉仕が終わると、伝道に出て福音を宣べ伝えるための資金を稼ぐ仕事を探しました。主の助けがあって、一日に3つの仕事をするようになりました。それから1年間は日曜日を除く毎日、午前3時から7時まで新聞配達、午前9時から午後4時まで

導きを求めて祈り、生ける預言者に従い、
生活の中で神殿を優先するなら、
天の御父はわたしたちを導き祝福してくださいませ。
わたしはこのことを証します。

ビルの清掃、午後5時から7時半まで料理の仕事をしました。さらに、その後着替えて、夜は地方部宣教師として働きました。

こうして、22歳のときに専任宣教師として北部極東伝道部に召されました。わたしはこの伝道を通して、それまで経験したことのない最大の喜びを味わい、神の愛を知る機会が何度もあり、多くの祝福を頂きました。またわたしの伝道中、家族も祝福されて、両親は経済的な問題を克服することができました。

預言者に従う

伝道を終えると、キンボール会長の2番目の勧告に従って時を移さず神殿で結婚するよう御霊に促されました。その1年ほど前から、日本の教会員はソルトレーク神殿ツアーを計画していました。出発は3か月後でしたから、わたしはふさわしい若い女性と一緒にこの神殿に行くことができますようにと熱心に祈り、断食しました。

宣教師から解任されて間もなく、わたしは故郷松本市で、教会の集会に参加しました。そこで百瀬城子姉妹に出会いました。彼女はわたしが教会に入ったとき同じく高校生でした。このとき、御霊がわたしに降り、この姉妹こそわたしのために備えられた人だと、はっきりと教えてくださったのです。

そこで、城子姉妹とデートをしてすぐにプロポーズしました。彼女が結婚の承諾をしてくれたのでとてもうれしかったのですが、次に彼女が言った言葉に大変驚きました。

「あなたの神様とわたしの神様が同じ御方であると知って、とてもうれしいです。ソルトレーク神殿ツアーの発表があったとき、わたしは行きたくてたまらなくなりました。その神殿で結婚できる人が見つかるよう助けてくださいと、主に何度も祈ったのです。1年ほど前、祈っているときに、あなたが伝道から帰って来るのを待つべきであると御霊の促しを受けました。そして、あなたが伝道から帰ったときに、わたしにプロポーズをすると分かっていたのです。」

これはわたしたちにとってとても霊的な経験でした。ソルトレーク神殿で結婚するというわたしたちの決意はさらに固くなりました。ツアーに参加するお金はまったくなかったのですが、だからといってツアーを諦めたりはしませんでした。主の戒めを守り、主を信頼すれば、わたしたちにはできないことでも主がかなえてくださることを、わたしたちは確信していたのです。

わたしたちは祈りを通して天の御父に必死でお願いし、必要な資金を稼ぐためにあらゆることをしました。その努力が実り、また、わたしたちの友人たちからの金銭的な援助

もあって、わたしたち二人は日本人聖徒のソルトレーク神殿ツアーに参加することができたのです。

神殿で永遠の夫婦として結び固められたときの喜びは、言い表せません。この経験を決して忘れることができません。さらにうれしいことに、わたしたちは5世代の先祖を探究して神殿の儀式ができるよう名前を用意していました。ソルトレーク・シティ滞在中にこの先祖の身代わりの儀式を行うことができたのです。儀式を受けて、先祖を身近に感じることができました。この身代わりの儀式によって先祖が喜びに満たされていることがよく分かりました。

新婚当時はとても貧しかったのですが、わたしたちは神殿への参入を優先しました。その後、経済的に許される限り、できるだけ頻繁にハワイ州ライエ神殿に行きました。

神殿の祝福

「わたしたちには何よりも神殿が必要です」とジョセフ・スミスは言っています。¹

神の救いの計画の中において、神殿はわたしたちの永遠の幸福になくはならないものです。神殿では神聖な救いの儀式を行います。神殿は地上で最も神聖な礼拝の場所であり、「主が来られる場所」であると『聖書辞典』(Bible Dictionary)には書かれています。²

神殿の聖約を尊び、「へりくだった心で、清く敬虔な気持ちと高潔な態度で」神殿に参入するなら、³ 神殿でわたしたちは聖なる御霊を感じ、さらに光と知識を得るでしょう。神殿を出て行くときには主の力と主の名をまとい、主の栄光に包まれて出て行き、主の天使がわたしたちの周りにいて見守ってくれるでしょう(教義と聖約 109:13, 22 参照)。

この主の約束は、わたしたちがソルトレーク神殿で結婚して日本に戻り、正社員の仕事を探しているときに成就しました。

主は約束を果たされる

最初の子供が生まれたとき、わたしはパートでしか働いていませんでした。わたしたちはとても幸せでしたが、これから子供が増えていくのだから、正社員の仕事でなければ家族を養えないことは分かっていました。そのためにわたしたちは天の助けを求めて熱心に祈るようになりました。

伝道に出る前、わたしは貿易の仕事がしたいと思っていました。しかし、商社に採用してもらうためには、一般的には



従順—— いつまでも変わることはない道案内

「愛に満ちた天の御父が道を計画してくださいました。そして、いつまでも変わることはない道案内を備えてくださいました。それは従順です。神の戒めに従順になることによって、真理を知り、人が抱く最大の

疑問への答えを得ることができます。」

トーマス・S・モンソン大管長

「従順は祝福をもたらす」『リアホナ』2013年5月号, 89 参照



志願者は大学を出て、ある種の資格を持っていなければなりません。わたしは大学も卒業していなければ、資格もありませんでした。しかし、妻と二人で祈ると、主がわたしたちを祝福して、わたしのために仕事を用意してくださっていると感じたのです。

わたしは学歴がなかったにもかかわらず、商社を幾つも受験することにしました。最初の2社には断られました。3番目に応募した会社で、不思議な経験をしました。

当時、日本ではまだ教会員が少なく、教会に偏見を持っている人が多かったのです。3番目の商社で3人の代表者から面接を受けたとき、彼らは履歴書を見て、わたしが末日聖徒だということを理解しました。すると教会について質問し始め、どんな教会なのか詳しい説明を求めたのです。わたしは伝道から帰ってまださほど年月がたっていませんでしたから、イエス・キリストの回復された教会について説明することについては慣れたものでした。

教会について少なくとも40分は話したでしょうか。わたしは回復された福音について話し、イエス・キリストの生涯と背教、ジョセフ・スミスの最初の示現、モルモン書、イエス・

キリストの真の教会の回復、教会の戒めと教えについて説明し、証を述べました。

驚いたことに、話している間、面接官の誰もわたしを制止しませんでした。数日後、驚くほどの高給で、わたしはその商社に採用されました。後で上司になぜわたしを採用したのか聞いたところ、こんな答えが返ってきました。「面接していて確信したんだ。君は実直で誠実で忠誠心がある。その態度で会社でも働いてくれると思ったからなんだよ。」

わたしは証します。主は約束を果たしてくださいませ。神殿に参入して神殿の聖約を尊ぶ人に主が約束されたとおり、主の力と御霊がわたしのうえにあるのを、わたしは面接のときに感じてきました。わたしはまた、その会社で働く中でも主の御霊を感じました。その会社において、祝福されて、多くの価値ある貢献をすることができました。

日本に神殿が建つ

1975年に東京で開かれた地域大会において、キンボール大管長はついに日本の東京に神殿が建設されることを発表しました。日本の聖徒たちは感極まり、喜びと感謝の拍手喝采が起こりました。

日本東京神殿は1980年に完成し、オープンハウスと奉獻式で聖徒たちはすばらしい霊的な経験と大きな喜びを祝福として頂きました。聖徒たちは神殿の儀式を自身のために受け、また亡くなった先祖のために身代わりで受けるようになり、すばらしい霊的な経験と大きな喜びを、神殿の奉獻後も引き続き受けています。

現在、城子姉妹と結婚してほぼ45年になります。預言者の勧告に従うと決心したおかげで、わたしたちの生活にも子供たちの生活にも、引き続き祝福が注がれています。わたしたちは主の方法ですばらしい家庭を築きました。神殿の聖約を含むイエス・キリストの福音に基づいた家庭です。

主を信頼し、導きを求めて祈り、生ける預言者に従い、生活の中で神殿を優先するなら、天の御父はわたしたちを導き、祝福してくださることを証します。■

注

- 1.『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』416
2. Bible Dictionary, "Temple" の項
3. スペンサー・W・キンボール、日本東京神殿奉獻の祈りから、2013 Church Almanac (2013年), 297

フローラとわたし

主の業における対等のパートナー



左—
若い頃のフローラ・アムッセンと
エズラ・タフト・ベンソン。
右—
6人の子供たちと一緒に過ごす
1日を楽しむフローラとエズラ。





わたしたちは
エズラ・タフト・ベンソン大管長と妻のフローラ姉妹が
パートナーとして互いに支え、愛し合っていたことについて学ぶとき、
ベンソン大管長の働きを
さらに深く理解することができます。

教会パブリッシングサービス部
アロン・L・ウェスト

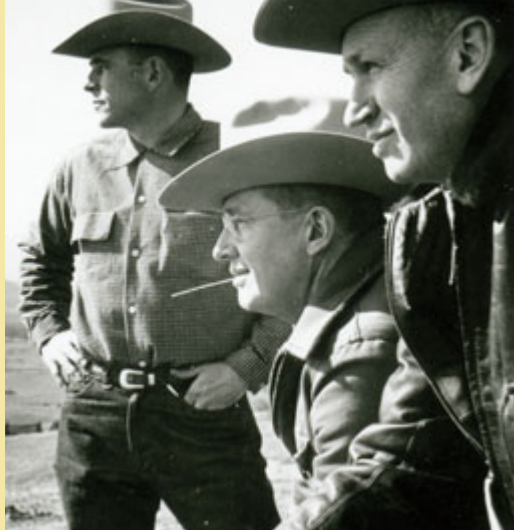
心 を込めて聴くときに短い言葉が説教のように力強く迫ってくるのが時折あります。1985年11月11日に語られた言葉がその一つです。その言葉とは、「フローラとわたし」です。

エズラ・タフト・ベンソン大管長（1899 - 1994年）は、末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長として任命を受けた翌日、取材記者向けに準備された声明の一部としてその言葉を読み上げました。スペンサー・W・キンボール大管長（1895 - 1985年）が、前任使徒のベンソン会長を残して6日前に亡くなったのです。

ベンソン会長と妻のフローラ姉妹は、一緒にいたときにキンボール大管長の死去の知らせを受け、二人は「すぐにひざまずいて」祈りました。¹そして記者会見の日に、ベンソン大管長は再びフローラ姉妹と席を共にして、全世界に公表される声明の最初の段落の中でこう述べました。「今日のことは予期していませんでした。妻のフローラとわたしは、この世においてキンボール大管長の命が延ばされるように、そして彼に再び奇跡が訪れるようにと祈り続けていました。主が語られた今となつては、わたしたちは最善を尽くし、この地上において主の導きの下に業を推し進めるだけです。」²

結婚してから59年たっており、「フローラとわたし」という言葉がベンソン大管長の口から自然に出て来たのでした。また、「わたしたちは最善を尽くし、この地上において主の導きの下に業を推し進めるだけです」と語ったとき、ベンソン大管長は他の中央幹部と確かに心が一つに結ばれていましたが、この「わたしたちは」という言葉はベンソン大管長と中央幹部を指して述べたものではありませんでした。この声明の中で、教会の預言者、聖見者、啓示者は、主の業において自分と妻は一つになっていると述べたのです。

農場での生活がどのように
エズラ・タフト・ベンソンの
人格を形成したかについては、
『歴代大管長の教え——
エズラ・タフト・ベンソン』
1—5 ページを
参照してください。



右上の写真から時計回りに——
エズラ・タフト・ベンソンと
農夫たち；
エズラ（左から2人目）と
母親ときょうだいたち；
エズラの両親，
ジョージ・T・ベンソンと
サラ・ダンクレー・ベンソン。



それはなぜなのでしょう。ベンソン大管長とフローラ姉妹は、およそ60年間、主の業において一つになっていたのです。長年にわたって、二人の生活環境には多くの変化があったものの、そのパートナーシップは二人にとって常に力の源でした。

今年の扶助協会の姉妹とメルキゼデク神権者のための教科課程では、エズラ・タフト・ベンソン大管長から学ぶことになっています。ベンソン大管長の教えを研究するにつれて、皆さんは大管長の人柄について知りたいと思うかもしれません。この記事では、妻のフローラ・アムッセン・ベンソン姉妹の視点から大管長の生涯と働きを少し採り上げることにします。記事の中での章とページは全て、『歴代大管長の教え——エズラ・タフト・ベンソン』によるものです。

「農夫と結婚したい」

1920年秋に、21歳のエズラ・タフト・ベンソンは、アメリカ合衆国アイダホ州ホイトニーにある家族の農場を出てユタ州ローガンに向かいました。ユタ州立農業単科大学（現在のユタ州立大学）に通うためでした。ある日、何人

かの友人とともに大学のキャンパスにいたとき、一人の若い女性が彼の目を奪いました。後に次のように回想しています。

「わたしたちが搾乳小屋付近にいたとき、非常に魅力的で美しい若い女性が小型の車に乗ってやって来ました。搾乳場へ牛乳を買いに来たのでした。友人たちが手を振ると、彼女は手を振り返しました。『あれは誰だい』と尋ねると、彼らは『あれがフローラ・アムッセンさ』と答えました。

そこでわたしは言いました。『ぼくはあの人と結婚する気がする。』」

エズラの友人たちはこの言葉を面白がって、こう言いました。「彼女はすごくもてるんだ。田舎者の君なんか相手にされないよ。」彼は何と答えたのでしょうか。「それなら余計に闘志が湧くさ。」³

エズラの友人たちの、フローラ・アムッセンについての判断はことごとく間違っていました。彼女は10代のときから、耕作に従事する男性たちの中に何か特別なものを見ていました。ある日、母親のバーバラから、「日の栄えの結婚をしなければ栄光の最も高い階級を得ることはできない」と言われたとき、「フローラは、恐らく無邪気に、しかし多少の洞察力をもってこう答えました。『そのときには、物質的に貧しくても、霊的に豊かな人と結婚したいわ。そうすれば、手にするものを二人で一緒に手に入れられるから。』一呼吸おいて、彼女は、『農夫と結婚したい』と付け加えました。」⁴

フローラとエズラは1920年後半に出会い、友達としての二人の関係は間もなく交際へと発展しました。フローラは、エズラ・タフト・ベンソンの中に、彼女が非常に高く評価していた霊的な富を蓄え始めていた若者の姿を見つけたのです。そして、彼女が必ずそうなるかと期待したように、彼の霊的な強さは、彼の家族の農場の土壌に深く根を張ったのでした。

力を合わせて神を第一にする

フローラとエズラは、互いにさらに親しくなり始めていたちょうどそのときに、2年間別れることになりました。エズラがイギリス伝道部で奉仕する召しを受けたのです。エズラとフローラは彼の奉仕の機会を非常に喜びました。『歴代大管長の教え——エズラ・タフト・ベンソン』には次のように述べられています。「〔彼らは〕二人の関係について話し合った。交際を続けたいと思ったが、エズラが宣教師として献身的に働くことの必要性も理解していた。『出発する前、フローラとわたしは毎月1度だけ手紙を書くことを決めました』と彼は語っている。『さらに、手紙には励ましと信頼の言葉、近況報告を書くことにし、実際にそうしました。』」⁵

このように伝道の召しを果たす準備をするに当たって、二人は、エズラが何年も後に教えることになる一つの真理について良い模範を示しました。「神を第一にするとき、他の全ての事柄は正しい位置に落ち着くか、またはわたしたちの生活から消えていくかのどちらかです。主への愛が、感情の欲求や時代の要求、興味、物事の優先順位を左右するのです。」⁶

エズラの伝道が終わりに近づいたとき、彼とフローラは再会を楽しみにしていました。しかし、フローラは、「間もなく一緒に過ごせるようになることを楽しみに待つだけではなかった。フローラはエズラの未来と可能性に心から期待していた。……アイダホ州ホイトニーにある実家の農場に住みたいというエズラの望みを喜んでいました。しかし、その前にエズラは学校を卒業する必要があると、彼女は感じた。」⁷ 彼がそうするのを助けようと努力する中で、彼女は彼とともに、神を第一にしました。エズラが伝道から帰って1年もたたないうちに、フローラは自分も伝道に出るつもりであると言って彼を驚かせました。彼女の決心についてもっと知るには、9-10ページを参照してください。



専任宣教師としてのエズラ・タフト・ベンソンの奉仕に関する話については、テキストの8-9、97-98ページを参照してください。第二次世界大戦後の使徒としての務めについては、15-18、48-51、63、65、245、247、250ページを参照してください。



一番上——伝道の召しを受ける前の若いときのエズラ・タフト・ベンソン。
上と右——使徒として第二次世界大戦後のヨーロッパで人々を支援するエズラ・タフト・ベンソン。

ダイヤモンドの原石

フローラとエズラは、1926年9月10日にソルトレーク神殿で結び固めを受けました。エズラが生来善良で、学校で良い成績を得ていたにもかかわらず、「中にはフローラの選択を疑う人もいた。彼女ほど教養があり、裕福で、人気のある女性が農家の青年と結婚する理由が理解できなかったのである。しかし、フローラは、『ずっと農夫と結婚したいと思っていました』と言い続けた。エズラは『経験豊かで、思慮深く、堅実だ』と彼女は言い、次のように語った。『彼は両親に優しく接していました。両親を敬う人なら、きっとわたしも大切にしてくれると確信したのです。』エズラが『ダイヤモンドの原石』であることにフローラは気づき、『この狭い地域だけでなく、全世界に彼の名前が知られ、彼の善い影響力が広まるよう、全力を尽くして支えるつもりです』と言った。」⁸

夫の潜在的能力をこのように見抜いていたフローラは、子供たちを養うために、また教会や



エズラ・タフト・
ベンソン長老は、8年間
アメリカ合衆国農務長官を
務めながら、
使徒としての務めも
果たしました。
ベンソン長老が
これらの責任をどのように
果たしたかについては、
19 - 22, 41 ページを
参照してください。



一番上——
ベンソン大管長と聖徒たち。
左と上——
ベンソン長老は合衆国農務長官を務めた。

地域社会、さらに国に仕えるために、行く必要のある場所はどこへでも喜んで行きました。このために時折、それまで慣れ親しんでいた生活以上に質素な生活をするを求められましたが、彼女はそのチャレンジを受け入れました。

例えば、彼らの結婚式の日の「唯一の祝宴は、家族と友人のための朝食会だった。朝食の後、結婚したばかりの二人は、すぐにT型フォード小型トラックに乗り込み、アイオワ州エイズムへ向かって出発した。」エズラがそこで農業経営学の修士課程に進むためでした。「二人は道中、雨漏りのするテントで8泊した。エイズムに到着した後、大学のキャンパスから1ブロック離れた所にあるアパートを借りた。アパートは狭く、ベンソン夫妻は何匹ものゴキブリと同居したが、『程なくして最も居心地のよい田舎の家のようにになりました』とエズラは語っている。」⁹

エズラが「原石」からもっと「ダイヤモンド」らしくなったとき、家庭外での奉仕に携わる機会がますます多くなりました。これはフローラ

にとっても同様に精練の過程となりました。彼が不在のとき、彼女は時折孤独や落胆と闘いました。しかし、妻であり母親であることが大好きでした。そして、夫の善良さと家族に対する献身的な愛情に感謝しました。フローラとエズラが結婚したばかりの頃のことと親としての暮らしについてさらに知るには、11 - 13 ページを参照してください。

人生を変えた2本の電話

1943年7月27日、フローラに夫から電話がかかってきました。彼はユタ州ソルトレーク・シティーにいて、息子のリードとともに出張旅行から帰る準備をしていました。彼女はそこからおよそ2,000マイル（約3,200キロ）離れたワシントンD.C.に近い家にいました。彼は祈りと涙の眠れない一夜を過ごした後、前日に十二使徒定員会会員として奉仕するように召されたことを知らせるために、彼女に電話をかけてきたのです。

その知らせにフローラは驚きませんでした。彼女は「〔夫の〕旅行中に何か大きなことが起こるという気持ちを強く感じていたのです。」¹⁰彼女はエズラを信頼していることを伝えました。そして、彼女の言葉によって彼の心は落ち着きました。彼は後にこう回想しています。「妻と話してほっとしました。彼女はいつも、わたし以上にわたしを信頼してくれています。」¹¹

フローラは夫を信頼していましたが、彼が独りでは召しを果たせないこと、すなわち彼には家族からの支援と天からの力が必要であることを知っていました。ある総大会のときに小声で伝言されたメッセージには、夫に対するフローラの愛と、彼が主を信頼していることをフローラが理解していたことが示されています（43 - 44 ページ参照）。

フローラは、1952年11月24日に夫から、人生を変えることになったもう1本の電話を受けました。このとき、彼はワシントンD.C. 地域を訪れており、彼女はソルトレーク・シティーの自宅にいました。間もなくアメリカ



合衆国大統領に着任することになっていたドワイト・D・アイゼンハワー氏が、ベンソン長老に、農務長官として働くように求めてきたのです。その職は要職であって、多大の犠牲と献身が必要とされるものでした。ベンソン長老は、教会のデビッド・O・マッケイ大管長（1873 - 1970 年）の助言を受け、その職を引き受けることにしました。

ベンソン長老がフローラに、アイゼンハワー次期大統領から就任の要請があり、それを受諾したと告げたとき、彼女はこう答えました。「そうだと思ったわ。そして、あなたは承諾すると分かっていたわ。」彼女はそれが家族に困難をもたらさだろうということを認識しながら、こう付け加えました。「それが神の御心のようだよ。」¹²

ベンソン長老は 8 年間、農務長官を務めました。その間、家族は離れ離れの時期を耐え、またベンソン長老は公職に付き物の批判とへつらいに対処しなければなりません。ベンソン家族は素晴らしい機会を数々与えられました。例えば、ベンソン長老はあるとき、4 週間の日程で、12 개국と貿易関係を樹立する働きをしました。その際、フローラと二人の娘、ビバリーとボニーを連れて行きました（168 - 169 ページ参照）。ニュースレポーターからの招待をきっかけとして、家族は比類ない伝道の経験をすることができました（21 ページ参照）。

等しく主の御手に使われる者

全ての大管長と同様に、エズラ・タフト・ベンソンも召しに予任されていました。しかし、自分だけでは、その予任の

務めを果たすことができず、そのような力をもって働けなかったことでしょう。確かに、フローラ以上に彼に影響を及ぼした人は誰一人いません。教会でも、家庭でも、二人は主の御手に使われる力強い者として並んで働いたのです。

ベンソン大管長とベンソン姉妹は、彼が教会を管理することになると分かったときに一緒にひざまずいたように、「この

地上において……業を押し進める」ために一緒に働きました。¹³ 彼女が 10 代のときに願っていたように、二人は望んだものを一緒に手に入れたのです。¹⁴

説教台から、ベンソン大管長は、モルモン書で地と自分自身の生活を満たすように末日聖徒に勧めました（第 9 - 10 章参照）。家で、フローラは毎日彼にモルモン書を読み、その後で読んだ内容について二人で話し合いました。¹⁵ 説教台から、ベンソン大管長は、定期的に神殿で奉仕し、礼拝するように聖徒たちに勧めました

（第 13 章参照）。個人的に、フローラとエズラ・ベンソンは、可能な場合、毎週金曜日の朝に神殿に参入しました。¹⁶ 説教台から、ベンソン大管長は、高慢の罪と「世の称賛」について警告しました。¹⁷ しかし、フローラは「全世界に彼の名前が知られるように助ける働きを立派に果たしましたが、¹⁸ 二人はともに静かな「神の称賛」を喜びとしました。¹⁹

エズラ・タフト・ベンソン大管長は、使徒として、また大管長として、数百に上る説教をしました。それらの説教のどれ一つを取っても、1985 年 11 月 11 日に大管長が述べたあの短い説教の影響を受けていないものを想像することは困難です。その短い説教とは、「フローラとわたし」という説教です。■



注

1. シェリー・L・デュー, *Ezra Taft Benson: A Biography* (1987 年), 479
2. エズラ・タフト・ベンソン。ドン・L・サール, "President Ezra Taft Benson Ordained Thirteenth President of the Church," *Ensign*, 1985 年 12 月号, 5 で引用
3. 『歴代大管長の教え——エズラ・タフト・ベンソン』7
4. デュー, *Ezra Taft Benson*, 74 - 75
5. 『教え——エズラ・タフト・ベンソン』8
6. 『教え——エズラ・タフト・ベンソン』36
7. 『教え——エズラ・タフト・ベンソン』9
8. 『教え——エズラ・タフト・ベンソン』10
9. 『教え——エズラ・タフト・ベンソン』10 - 11
10. デュー, *Ezra Taft Benson* 176
11. エズラ・タフト・ベンソン。『教え——エズラ・タフト・ベンソン』14 で引用
12. フローラ・アムッセン・ベンソン。『教え——エズラ・タフト・ベンソン』21 で引用
13. エズラ・タフト・ベンソン。サール, "President Ezra Taft Benson Ordained Thirteenth President of the Church," 5 で引用
14. フローラ・アムッセン・ベンソン。デュー, *Ezra Taft Benson*, 74 - 75 参照
15. ダーリン・ヘッド・ロドリゲス「フローラ・アムッセン・ベンソン—預言者の妻, 主のはしめ」『聖徒の道』1987 年 6 月号, 19 参照
16. デュー, *Ezra Taft Benson*, 511 参照
17. 『教え——エズラ・タフト・ベンソン』213
18. 『教え——エズラ・タフト・ベンソン』10
19. 『教え——エズラ・タフト・ベンソン』213

巡り巡って与えられた奉仕

大学1年生のとき、わたしはよくルームメートと一緒に、彼女の遠い親戚に当たるおじさんを訪問しました。98歳になるそのおじさんのことを、わたしたちは親しみを込めて、ジョーおじさんと呼んでいました。ジョーおじさんは、一人暮らしで孤独でした。そこでわたしたちはできるだけ頻繁に彼の家を訪問するよう努めました。わたしたちが訪問中、ジョーおじさんは、メキシコやアリゾナ州にあるメキシコ国境沿いの町、例えば、ノガレスに住んでいた

頃の話をしてくれました。

ルームメートがしばらく実家に帰ることがありましたが、わたしはジョーおじさんを訪問し続けるようにという促しを感じました。彼との友情が深まっていきました。おじさんは1年半後に亡くなりましたが、そのときまで訪問は続きました。友であるジョーおじさんが亡くなって悲しかったものの、貴重な時間を共有できたことに感謝しました。

ジョーおじさんが亡くなって10年がたち、わたしは自分の曾祖母の日記を読

んでいました。そこには、財産を一切残すことなく、未納の家賃30ドルと養う必要のある9人の子供たちを残して亡くなった夫のことが記されていました。

読み進むとこう書かれていました。「ビスビー〔アリゾナ州〕の人たちは、本当に親切にしてくれた。ビスビーから南に位置する郊外に住んでいたときには、わたしたちを〔教会から〕家まで送ってくれた。ジョセフ・クレインマン兄弟は、メキシコに住んでいたにもかかわらず、わたしたちを何度も家まで

ジョーおじさんは、一人暮らしで孤独でした。そこでルームメートとわたしはできるだけ頻繁に彼を訪問するよう努めました。



告白できるだろうか

送ってくれた。それだけでなく、〔彼の家族は〕わたしたち全員を夕食に招いてくれた。ウサギのフライや色とりどりの料理を食べさせてくれた。本当においしかった。クレーンマン兄弟一家はノガレスに引っ越した。……引っ越しをするときには彼らのウサギをプレゼントしてくれた。まっ白なウサギで、わたしたち家族全員で食べて余りあるほどの量だった。〕

この記録を読み進むうちに、わたしは気づいたのです。わたしの曾祖母を助けてくれたこのジョセフ・クレーンマンはジョーおじさんだったのです。彼が曾祖母とその子供たちに示してくれた思いやりにささやかながらも感謝するために、ジョーおじさんを訪問し続けるよう導かれたのだという御霊のささやきを、わたしは感じました。

巡り巡って与えられた愛と奉仕の物語に自分も関わることができ、胸の高鳴りを覚えました。主はその子らを心にかけておられることを知っています。聖霊の促しに耳を傾けるならば、わたしたちは周囲の人々の人生に祝福をもたらし、ひいてはわたしたち自身も祝福を受けることができるのです。■

クリシ・チャーチ・サマーズ
(合衆国、ユタ州)

ステーキ会長会の一員の真向かいに座ったとき、わたしの心臓は激しく鼓動し始めました。ステーキ書記から面接の約束を取る電話があつてからというもの、わたしはびくびくしていました。わたしが奉仕するにふさわしくないということが彼の知るところとなるのだろうか。

罪の中には、この地上で暴露するよりも、神の裁きの法廷に委ねた方が楽なものもあると、わたしは思っていました。妻を苦しめたり当惑させたりする罪を明らかにするのは利己的なことだと考えたからです。そのような罪は自分の力で克服し、重荷を背負ったまま生きる方がいいと考えたのです。しかし、一つだけ問題がありました。自力でその罪を克服できなかったのです。

椅子に座ると、ステーキ会長会顧問に奉仕の召しを告げられました。そして、こう尋ねられました。「兄弟、この召しを受けていただけますか。」どれほど「はい!」と叫びたかったことでしょう。しかし、ほとんど無意識のうちにこう言っていました。「できません。解決しておかなければならない罪があるからです。」

だまかにどのような罪を犯したのか告白すると同時に、不安と平安の入り混じった気持ちでいっぱいになりました。顧問の兄弟はビショップと話したかどうか尋ねました。答えは「いいえ」でした。妻に対してはどうかと尋ねました。その答えも「いいえ」でした。彼はわたしと握手し、ほほえみ、告白してくれたことを誇りに思うと告げました。それからビショップ、そして妻と話すように指示してくれました。

わたしは指示どおり、まず妻に話しました。一番大きな恐れを取り去るためでした。妻の愛に変わりはありませんでした。確かに、妻は動揺しました。二人で解決しなければならないことも幾つかありました。しかし、妻はわたしを愛し、ビショップと会って話すよう励ましてくれたのです。

ビショップに会いに行くと、すぐにビショップ室に迎え入れてくれました。ごちないながらも、わたしは自分がそこに来た理由を説明しようと努力しました。自分の罪を隠していた期間があまりにも長かったため、どこから始めたらいいのかほとんど分からない状態でした。ビショップは愛をもって、何もかも話すよう勧めてくれました。わたしは自分の罪についておおまかに説明し、その罪の完全なリストを提示できるようになるまでしばらく待つてくれるようお願いしました。ビショップはすぐに賛成してくれました。

まだ十分な告白はできていませんでしたが、巨大な重荷が肩から引き上げられるのを感じました。また、やっこのことでこの重荷から解放されるという新たな希望を感じました。

それから何週間かを費やして、わたしは祈り、聖文を読み、ビショップと天の御父に提示する罪のリストを作りました。まず、打ち砕かれた心と悔いる霊をもって、そのリストを天の御父に差し出しました。わたしが申しわけなく思っていること、心から変わりたいと願っていることを御父に知っていただくためです。ビショップと次の面接の約束を取り、全ての罪を告白しました。ビショップは不快で眉をひそめたり、どなったり、叱責したりすることなく、それどころかわたしをしっかりと抱き締めてくれました。わたしに対する自分の愛と主の愛を伝え、今、真に悔い改める道を歩んでいるのだと言ってくれました。わたしはそれが真実であると分かりました。

以前は最も恐れていた罪の告白が、わたしの人生で最もすばらしい経験の一つとなりました。わたしにとって、イエスキリストの贖罪が持つ賜物と癒やしの力を本当の意味で理解する最初のステップとなったのです。■

匿名

道を歩む

伝道中最後のエリアで、同僚とわたしはブラジルのサンパウロ奥地に位置する二つの村で奉仕しました。この二つの村を結ぶ近道はありましたが、森の中にあり、その道を通ったことはありませんでした。そこは危険ですし、話しかける人に出会うこともないだろうと思ったからです。

ある午後のこと、その道に近づいたとき、わたしは聖霊の促しを感じました。森の中に足を踏み入れるよう告げられたのです。わたしはアンドレド長老を見詰め、自分がたった今感じた印象について話しました。すると彼も同じ印象を受けたと言うのです。

慣れない山道を歩き出してから間もなくすると、わたしたちの方へ歩いて来る一人の女性の姿が見えました。その道が狭かったため、擦れ違おうとしたとき、彼女が泣いていることに気づきました。

顔を上げると、彼女はわたしたちに自分の家までついて来てほしいと言いました。わたしたちはそこで彼女のご主人に会いました。すぐさまこの好意的な夫婦に福音を教え始めました。数週間後、二人にバプテスマを受けるよう勧めました。1年間バプテスマのなかったワードにとってうれしいことに、彼らは快くそのチャレンジを受け入れてくれました。わたしたちはあの日、山道へ足を踏み入れるよう告げる聖霊の導きに従って本当によかったと思いました。

バプテスマの少し前、奥さんからわたしたちに話さなければならないことがあると言われました。こういう話でした。彼女は何年も同じ夢を繰り返し見ていました。気が付くと自分がサンパウロの繁華街で誰かを待っているという夢です。一人の年配の男性が彼女に近づいて来て、こう言います。「二人

の若い男性がやって来て、あなたの人生を変えるでしょう」と。それから自分に近づいて来る二人の若い男性の姿が見えます。しかし、夢はいつもそこまで終わってしまうのです。

ある日のこと、彼女は家で床の掃き掃除をしていました。そのとき、一つの声が聞こえました。二人の若い男性が近づいて来ているので、あの近道の方に今すぐ行かなければならないと告げられたのです。わたしたちが初めて彼女に出会ったあの場所です。彼女には、それが聖霊の導きであることは分かりませんでした。自分が見た夢の答えを知りたいという気持ちから、彼女はほうきを置いて、あの山道へと向かいました。

歩いていると、彼女は自分の夢をまるで映画を見ているかのように思い出しま

した。いつも最後は二人の若い男性の顔が見えるところで終わる夢です。その男性というのは、それぞれ黒い名札を付けていました。彼女は話を続けました。しばらくして、アンドレド長老とわたしが山道で彼女の前に現れました。彼女は涙をこらえることができませんでした。

そのときの神聖な経験を思い出す度に、わたしは御霊を感じます。また福音を受け入れたあの姉妹の頬に残る涙の筋を再び目にしているような気になります。あの日、同僚とわたしに、主が選ぶよう望んでおられる道を歩むよう感じる心と従う勇気があって、本当によかったと思います。■

ルト・デ・オリベイラ・マルコリーノ
(ブラジル、リオグランデ・ド・ノルテ州)

慣れない山道を歩き出してから間もなくすると、わたしたちの方へ歩いて来る一人の女性の姿が見えました。その道が狭かったため、擦れ違おうとしたとき、彼女が泣いていることに気づきました。



この花、差し上げましょうか

ある日のこと、病院の小児科病棟での特に大変な一日を終えて、わたしは疲れ、いらいらしていました。警備デスクの方に歩いて行くと、何本かのきれいな花に気づきました。デスクに座っている人に、その花の美しさや香りの良さを褒めると、「持って行ってもいいわよ」と言われました。

わたしは本当にうれしくなりました。天の御父は、わたしの一日を明るくするために、この花を与えることを確かに望んでおられるのだと思いました。

病院から外に出ようとしたとき、自分の前に車椅子に乗った一人の女性がいることに気づきました。わたしはもどかしさを覚えました。やっとのことで、建物の外に出るために彼女を追い越すことができました。追い越すときに、彼女は頭を上げてこう言いました。「あら、何てきれいな花でしょう。」わたしは彼女に感謝し、車の中で待っている夫の方へと急ぎました。夫に自分がもらった花を見せるのが楽しみでした。

ところが、次の瞬間です。わたしは自分よりもこの女性の方がこの花を必要としていると聖霊が告げられるのを感じたのです。自分としてはあげたくなかったのですが、聖霊の促しに従いました。この花を差し上げましょうかと彼女に尋ねたとき、「いいえ」と言ってくればいいのにと思いました。

「ええ、ぜひ。」彼女はそう答えました。「その花が気に入ったわ。きれいね。」

わたしは彼女にその花を渡しました。ところがわたしがその場を立ち去ろうとすると、彼女はしくしくと泣き始めたのです。「大丈夫ですか」とわたしは尋ねました。すると、夫は数年前に亡くなり、子供たちは、もう1年以上会いに来てくれないとのことでした。神が御自分の愛のしるしを示してくださるよう一生懸命お願いしていたと言うのです。

「わたしの大好きな花をくれるなんて、あなたは神様が送ってくださった天使よ。」彼女はそう言いました。「今、分かったわ。神様はわたしを愛しておられるのね。」

わたしは心が痛みました。わたしは何て利己的だったんだろう。この女性は愛にあふれる言葉が必要だったのに、わたしは彼女に話しかけたいという気持ちさえ抱かなかった。わたしは天使などではありませんでした。彼女と別れるとき、わたしも泣き出してしまいました。


車にたどり着いたとき、夫から、どうしたのか、どうして自分の花をあげてしまったのかと尋ねられました。夫は困惑したようでしたが、わたしの話を聞くと安心しました。

「今日、きみにバラを送ったんだよ。それが必要だと思ったからね。」彼はそう言いました。「そのバラをあげてしまったのかと思って心配したけど、それが違う花だとしたら、僕の送った花はどこに行ったんだろうね?」

花屋がバラの配達を忘れていたということが後で分かったので、わたしたちはそちらへと向かいました。夫が店に入り、すぐに美しい花束を持って出て来ました。

わたしはもう一度泣いてしまいました。天の御父はわたしにあの花を犠牲としてささげてほしいと願っておられたのです。より良いものがわたしを待っていること、また御自分の孤独な娘が神の愛を思い起こすきっかけとなるものが必要だということを知っておられたからです。■

シンディー・アルマラス・アンソニー
(アメリカ合衆国、ユタ州)



ところが、次の瞬間です。
わたしよりもこの女性の方が
この花を必要としていると
聖霊が告げられるのを感じました。



しばしばともに 評議する

夫婦の家族会議

ニコール・エック

大 管長会や十二使徒定員会から、ステーク、ワード、支部、定員会、その他の指導者の評議会に至るまで、どのレベルにおいても、教会の評議会は天の規範に倣っ

て開かれます。スペンサー・W・キンボール大管長（1895 - 1985 年）は「家族会議こそが教会の最も基本的な評議会である」と教えました。¹

十二使徒定員会の M・ラッセル・バラード長老は、「家族会議は効果的なコミュニケーションを図れる、理想的な評議会です」と教えています。² すなわち、「家族全体に必要な事柄や、家族一人一人に必要な事柄について話します。問題を解決し、家族みんなで何かを決め、家族の活動や目標について、毎日の計画や長期計画を立てる時間」であると説明しています。³

今まで家族会議を開いたことがなくても、今日から始めることができます。一緒に住んでいる子供がいれば、会議に参加してもらうことができます。ただし、夫婦だけで家族や

個人の問題について話し合うための、別の家族会議を開くことも重要です。

夫婦の家族会議で応用できる原則や実践的な提案を幾つか紹介します。

祈りで始める

「天の御父との交流がやむと、伴侶とのコミュニケーションもやみます。」⁴

皆さんの結婚生活において、主はきわめて大切な役割を果たすことができになります。祈りの中で、伴侶を含めて、あなたが受けているたくさんの祝福について天の御父に感謝を述べ、話し合いに御霊が豊かに注がれるように願い求めるとよいでしょう。御霊は二人の話し合いを導き、良い感情を養い、良いコミュニケーションを引き出します。

家族は様々な問題や
決断に直面します。
家族会議に関する、
この6つの原則が
役立つことでしょう。



ともに決定を下す

「評議会の参加者は、祈りと話し合いによって合意に達しなければなりません。一致は主の助けを得るための前提条件であるからです。」⁵

あなたと伴侶は、仕事の申し入れを受けるかどうか、志望校の決定、子供をもうける時期、家事の分担についてなど、重要な決定を下さなければなりません。夫婦は問題の解決策として考えられることを提案し、それについて話し合うとよいでしょう。謙遜な態度で伴侶の意見に耳を傾けましょう。

そうすれば、別の見方を理解する助けとなり、伴侶の意見を大事に思っていることを相手に伝えることができます。

家族会議では、「妥協によってではなく、神との同意の下に」重要な決定を下す必要があります。⁶ すべてのことについてすぐに一致できないかもしれません。数回にわたって評議し、個人でも夫婦でも誠心誠意祈って、ようやく一致した決定に至ることもあるでしょう。とはいえ、「皆さんが、期待されているとおりに評議会で話し合うなら、神は皆さんが抱えている様々な

問題を解決できるようにしてください」⁷ います。

また、家族会議の議題をあらかじめ決めておくと助けになるかもしれません。そうすれば、議題について深く考える時間があり、あなたも伴侶も自分の考えを述べるためによりよく準備できるでしょう。

自分を評価する

「なぜ、兄弟の目にあるちりを見ながら、自分の目にある梁はりを認めないのか。」(マタイ7:3)

あなたが変えることのできる唯一の人間は、自分です。家族会議を利用し、伴侶に対して批判的なことをあれこれ並べ立てたくなるかもしれません。そうではなく、自分をよりよくしたいという望みを抱いて家族会議に臨みましょう。あなたの言動に関して困っていること、心配していることはないか、伴侶に尋ねてください。自己改善の目標を立て、変わろうと努力する中で伴侶の助けを求めましょう。伴侶が立てた自己改善の目標があれば、それを応援しましょう。



難しい事柄について話す

「どの家庭にも問題やチャレンジは必ずあります。しかし、幸せな家庭は、批判や口論を避け、問題解決に向けてともに努力しようとしています。」⁸

堅固な夫婦関係は、困難を無視したり、避けたりするのではなく、克服することで築かれます。話し合いが必要な、深刻な問題が生じることもあるでしょう。例えば、罪と悔い改めにかかわる問題や、経済的な問題を解決するのに苦勞するかもしれません。しかし、そんなときは家族会議で率直かつ正直に話し合えば、激しい感情を和らげる助けとなるでしょう。家族会議は問題を提示したり、助けを求めたりするのに最適な、話しやすい場とすることができます。

問題の解決につながる可能性のあることに力を注ぎ、口論や批判は避けましょう。謙遜になり、伴侶に愛を示し、

幸福で永遠の夫婦関係と家族を築くために力を合わせていることを互いに思い出しましょう。

前向きな雰囲気を保つ

家族会議を開くのが「緊急時」だけで、「家族会議で[家族]の功績を認めたり、彼らを称賛したり、愛を示したりしなければ、彼らは家族会議を恐れるようになるでしょう。」⁹

家族会議で毎回問題や決定事項に焦点を当てる必要はありません。伴侶について肯定的なことを伝え、生活の中で受けた祝福について話してもよいでしょう。個人の功績を祝ったり、夫婦や家族を霊的に強める方法について話し合ったり、一緒に目標を立てたり、伴侶の長所や奉仕に対して感謝を述べたりできます。家族会議を活用して、「コミュニケーションを図り、互いに敬意を示す習慣を身につけましょう。

……そうすれば、[あなたと伴侶は]深刻で難しい問題が生じたときにそれを力にできるでしょう。」¹⁰

粘り強く続ける

「日々最善を尽くし、向上するように努めようではありませんか。自分の不完全さが現れたときでも、間違いを正す努力ができます。自分や愛する人々の中にある弱点に対して、もっと寛大になることができます。」¹¹

最後に、質の低いコミュニケーションの習慣を前向きなパターンに変えるには、時間と練習が必要なことを忘れないでください。最初の家族会議がぎこちない、発言しにくいものになっても、謙遜な気持ちで意思の疎通を図り、決定を下す際に主の御心みこころを求めらるなら、家族会議の祝福をよりよく理解できるようになるでしょう。

主はわたしたちに、家庭を平安に保





何について話せばよいでしょうか

家族会議で何について話せばよいかわからないときは、以下のような質問について考えるとよいでしょう。

- それぞれが家事の一部を担い、自分の担当について良い気持ちを持てるようにするには、どのような方法で分担すればよいでしょうか。
- 家庭ではどんなメディアの使用を認めますか。
- 家族で学べる新しい技能にはどんなものがありますか。
- 口論をなくすため、家族で何ができるでしょうか。
- 安息日を守る助けとなる活動には、どんなものがあるでしょうか。
- どのように自然災害に備えることができるでしょうか。
- もっと積極的に地域の活動に参加するにはどうしたらよいでしょうか。
- 家族で始められる新しい伝統にはどんなものがあるでしょうか。
- どうすればさらに上手に家計を管理できるでしょうか。
- 夫婦関係を霊的に強めるために何ができるでしょうか。

ち、穏やかに話し合うよう望んでおられます。主はわたしたちの弱点を補い、努力を祝福してくださいます。主の助けによって、「互いに尊敬し、理解し、一致しようとする雰囲気」¹²を醸し出すことができ、トーマス・S・モンソン大管長が約束したように、家庭を「地上の天国」にできるのです。¹³ ■

筆者はアメリカ合衆国ユタ州在住です。

注

- 1.『歴代大管長の教え——スペンサー・W・キンボール』211
- 2.M・ラッセル・バラード、*Counseling with Our Councils: Learning to Minister Together in the Church and in the Family* (2012年), 165
- 3.M・ラッセル・バラード「家族会議——バラード長老夫妻との対談」『リアホナ』2003年6月号, 14

- 4.M・ラッセル・バラード「家族会議」『リアホナ』17
- 5.ロナルド・E・ポールマン「神権評議会——物心両面の必要を満たす鍵」『聖徒の道』1980年9月号, 142 参照
- 6.ロナルド・E・ポールマン「神権評議会」142
- 7.スティーブン・L・リチャーズ, *Conference Report*, 1953年10月, 86
- 8.エズラ・タフト・ベンソン「聖徒たちに与える勧告」『聖徒の道』1984年7月号, 11
- 9.*When Thou Art Converted, Strengthen Thy Brethren* (Melchizedek Priesthood study guide, 1974年), 168
- 10.“Family Councils: A Heavenly Pattern” *Follow Me: Relief Society Personal Study Guide* (1989年), 171
- 11.ラッセル・M・ネルソン「完成への道」『聖徒の道』1996年1月号, 97
- 12.「家族会議で共に語り合う」『聖徒の道』1985年6月号, 31
- 13.トーマス・S・モンソン「幸福な家庭のしるし」『リアホナ』2001年10月号, 4

結婚す

クリスティアン・ヘグルント

伝道を終えてスウェーデンに帰った後、しばらくの間、人生の次の段階、すなわち神殿結婚について悩みました。わたしがなるべき人物になれるよう家族を築き始める必要があると、御霊が再び告げました。自分にぴったりの永遠の伴侶が見つかり、わたしの選択を主が認めてくださったと感じたにもかかわらず、結婚が人生で一番大きな決断であることに目を向けすぎて、わたしの信仰は揺らぎました。恋人のエベリーナとわたしは神殿の結び固めの日時を選び、新婚旅行の予約をし、婚約指輪を買いましたが、まだ正式に婚約していませんでした。わたしが結婚を決めるのを恐れていたからです。結婚が失敗に終わったとしたら、結婚を決めた自分が責任を負うことになるのが怖かったので、天の御父に、エベリーナと結婚するように命じてほしいと思っていました。恐れと誤った祈りから、わたしは大切な決断を下せないまま、前に進めなくなっていました。



人生で一番大事な
決断をするとき、
選択の自由を使い、
作用される者ではなく、
作用する者となることを
学びました。

主の方法である選択の自由

教義と聖約第58章26節から29節を開いたとき、聖霊の促しによって状況が少しずつ変わりました。「見よ、わたしがすべてのことを命じるのは適切ではない。すべてのことを強いられて行う者は怠惰であ[る]。……

まことに、わたしは言う。人は熱心に善いことに携わり、多くのことをその自由意志によって行い、義にかなう多くのことを成し遂げなければならない。

人は自らの内に力があり、それによって自ら選択し行動する者だからで

ある。……

しかし、命じられるまで何事も行わず、疑いの心をもって戒めを受け入れ、それを不承不承守る者は、罰の定めを受ける。」

これらの節について深く考えていると、天の御父の計画において選択の自由が果たす役割を理解し始めました。この理解のおかげで、わたしの考え方は変わり、前進する勇気を得ました。十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老は、個人的に努力しなくても靈感によって導きを受けられるとし

2015年のミューチャルのテーマ

「それゆえ、おお、神の務めに出で立とうとする人々よ、
終わりの日に神の前に罪のない状態で立てるように、
あなたがたの心と、勢力と、思いと、力を尽くして神に仕えなさい。」
(教義と聖約4:2)



おお、神の務めに

出で立とう

とする人々よ

全てを尽くして仕える

中央若い女性会長会

2015年ミューチャルのテーマが教えているように、神に仕えるのは神聖な特権です。今年、わたしたち一人一人がより一層強い決意をもって、救い主の教えられた方法に倣って仕えることを学べるよう願っています。その方法とは、心と、勢力と、思いと、力を尽くして仕えることです。どうしたらそのように仕えることができるでしょうか。幾つかアイデアを示しましょう。

第1に、わたしたちは心を尽くして仕えます。それは、神への奉仕は神とその子らへの愛に根ざしていなければならないという意味だと理解しています。「主を愛する心は、わたしたちの感情の欲求や時間の要求、興味、物事の優先順位をコントロールします。」¹ 主の戒めを守るとき、わたしたちは主に、主を愛していることを示します(教義と聖約42:29参照)。家庭において仕え、家族を強めます。自分の召しを尊んで大いなるものとし、友人を必要としている人に手を差し伸べます。神殿で儀式を行うために家族の名前を見つけます。

第2に、わたしたちは勢力を尽くし



ボニー・L・オズカーソン会長(中央)、
キャロル・F・マッコスキー第一顧問(左)、
ニール・F・マリオット第二顧問(右)

て仕えます。それには体を使った働きと熱心な努力が必要です。伝道活動にはスタミナと我慢強さが求められます。「例えば、飢えている人に食べさせ、着る物のない人に着せ、病人を見舞い、……霊的にも物質的にも助けを与える」などして困っている人を助けるとき（モーサヤ4：26）、勢力を尽くして仕えます。

次に、わたしたちは思いを尽くして仕えます。その思いは清く、純粋で、救い主を中心とするものでなければなりません。皆さんはいつも主を覚えると聖約しました。聖文の学習と祈りを通して聖霊の導きを求めます。思いと言葉と行動を神の思いと御心に合わせるとき、人の必要に気づくようになり、仕えるためにふさわしく、備えができた状態になります。

最後に、わたしたちは力を尽くして神に仕えます。力を身につける一つの方法は、救い主の贖いを信じる信仰を働かせることです。悔い改めて、主の戒めを守る従順さを通して自分自身を聖めることです。主の力を受けて仕えるとき、救いを可能にする救い主の力を感じ、奇跡を見ます（アルマ26：12 参照）。

全てを尽くして神に仕えるとき、皆さんは罪から清められ、神の前に立て永遠の栄光を受けられるよう備えられ、神は約束しておられます。■

注

1. エズラ・タフト・ベンソン「偉大な戒め——主を愛する」『聖徒の道』1988年6月号、4 参照

この驚くべき業

中央若い男性会長会

「**出**で立つ」という言葉を聞くと、何を思い浮かべますか。出港する船でしょうか。偉大な大義に加わることでしょうか。旅の始まりでしょうか。

「神の務めに出で立つ」とき、皆さんは最も偉大な旅に加わることになり、業を速めておられる神の手助けをしているのであり、それはすばらしく、喜びに満ちた、驚くべき経験となります。

わたしたちの言葉をうのみにする必要はありません。去年ユタ州の小さな町で、教師定員会の若い男性が活動のアイデアを探そうと青少年の活動ウェブサイト(lds.org/youth/activities?lang=jpn)にアクセスしました。「7日間の奉仕」というアイデアが目にとまりました。

この若い男性たちは、もっと大きなことに取り組むことにしました。それは、丸1週間、1日も欠かさず、ワードで希望する人全員に奉仕を提供するというものでした。19家族が申し込んだとき、若い男性は少し驚きました。多少困惑したと言ってもいいかもしれませんが、どうしたらそんな短期間にそれほど多くの奉仕ができるでしょうか。しかし、約束したのですから、全ての

家族に奉仕することに決めました。

わずか1週間で、彼らは合計250時間以上の奉仕を行い、大きく積まれた石の山を動かしたり、砂場を掘ったり、雨どいをきれいにしたり、まきを積んだりしました。この活動は若い男性にも変化をもたらしました。

自分たちが感じた強さと受けた祝福に彼らは驚き、畏敬の念を抱きました。定員会として一体感を覚え、宿題やその他の責任を果たすときに天からの助けを受けたと語っています。今では、ワードが奉仕を必要とするときにはいつも、教師定員会が積極的に対応しています。彼らは1週間奉仕しただけではありません。毎日奉仕しようと努めているのです。

奉仕し神の王国を築くことは、真に驚くべき業です。前述の若い男性に喜びをもたらしてくれました。そして、純粋かつ真心からの働きかけを通じて、人を勇気づけ、その人の人生が変わるのを目にするとき、皆さんにも喜びがもたらされるでしょう。48ページで中央若い女性会長会が指摘しているように、神に仕えることは特権なのです。

あなたも今すぐ、「心と、勢力と、思いと、力を尽くして」(教義と聖約4：2)神への務めに出で立ってください。皆さんの奉仕の経験談を知らせてください！奉仕活動のビデオや写真を撮り、ソーシャルメディアサイトにアップロードして家族や友人と分かち合い、liahona@ldschurch.orgまで電子メールで送ってください。また、青少年の活動サイトを通じて人々に知らせようでしょうか。この驚くべき業に参加するよう人に勧め、どれほど世の中を変えることができるか見てみようではありませんか。■



デビッド・L・ベック会長(中央)、
ラリー・M・ギブソン第一顧問(左)、
ランダル・L・リッド第二顧問(右)

一歩 ずつ進む

イタリアの青少年が、
心と、勢力と、思いと、力を尽くして
神に仕える方法を紹介します。

ヒラリー・オルセン

今年のミューチャルのテーマが奉仕であることを知った今、何をしようと思っていますか。主は、心と、勢力と、思いと、力を尽くして御自身に仕えるよう求めておられます（教義と聖約 4:2 参照）。大変なことですし、圧倒されてしまうかもしれません。でも、その必要はありません。

「登山のようなものです」とイタリアのタラントに住むマルコ・Dは言います。「一気に山頂まで登ることを考えたら大変ですが、一歩ずつ進んだらずっと楽です。一歩ずつ足を前に出し、『できた!』と思ってください。それから、次の一歩を踏み出すのです。」

ピザやパスタ、石畳で知られるイタリアで暮らしながら、南イタリアの青少年は、重点的に取り組むべき有益なステップを幾つか見つけ、心と、勢力と、思いと、力を尽くして神に仕えようと努力しています。

霊的な導きを求める

霊的な導きを受けることは主に仕える大切な一歩であり、それには自分自身の努力が欠かせないことを15歳のダビデ・Cは知っています。「神の御手に使われる者になる必要があります」とダビデは言います。「御霊のささやきを受けてそれに従えるよう、備えができていなければなりません。そのためには、常時主に関わるものの中に身を置くようにすることが必要です。」

ダビデと家族は教会の改宗者です。バプテスマを受ける前にも、ダビデは聖文の学習がどれほど大切か知っていました。最初にバプテスマを受けたのは兄で、その後すぐに両親もバプテスマを受けました。ダビデは自分の証を得る必要があることを知っていました。モルモン書を読んで学んだとき、御霊を感じました。そのとき感じた良い気持ちが、教会に入る決心を後押ししてくれたのです。

それから4年たった今も、ダビデは御霊の導きに頼っています。「一貫して続けなければなりません。聖文学習や祈りをおろそかにしてはいけません」と彼は言います。

清さを保つ

17歳のマルコ・Dは、戒め、特に純潔の律法に従うことが大切だと指摘します。「サタンはあらゆる方法を用いてわたしたちを誘惑し、選択を誤らせようとします」とマルコは言います。「友達が悪い影響を及ぼすこともあります。」数年前、マルコは友達が自分の選択に悪影響を及ぼしていることに気づき、

付き合い友達を替えなければなりませんでした。「世間が望む自分でなく、ありのままの自分を受け入れてくれる友達を見つける必要がありました。」

ときどき登山の途中でつまずいてしまうことがあります。そんなときは「ビショップに会いに行き、正直に話しましょう」とマルコは勧めます。「ビショップはわたしたちの兄弟です。信頼できる人です。」

従順であるよう努め、清さを保つ努力をすることで、マルコには神に仕える機会が今与えられています。またそのような努力を重ねることによって、将来専任宣教師として奉仕するのにふさわしくあるよう備えられています。

時間を作る

17歳のマヌエル・Mは、神に仕えるのが必ずしも簡単でないことを知っています。「わたしたちは頻繁に試しを受けます」とマヌエルは言います。「時には、他のことをしたいと思うこともあります。眠ったり、サッカーの試合に行ったり、友達と過ごす方がいいと思うときもあります。でも、母からいつか、主に仕えることを選ばなければな



らないと教えられてきました。他のことをしてもかまいませんが、主に仕えることを優先する必要があります。」

14歳のミリアム・Dは、毎日確実に聖文学習と祈りをする唯一の方法は、そのための時間を決めておくことだと知っています。「時間を決めておくと、たくさんの方ができるように思います」とミリアムは言います。「それに、主のためにもっと時間をささげると、それだけ誘惑を受けなくなります。強められるからです。」

進んで奉仕する

15歳のサブリーナ・Dにとって、心と、勢力と、思いと、力を尽くして仕えるのはブオナ・ボロンタをもって仕えることです。ブオナ・ボロンタとは、熱心で朗らかな態度で物事を行うという意味です。

12歳のアレッシオ・Iも同じ意見です。「単にビショップや親に言われたからするというのでは、あまり意味がありません。義務感でするべきではありません。主はわたしたちが正しい理由で仕えることを望んでおられます。」

より一層ブオナ・ボロンタをもって仕えるにはどうしたらよいでしょうか。「聖文を読むことが役に立っています。聖文は奉仕することが正しいことだと教えてくれるからです。」

よく学び、贖罪についてよりよく理解することが、熱心で朗らかな態度で仕える助けになると、17歳のエルビサ・Dは言います。「天の御父が御子を遣わされ、御子がわたしたちのために



全てを犠牲にしてくださったように、わたしたちは進んでできる限りの献身をして主に仕える必要があります。」

人に重点を置く

16歳のジュリアと14歳の妹ベロニカ・Dは、人に重点を置くことの大切さを知っています。「奉仕をすることで、人を見る目が変わります。誰かに奉仕するとき、奉仕する方もされる方も祝福

されるのです」とジュリアは言います。

ベロニカは次のように言います。「あるとき、福音を分かち合いたいと強く望んでいたのに、その準備ができていないと感じたことがあります。怖かったのです。でも、奉仕している相手に重点を置いたとき、もっと自信が持てました。主が助けてくださると分かったからです。」

ジュリアとベロニカは、友人のバージニアの人生を変える奉仕をすることができました。一緒に教会の活動に行こうと誘い始めたのです。また、バージニアの家族を自分たち家族の活動に招待しました。程なく、バージニアの家族は宣教師のレッスンを受けるようになりました。1年後、バージニアと妹がバプテスマを受けました。

教会員になった今、バージニアは周りの人に奉仕する方法を探しています。福音を紹介したいと強く願っているのです。時には、新しい信仰について学校の友達にからかわれることもありますが、誰に話すべきか分かるように祈っています。ある日、知り合いのある女の子に話すべきだという御霊のささやきを感じました。「モルモン書をあ

げて、一緒に教会に行くよう誘ってみました。すると、来てくれたんです！彼女は今、モルモン書を読んでいます。」

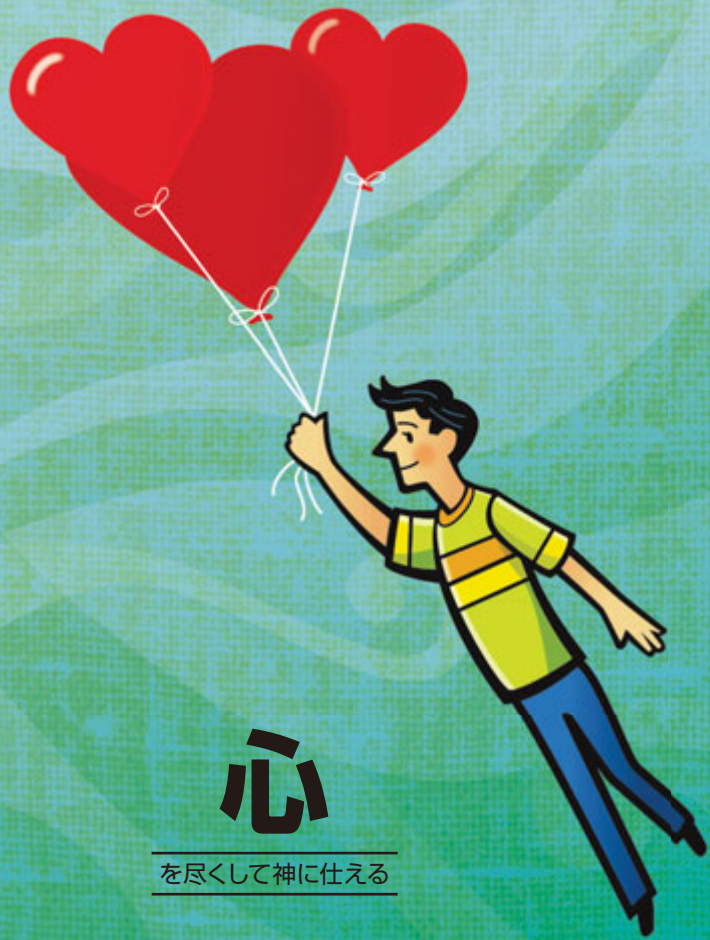
14歳のサムエル・Dは、定員会の会員を強める機会を探しています。「クラスで励ますことで定員会のみんなを助けようとしています。ときどき、レッスンに参加することを恥ずかしがったり、心配したりする人がいます。」自信が持てるように人を助けることは、神に仕え、将来の責任に備える一つの方法であるとサムエルは言います。

今始める

それでは、あなたは何をしたらよいでしょうか。アレッシオ・Iはこう言います。「影響を及ぼすのに大人になるまで待つ必要はありません。するべき時は今です。」

あなた自身も主の業の大切な一部を担っていることに気づくにつれ、これまで挙げたステップが役に立つでしょう。一歩ずつ進んでください。全てを尽くして主に仕えることを学ぶとき、あなたも大きな影響を及ぼすことができます。■
筆者はアメリカ合衆国ユタ州在住です。



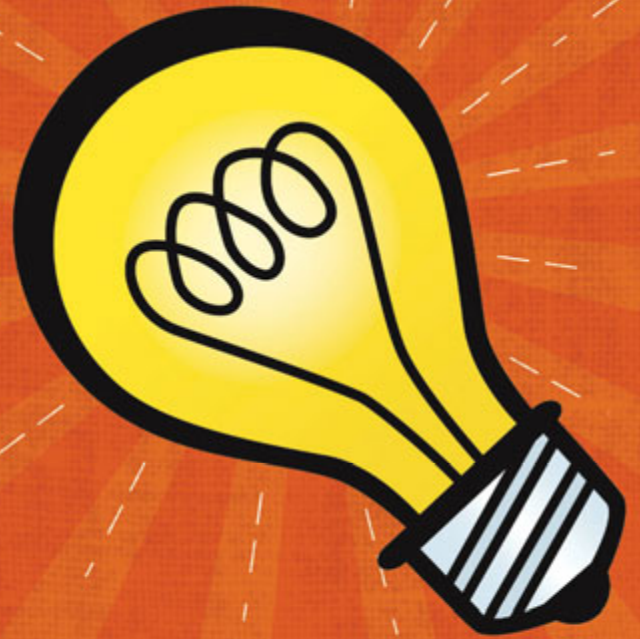


心

を尽くして神に仕える

思い

を尽くして神に仕える



力

を尽くして神に仕える



勢力

を尽くして神に仕える



思いを尽くして仕える

「考える力は神からの^{たまもの}賜物であり、……わたしたちが
どういう思いを抱くかは、態度や行動、また来世での
状態にも大きな影響を与える。」(聖句ガイド「思い」
の項、lds.org/scriptures/gs/thoughts?lang=jpn
&letter=) 良いものを願い求めるならば、思いはわ
たしたちが学び、より良く変われるように助けてくれ
ます。以下に挙げるのは、思いを尽くして仕えるため
のアイデアです。

- 聖文と預言者の言葉を学ぶ。
- 人と自分について前向きに考える。
- 特に霊性を高める事柄について、知識を求める。
- 健全で励みになる娯楽を選ぶ。
- 自分にとって大切なことについて研究する ——
例えば、教会歴史上の出来事や祖先について。
- 聖餐の間、救い主に思いを集中する。
- 日記をつけ、定期的に読み返す。

心を尽くして仕える

心臓(訳注:英語で heart)は生命を維持します。
「心」(訳注:heart)という言葉に、何かの中心あるい
は芯、また願望や感情が宿る場所を意味することが
よくあります。心を尽くして神に仕えるとは、わた
したちの願望、意思、そして愛の全てを主にささげると
いう意味です。主は、わたしたちが主の戒めを守り、
互いに愛し合うことによって御自身への愛を示すよう
求めておられます。以下に幾つかのアイデアを挙げ
ましょう。

- 自分の願望より、祈りと聖文学習と教会に出席する
ことを優先する。
- 家族や学校の誰かに思いやりと優しさを示す。
- 他の誰かの望むことをして過ごす。
- 人の気持ちを理解しようと努める。
- 誰かを心から褒める。
- 独りでいる人に話し掛けるか、隣に座る。

力を尽くして仕える

神に仕えるときの活力は、力を尽くして神に仕える
うで欠かせない要素です。力はまた、善を行うと
きの霊的な力、内なる決意、回復力、勤勉さでもあり
ます。わたしたちは、救い主御自身が実践された原
則に従って生活するとき、自らの力を示すことができ
ます。そうすれば、天与の霊の力を受けることができ
ます。以下に挙げるのは、力を尽くして仕えるための
アイデアです。

- 聖文を学習するときはそのことに集中する。
- ワードや支部の人たちと一致して働く。
- 道徳的標準を固く守る。
- 人々を祝福するために、聖霊のささやきに従って
行動する。
- 義にかなった生活をする決意をし、誘惑に遭った
ときにその決意を貫く。
- 栄養を摂り、運動をすることで、体を健康に保つ。
- 聖約を守ることで、霊的な力を増し加える。

勢力を尽くして仕える

勢力を尽くして仕えるというのは、霊的にも物質的
にも、とにかく自分ができることを行うことであり、
人に焦点を当てることだと考えられます。どんな才
能があるにしろ(重いソファを持ち上げることから、
困難な状況でも楽観的でいられることまで)、それ
を使って人を強めることができます。以下に挙げるの
は、勢力を尽くして仕えるためのアイデアです。

- 「今日、自分の助けが必要なのは誰だろう」と自問
し、得た答えに沿って行動する。
- 玄関の清掃、部屋の片付け、皿洗いなど、誰かの
ために作業をする。
- 才能を使う —— 自動車やコンピューターの修理、
部屋の飾り付け、手作りの贈り物、詩の創作など。
- 特に努力して誰かと友達になり、模範を示す。
- 身につけた技術を人に教える。

なぜわたしの人生で イエス・キリストが 重要なのですか

救い主が自分のために
してくださることを全て理解すると、
救い主は人生で一番大切な御方になります。



日曜日のレッスン

.....
今月のテーマ——

神 会

教会機関誌

マイケル・R・モリス

最近わたしは、あるブログの記事を読みました。筆者は、自分の日々の生活で救い主がいかに大きな役割を果たしておられるかを話していました。わたしはそのような気持ちを喜んで人に伝えようとする態度に好感を持ちましたが、それを読んだ人のコメントに次のような言葉があったので悲しくなりました。「救い主など、たとえいたとしてもわたしの人生にとって大した存在ではない。これまでもそうだったし、今後もそれは変わらない。」

これ以上ひどいコメントはないでしょう。遅かれ早かれ、人は皆、救い主を必要とするようになります。人は誰でも自分では修復できない過ちを犯し、自分では取り戻すことのできないものを失い、自分一人では対処できない苦痛や迫害、悲劇、重荷、失望を経験します。

幸いなことに、わたしたちは自分一人ですぐにそれに対処する必要はありません。

十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老は、次のように言っています。「自分の弱さに悩むとき、『この苦しみは誰にも分からない』と声を上げることがあるかもしれませんが。しかし、神の御子は全てを完全に理解しておられます。わたしたち一人一人の重荷を負われたからです。そして主は無限にして永遠の犠牲をささげたので（アルマ 34：14 参照）、わたしたちの気持ちを完全に理解し、憐れみの腕を伸べることでおできになります。」¹

イエスはわたしたちにとって大切な御父です。わたしたちがイエスと御父のもとに帰る旅路で生活を変え、試練に立ち向かい、信仰をもって前進できるよう、贖いと教え、望み、平安、模範によって助けてくださるからです。

イエスは悔い改めを可能にしてください

イエスに心から従おうとする人にとってイエスが大切な御方である理由の一つは、人は誰でも間違いを犯すため、贖罪によって与えられる悔い改めの賜物を必要としているということです。

人がつまずいて倒れると、サタンはその人に、立ち上がって正しい道に戻るだけの力はないと思込ませようとします。この福音が「悔い改めの福音」であることを忘れさせようともします（教義と聖約 13：1、強調付加）。しかしわたしたちは、「キリストの恵みは実在し、悔い改めた罪人に対して赦しと清めの両方をもたらす」ことを知っています。²

イエス・キリストの贖いの力には、誰もがあずかることができますが、その効力が人生に及ぶかどうかは本人の選択次第です。友達に特別な贈り物をするとしましょう。友達に必要なもので、あなたが個人的に犠牲を払って用意した贈り物です。それなのに



友達から「ありがとう。でも、実はその贈り物は欲しくないんだ」と言われたら、あなたはどのように感じるでしょうか。

悔い改めて清くなるためにイエスに助けを求めないとしたら、イエスからの贈り物を拒んでいるようなものです。

イエスは真理を教えてください

あるとき、多くの者がイエスと行動を共にしなくなりました。イエスは十二使徒にお尋ねになりました。「あなたがたも去ろうとするのか。」ペテロは答えました。「主よ、わたしたち



は、だれのところに行きましょう。永遠の命の言ことばをもっているのはあなたです。」(ヨハネ6:67-68)

聖典と生ける預言者の教えと、聖霊のささやきの中に、救い主の「永遠の命の言」を見いだすことができます。この言葉は「この世においては幸福に、後の世においては永遠の命に至る」ための基盤となり、³ 天の御父と救い主のもとに無事戻るための指針となります。

救い主がお教えになった偉大な真理とは何でしょうか。大管長会第二顧問のディーター・F・ワークトドルフ管長は、最近の総大会の話で、4つ挙げています。

- 「御父はその子供たちに偉大な幸福の計画を与えてくださった。」
- 「贖罪によって愛する人たちと永遠にともに住める。」
- 「病気や障がいの重荷から解かれて栄光に満ちた完全な不死不滅の体を得られる。」
- 「悲しみと喪失感がもたらす涙は消え、あふれるばかりの幸福と喜びが……与えられる。」⁴

キリストは希望を与えてくださる

深刻な問題に直面すると、主に頼るのが難しくなることがあります。しかし、主に頼ることによって、問題に立ち向かうために必要な希望が得られるのです。

ゲートレル家の人たちも、そのようにして希望を得ました。中央初等協会会長会第一顧問のジーン・A・スティープンズ姉妹の所属するワードのゲートレル兄弟は、がんの診断を受けましたが、その家族はその後も、福音の教えと神殿の聖約をしっかりと守っていたと、

スティープンズ姉妹は言っています。そのおかげで彼らは、後の世で再び一緒になるという神の約束に希望を抱くことができるようになりました。

夫が亡くなるまでつらい毎日を送ったゲートレル姉妹は、こう言っています。「主が見守ってくださいました。主を信頼すれば、どのような人生の試練も乗り越えられるのです。」⁵

贖いの賜物は、永遠の命への希望をわたしたちに与えてくれます。試練に苦しむときや愛する者を亡くして悲しみに暮れているとき、わたしたちにはこのような希望が必要です。

大管長会第一顧問のヘンリー・B・アイリング管長はこう言っています。「愛にあふれる天の御父はわたしたちに救い主として、愛する御子イエス・キリストという賜物を与えてくださいました。イエス・キリストの贖罪というこの偉大な賜物と祝福は万人に受け継ぎをもたらします。それはこの世に生を受ける全ての人に与えられる復活の約束と永遠の命の可能性です。」⁶

イエスは平安を与えてくださる

自然災害に遭ったことがあるならば、ひどいわさを立てられたことがあるならば、人生を変えるような試練に遭ったことがあるならば、友達と仲たがいをしたことがあるならば、または、正しいことを擁護したことがあるならば、自分には救い主の平安が必要だということが分かるでしょう。十二使徒定員会のニール・L・アンダーセン長老は「救い主の平安が、世の中を吹き荒れる嵐を全て鎮めてくれます」と言っています。⁷

最近の総大会でアンダーセン長老が、伝統的な結婚を擁護したことであ



ざけられ悪口を言われたローレルの若い女性の話をしました。あざけりは、「神と神の生ける預言者の教えに忠実に従う」ために、時には堪え忍ばなければならない犠牲だということをこの若い女性は学びました。⁸

しかし、擁護するといっても、一人で擁護するわけではありません。心細いときや重圧に押しつぶされそうなどき、悲しいときや心配なとき、恐れや無力感を抱いたときには、いつでも平和の君に頼るとよいでしょう。平和の君に頼るとは、以下のようなことをすることです。

- 御霊がともいてくださるようにと天の御父に祈る。
- 聖典や生ける預言者の啓示に記された主の言葉を読む。
- 神殿に参入する。
- 教会やセミナーで救い主の生涯について学ぶ。
- 自分の罪を悔い改めて、救い主の贖罪の祝福にあずかる。
- 救い主に対する証を人に伝える。

救い主の平安を感じると、心を騒がせたりおじけたりする必要がなくなります（ヨハネ 14：26 - 27 参照）。

トーマス・S・モンソン大管長はこう言っています。「わたしたちの経験する試し、痛み、苦しみの深さを理解することがおできになるのは主だけです。逆境のとき、わたしたちに永遠の平安を与えてくださるのは主だけです。……慰めの言葉で、わたしたちの苦しむ心に触れてくださるのは主だけなのです。」⁹

イエスは模範を示してください

イエスはその教導の業を通して、幸

福への道をただ指し示すだけではなく、率先してその道を歩まれました。贖いを通して、人を愛するようわたしたちを導かれました。イエスは教えを通して、わたしたちを永遠の真理へと導かれました。完全な生活を送ることを通して、従順の道を歩むよう、わたしたちを導かれました。

「これまで地上に存在した最も偉大な模範は、わたしたちの救い主イエス・キリストです。主がこの世で果たされた務めは、人々を教え、愛し、仕えることでした」と十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老は言いました。そして、「[救い主は] 主の完全な模範に従うよう、……わたしたちを招いておられ[る]」と付け加えています。¹⁰

救い主が悔い改めと復活を可能にし、非常に大切な真理を教え、希望と平安を与え、完全な模範を示されたこ

とを理解すると、わたしたちは救い主を中心に生活するようになります。救い主を友とするとき、わたしたちは恐れを捨て、信仰をもって前進する勇気を持つことができるようになるのです。■

注

1. デビッド・A・ベドナー「容易に重荷に耐えられるように」『リアホナ』2014年5月号、89 - 90
2. D・トッド・クリストファーソン「イエス・キリストの復活」『リアホナ』2014年5月号、113
3. 「生けるキリスト——使徒たちの証」『リアホナ』2000年4月号、3
4. ディーター・F・ワークトドルフ「どんな状況にあっても感謝する」『リアホナ』2014年5月号、76
5. ジーン・A・スティーブンス「恐れてはならない、わたしはあなたと共にいる」『リアホナ』2014年5月号、83 参照
6. ヘンリー・B・アイリング「希望をもたらす貴い受け継ぎ」『リアホナ』2014年5月号、24
7. ニール・L・アンダーセン「霊を滅ぼす嵐」『リアホナ』2014年5月号、20
8. ニール・L・アンダーセン「霊を滅ぼす嵐」19 参照
9. トーマス・S・モンソン「わたしはあなたを見放すことも、見捨てることもしない。」『リアホナ』2013年11月号、87 参照
10. リチャード・G・スコット「わたしは手本を示したのだ」『リアホナ』2014年5月号、35

話し合いに参加する

日曜日に備えて、深く考える事柄

- イエス・キリストの贖罪によって、あなたの人生にはどのような祝福が注がれてきましたか。
- あなたが慰めを求めて読むイエスの言葉には、どんなものがありますか。
- 聖霊を通して救い主の平安を感じたときのことを考えてもらえますか。

実践してみること

- 今度救い主の模範や教えのおかげで正しいことを選べたら、それを日記に記録する。
- 聖餐を受ける準備として贖罪について研究する。
- イエス・キリストについて感じていることを家族に伝えたり、教会やソーシャルメディアで伝えたりする。



十二使徒定員会
ロバート・D・
ヘイルズ長老

永遠の 目標を 達成するには

人生の最も大切な目標を幾つか挙げたいと思います。この目標を目指して地上での使命を全うするならば、あなたは喜びを得るでしょう。これは永遠の目標であり、あなたが天の御父のもとへ名誉の帰還を果たすうえで役立ちます。以下のような目標です。

1. 神殿で結婚し、永遠に続く家族のきずなを育む。そのためによく祈り、子育てや仕事、生涯教育、趣味、娯楽といった人生の多くの側面のバランスをうまく取る。
2. 忠実かつ従順に教会の教えに従って生活し、バプテスマの聖約と神殿の聖約を守り、人生の良いものを常に大切に蓄える。
3. 物事を必ず永遠の視点から考え、王国に関わる事柄は永遠に続くが、この世の物事は一時的ではかないものであることを忘れない。

4. 次のことを忘れない。すなわち、生涯を通じて献身的に奉仕し、あなたの愛その他の支えを求めているかもしれない助けの必要な人の世話を常に行う。

以上は生涯の目標です。達成するにはこの目標を常に心に留めていなければならない、時間もかかります。目標を立てるだけで終わってはいけません。達成するための計画を立てなければなりません。

今晚または明日、自分の人生で何を達成したいか、どんな目標を掲げるべきか、深く考えてください。時間を取って書き出し、その後何年にもわたって読み返します。そして、書き出した目標を達成するために今日できることと明日できること、来週できること、数か月後にできることは何か、2、3時間かけて考えます。

あなたは、この大切な永遠の目標をどのようにして選び、設定しますか。そして、それと同様に大切な達成計画をどのようにして立てますか。忘れないでください。時も不可欠で非常に重要な熟慮すべき要素です。あなたが現在立っている地点から見ると、永

遠に続く事柄を達成するには、途方もない時間があるように見えるかもしれませんが。

時間は万人に与えられています。確かにそうです。しかし、時間がたったからといって、必ずしも成長しているとは限りません。

「現世は人が神にお会いする用意をする時期である。まことに、現世の生涯は、人が各自の務めを果たす時期である。」(アルマ 34 : 32)

秘訣は、神から靈感を受けて設定した目標を達成するための方法を賢く選び、その永遠の目標から気をそらすようなものや自分を引き離すようなものに惑わされないだけの人格と信念を築くことです。

時間を上手に使うならば、準備してあなたの人生の使命を果たすための時間は十分にあることを証します。それを行うのに一番いい時は今、つまり若い時なのです(アルマ 37 : 35 参照)。■

2004年12月11日、ブリガム・ヤング大学アイダホ校で行われた卒業式でのスピーチより

経験を分かち合う

youth.lds.org では、どのようにして永遠の目標を選んだかを他の人に伝えたり、他の青少年の話を読んだりすることができます。





わたしの人生の中心

キリストが人々を教え導かれたことは聖書を読んで知っていましたが、キリストがアメリカ大陸を訪れられたなど、実際にあり得るのでしょうか。

ロベルト・パチェッコ・プレーテル

父

はわたしが18歳になると、バプテスマを受けて好きな教会に入ることを許してくれました。わたしがキリスト教の教会に入りたいと思ったのは、それまでにいろいろな教会で聖書を研究して、イエス・キリストを信じていたからです。

ある日、おじが、二人の姉妹宣教師を家に招いてくれました。この二人はイエス・キリストのもう一つの証^{あかし}としてモルモン書を信じていることを強い確信をもって話しました。そして、イエス・キリストはアメリカ大陸を訪れられたと言ったのです。

それを聞いて、それは恐らく間違いだと、わたしは自分の意見を言いました。そんなことはそれまで聞いたことがなかったからです。姉妹宣教師の一人が目に涙を浮かべ、優しくわたしに言いました。「ロベルト兄弟、モルモン書に書かれていることが本当だということをあなたは知らないかもしれませんが、だからといって、わたしたち

の言っていることが間違いだということにはなりません。わたしはイエス・キリストがわたしたちを愛しておられることを知っています。キリストはこのアメリカ大陸に来て、聖地で教えたと同じ福音を教えられたのです。」

二人の宣教師は、最初に話したときにわたしの不安や疑問が解消するよう尽力してくれました。わたしは翌週また来てもらうことにしました。

その晩、わたしはモルモン書のページをばらばらとめくり始めました。タイトルページを読んだとき、ある言葉が気になりました。「イエスがキリストであり、永遠の神であり、すべての国民に御自身を現される」という言葉です。また、救い主がアメリカ大陸を訪れられた話を第3ニーファイ11章で読んでいて、心の中に喜びを感じました。そこで、宣教師から言われたことを実行したのです。つまり、この書物に書かれていることが本当のことかどうか、ひざまずいて天の御父に尋ねました。

祈り終わると、平安な気持ちと確かにそのとおりだという確信を感じました。でも一瞬、姉妹宣教師たちの涙に感動してその証を信じるようになっただけかもしれないと思いました。そこで、朝の4時を少し回るまで、モルモン書を読み続けました。すると、キリストがアメリカ大陸に来られたことと、キリストの真の福音をさらに学ぶよう主はわたしに望んでおられるという確信が、祈るたびに強くなりました。

わたしはモルモン書を数週間で読み終え、バプテスマを受けて真実の教会に入らなければならないと感じました。

モルモン書を読んだおかげでイエス・キリストにさらに近づくことができましたし、キリストを中心にした生活を送ることができるようになりました。わたしがこの宣教師たちとイエス・キリストの教会に巡り合えるよう救い主が助けてくださったことに、とても感謝しています。■

筆者はペルー、アレキバ在住です。

そこが知りたい



わたしは以前**不親切**でしたが、
変わりました。

福音を伝えたいのですが、
どうすれば自分の評判の悪さを
克服できるでしょうか。

まず、恐れに負けないでください。もしあなたが御霊^{みたま}を感じ、悔い改め、変わろうとしているなら、それは素晴らしいことです。この変化は、イエス・キリストの恵みが持つ、人に能力を授ける力によるものであることを覚えておいてください。主の助けがあれば、あなたは新たに生まれ変わり、評判を変え始めることができます。また、主はあなたが福音を伝えるための助けも与えてくださいます。評判を変えるには時間がかかりますが、それだけの価値があります。その過程であなたができることを以下に紹介します。

- 傷つけた相手に謝る。
- 以前親切にしなかった人たちに思いやりを示せるよう努力する。
- 常に誠実で正直でいる。
- 付き合っている人たちが他の人に不親切ならば、それをやめさせるか、彼らと付き合うのをやめる。そうしないと、あなたはその人たちと同類だと見なされるでしょう。
- モロナイ書第7章を研究し、慈愛を求めて祈る。■

救い主は、争いの心は 悪魔から来ていると言われました (3 ニーファイ 11:29 参照)。 異なる意見を持つことと 争うこととの違いは何でしょうか。

人それぞれが異なった意見を持つことは自然なことであり、イエス・キリストの弟子は自分の信条に反対されたときには立ち上がらなければならない時があ

ります。ただし、意見を述べるときは、怒ったり、辛辣^{しんらつ}であったり、攻撃的になったりせず、肯定的に事実^{じじつ}に即して話す必要があります。では、どのようにしたら論争を避け

られるでしょうか。

「不愉快な思いをさせずに反対する」という言葉を耳にしたことがあると思います。争いを避けるには、まずあなたの動機と望みを吟味しましょう。聖文には、「高ぶりはただ争いを生じる」とあります(箴言13:10)。もしあなたが「論争に勝つ」ことや「正しい」ことにこだわるならば、まず間違いなく争いの心が宿ります。

十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン長老は、争いを

避けるための方法を幾つか教えています。(1)「人々に思いやりを示[す]」、(2)「個人的な名誉や利益のためにペンを取ったり、口を開いて議論を引き起こしたりするのはやめる」、(3)「へりくだって主に従い、心から神を愛する」。¹ このようにすると、争いの心ではなく主の御霊^{みたま}を宿すことができます。■

注

1. ラッセル・M・ネルソン「『争い』という害毒」1989年7月号、73参照

最高の贈り物をする

わたしは、友人がこれまでにもらったどんな贈り物よりも最高の、誕生日の贈り物をしました。

マリエラ・ロドリゲス

わたしが13歳のとき、預言者は教会員に、5か月後の年末までにモルモン書を読み終えるよう勧め、そうすれば祝福もたらされると約束しました。ある日わたしがバスの中でモルモン書を読んでいると、シンシアという少女がわたしの隣に座り、何の本を読んでいるのかと尋ねてきました。わたしは、これはモルモン書という特別な書物だと答えました。年末までに読み終えて祝福を受けるのだと言い添えました。

シンシアはさらに質問をしてきたので、わたしはうちに来てそのことについてもっと話をしようと言いました。シンシアはわたしの誘いを受け入れてくれ、その後の数日、モルモン書と教会について何時間も話しました。

次の月曜日、わたしは彼女を家庭

の夕べに招待し、宣教師を紹介しました。宣教師が彼女にレッスンをし始めると、彼女は教会に通うようになり、青少年の全ての活動や教会の他の集会にも出席するようになりました。

シンシアはバプテスマを受ける決意をし、両親の許可を得てその年の誕生日にバプテスマを受けました。彼女は、今までにもらった贈り物の中で最高の贈り物だと言いました。彼女の母親と兄弟もバプテスマ会に出席しました。わたしは彼女に「主のみたまは火のごと燃え」（『賛美歌』3番）を歌うよう頼まれ、わたしの父はバプテスマの執行を頼まれました。彼女が水から上がると、わたしたちは抱き合って泣きました。わたしは、すばらしい幸福感を覚えたあの日のことを

決して忘れないでしょう。

1年後、わたしの家族は引っ越ししました。シンシアとすっかり仲良くなり、福音にあって姉妹になっていたのもとてもつらい思いをしました。

もう互いに近くには住んでいませんが、わたしたちはまだ親友です。よく電話で話しますし、最近彼女が電話をくれて、彼女のお母さんが宣教師からレッスンを受けていると教えてくれました。以前お母さんはレッスンを聞きたくないと言っていたので、とてもうれしかったです。シンシアは、いつか家族全員で教会に行きたいと話してくれました。そして、わたしが彼女に教会を紹介したことを感謝してくれました。■

著者はアメリカ合衆国テキサス州在住です。



手をかしてください!

毎日、世界中の子どもたちが、他の人を助ける方法を見つけて、他の人を気にかけていることをしめています。



クッキーと人形

ぼくの家族は、「奉仕の時」を決めて、奉仕しました。ぼくは弟たちと一緒に、お父さんやお母さんがいない子どもたちのために、人形を作りました。また、家族でチョコレートチップクッキーを作って消防士さんたちにあげたり、湖の周りをそうじしたりしました。奉仕できてうれしかったです。

トビン・P. 9才
(アメリカ合衆国、アイダホ州)



幸せな歌

特別な奉仕の日に、わたしたちは生活しえんセンターに行きました。初等協会の歌や他の歌を歌い始めると、みんな手をたたいて、一緒に歌ってくれました。おどっていた人もいました。わたしたちは、みんなをだきしめて、手作りのカードをわたしてきました。

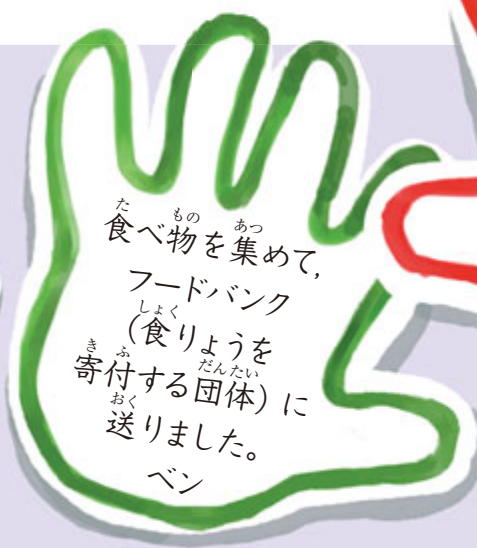
ポルトガル、レイリア地方部



クリスマスよりもすばらしい

お母さんとお父さんは、長い1日が終わってとてもつかれ切っていました。わたしはお皿をあらってかたづけて、ゆかやテーブルやカウンターをきれいにしました。それから、リビングと遊び部屋をきれいにしました。お母さんとお父さんが目を覚ましたとき、クリスマスよりもすばらしいと言ってくれました。

キャンブリー・G. 11才 (アメリカ合衆国、ジョージア州)



ヘルピングハンズを送ってください!

世界中に広げるには、いくつかのヘルピングハンズ(「助けの手」の意味)が必要でしょうか。よいことをして、知らせてください。

1. 紙の上に手を乗せて、形をなぞり、切り取ります。
2. その紙に、自分がだれかのためにした奉仕の行いや、だれかが自分のためにしてくれたことを書きます。大きなことでも小さなことでもいいです。
3. 自分の写真を入れましょう。
4. 両親や大人の人に手伝ってもらって、liahona@ldschurch.org から おうぶするか、3 ページのあて先に郵便で送ってください。

今から2015年10月まで、ヘルピングハンズを募集します。

くつしたボックス・プロジェクト

ホームレスの人々は、冬はとても寒い思いをします。そこでわたしたちは、地域のホームレスの人々のために温かいくつしたを集めることにしました。若い男性と若い女性が助けてくれたおかげで、あっという間に、ホームレスの人々のためのくつしたが何百足も集まって、くつしたボックスはいっぱいになりました。

カナダ、アルバータ州



しんやくせいしよ
新約聖書

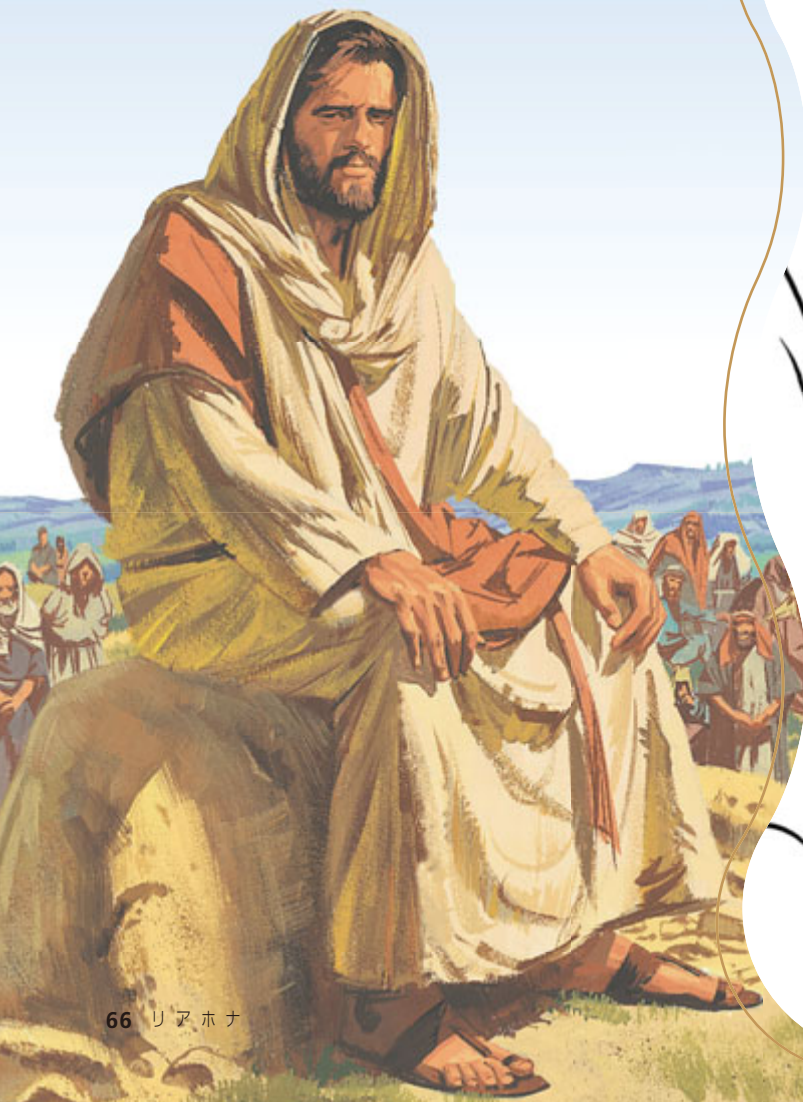
どくしよ

読書

チャレンジ

自分の羊を愛し、いなくなった1匹の羊をさがしに出かけた羊かいの物語をイエスは話されました。今年、みなさんは新約聖書に書かれたイエスの教えについてさらに学ぶことができます。68ページに書かれているせいくを読むたびに、番号に色をぬってください。毎週読んでいけば、今年の終わりまでに読み終えることができます。

大人のひとに手伝ってもらい、この表を取り外すか、liahona.lds.org から印刷します。■





しんやくせいしよどくしよ たっせい しゅうかん よ ていあん み
 新約聖書読書チャレンジを達成するために、1週間ごとに読むせいくが提案されています(66-67ページを見ましょう)。

しゅう 週	どくしよ か だい 読書課題		
1	イエス・キリストのために道をそなえる、バプテスマのヨハネ マタイ3:1-6; ルカ1:5-25, 57-80	27	わたしの羊を養いなさい マタイ16:15; ヨハネ21:1-17
2	イエス・キリストのごうたん マタイ1:18-25; ルカ1:26-38; 2:1-20	28	五旬節の日 ヨハネ14:25-27; 使徒2:1-24, 32-33, 36-47
3	イエス・キリストの少年時代 マタイ2章; ルカ2:21-52	29	使徒ペテロ マタイ4:18-19; 14:22-33; 16:13-17; 17:1-9; ルカ22:31-34, 54-62; 使徒3:1-9, 19-21; 4:6-20; 5:12-42
4	イエス・キリストのバプテスマ マタイ3:13-17; ヨハネ3:5	30	バルナバ、アナニヤ、サツピラ、殉教者ステパノ 使徒4:32-5:10; 6章; 7:54-60
5	サタンのゆうわくをお受けになるイエス・キリスト マタイ4:1-11; マルコ1:12-13; ルカ4:1-13	31	ペテロとコルネリオ 使徒10:1-11:18
6	神殿をきよめられるイエス・キリスト マタイ21:12-14; ルカ19:45-48; ヨハネ2:13-16	32	パウロの改心 使徒7:57-60; 8:1-3; 9:1-30; 26:9-23
7	使徒たちをめされるイエス・キリスト マタイ4:18-22; 16:13-19; マルコ3:13-19; 16:15; ルカ5:1-11; 6:12-16	33	パウロの最初の伝道 使徒13:4-11, 14-43; 14:5-10
8	山上の垂訓 マタイ5:1-6:4; 7:12; ルカ6:17-36	34	パウロの2度目の伝道 使徒15:36-41; 16:16-34
9	いのりについてお教えになるイエス・キリスト マタイ6:5-13; 7:7-11; 26:36-46; ルカ9:28-29; 11:2-4, 9-13; ヤコブの手紙1:5-6	35	パウロの3度目の伝道 使徒18:23; 19:1-7, 11-12, 20
10	病人をおいやしになるイエス・キリスト マタイ8:5-10, 13; 25:34-40; マルコ1:40-45; ルカ4:38-40; 7:11-17; ヨハネ4:46-54; 13:34-35	36	イエス・キリストのさいりん 使徒1:9-11; ジョセフ・スミス・マタイ1:1-4, 21-55
11	イエス・キリストと安息日 マタイ12:1-13; マルコ2:23-28; 3:1-6; ルカ13:11-17; 14:1-6; ヨハネ5:2-16	37	パウロのローマ人への手紙 ローマ1:16; 8:13-18, 31-39; 12:3-21
12	イエス・キリストはご自分の神権の力を使って人々を祝福された マタイ14:23-33; マルコ4:35-41; 6:33-44; ルカ9:37-43; 使徒10:38	38	パウロのコリント人への第一の手紙 1コリント6:19-20; 12:4-27; 13章; 15:20-22, 40-42
13	きせきを起こされるイエス・キリスト マルコ2:1-12; 5:21-43	39	パウロのコリント人への第二の手紙 2コリント4:5-18; 9:6-8; 12:6-10
14	種まきと小麦と毒麦 マタイ13:1-9, 18-30, 37-43; マルコ4:14-20; ルカ8:11-15	40	パウロのガラテヤ人への手紙 ガラテヤ2:16-21; 5:22-23; 6:7-10
15	まよい出た羊、なくなった硬貨、放蕩むすこ マタイ18:12-14; ルカ15章	41	パウロのエペソ人への手紙 エペソ1:3-12; 4:11-16; 6:10-18
16	良いサマリヤ人と、岩の上に建てられた家 マタイ7:24-27; 22:34-40; ルカ6:47-49; 10:25-37	42	パウロのピリピ人への手紙 ピリピ1:2-11; 2:12-13; 4:4-13
17	目の見えない人と10人の重い皮膚病にかかった人をおいやされるイエス・キリスト ルカ17:12-19; ヨハネ9章	43	パウロのコロサイ人への手紙 コロサイ1:9-20; 3:1-16
18	良い羊かい マタイ19:13-15; マルコ10:13-16; ヨハネ10:1-18	44	パウロのテサロニケ人への手紙 1テサロニケ2:1-12; 4:1-7; 2テサロニケ2:1-4; 3:10-13
19	思いやりのないしもべ マタイ6:12, 14-15; 18:21-35	45	パウロのテモテへの手紙 1テモテ1:12-17; 5:1-3; 2テモテ3:1-5, 14-17
20	10人のおとめ、才能、やもめのわずかな献金 マタイ25:1-13, 14-46; マルコ12:41-44; ルカ21:1-4	46	パウロのテトスとピレモンへの手紙 テトス1:1-4; 2章; ピレモン1:3-9
21	ラザロをよみがえらされたイエス・キリスト ヨハネ11:1-46	47	パウロのヘブル人への手紙 ヘブル1:1-6; 5:1-4; 11:1-11; 12:1-2
22	イエス・キリストの勝利のがいせんと最後のぼんさん マタイ21:1-11; マルコ14:12-26; ルカ19:29-38; 22:15-20	48	ヤコブの教え ヤコブの手紙1:5-6; 2:17-18; 3:2-13; 5:12
23	ゲツセマネでのイエス・キリスト マタイ26:36-46; ルカ22:40-46; ヨハネ3:16; 15:12-13	49	ペテロの教え 1ペテロ1:3-11; 3:18-20; 4:6; 2ペテロ1:2-8
24	うらぎられ、とらえられ、さいばんにかけられるイエス・キリスト マタイ26:14-16, 47-27; 31; ルカ22:47-23; 25	50	ヨハネとユダの教え 1ヨハネ2:1-6; 3:10-18, 23; 4:7-10; 5:1-3; 2ヨハネ1:4; 3ヨハネ1:4; ユダ1:20-22
25	十字架にかけられ、まいそうされるイエス・キリスト マタイ27:32-66; ルカ23:26-56; ヨハネ10:17-18; 15:13; 19:13-42	51	ヨハネの黙示録 黙示1:1-3; 2:7; 4章; 12:7-9; 20:12
26	イエス・キリストの復活 マタイ27:52-53; 28:1-20; ルカ24章; ヨハネ20章; 使徒1:3, 9-11; 1コリント15:5-6, 22	52	イエス・キリストのもとにきなさい——キリストは世の光、世の命であられる マタイ11:28-30; ヨハネ4:3-14; 6:35-51; 8:12; 14:6, 15

自分の時間を使って、 よいことをする

クレイトン・W, 10才 (アメリカ合衆国, ミズーリ州)

ぼくの住んでいる所は、とても
寒くなって雪がたくさんふること
があります。時には、大雪で学校
が休みになり、家のとなりにある大
きなおかをそりですべり下りたりす
ることもあるのです。ある日、スノー
スーツを着て、帽子をかぶって、
手ぶくろをしていると、
お母さんから寒くて風が強
すぎる

ので外には出られないと言われまし
た。家にいなければならなかったの
で、ぼくは機嫌が悪くなり、文句を
言い始めました。するとお母さんか
ら、「自分の部屋に行つて、自分の
時間を使ってできるよいことを見つ
けなさい」と言われました。

部屋に行つてから、救い主は自分
に何を望んでいらっしゃるだろう
と考えました。それでぼくは、信仰
箇条を覚えることにしました。数時
間後、1階に下りて行つて、お母さ
んやお兄ちゃんや妹たちに、機嫌
が悪くてごめんなさいと伝え、信仰
箇条を全部覚えたと言いました。

みんなとてもおどろいていました。
ぼくは信仰箇条を全部暗唱して聞
かせてあげました。自分の時間
をよいことに使つたので、とて
も良い気持ちになりました。

午前中、空いた時間を使つ
て救い主についてもっと学ぼうと
決心したことを、救い主
は喜んでくださったと思いま
す。救い主が、ぼくに家族や
聖文をあたえて、天のお父様
やおん子イエス・キリストにつ
いてもっと学べるように助けて
くださっていることに感謝して
います。■



イラスト/スパンサー・ウラソウ・ウィリアムズ

わたしたちの ページ



ぼくのお父さんはワードのビショップです。ぼくのバプテスマの前に、お父さんがめんせつをしてくれました。とてもうれしかったです。ぼくは、学校の親友とそのかぞくをバプテスマ会にしょうたいすることにしました。そして、みんな来てくれました。そのとくべつな日をぼくはけっしてわすれないでしょう。

エフレイン・W, 8才 (スペイン)



ぼくは、かぞれきしのウェブサイトをひらいて、せんその名前を見つけるほうほうを知っています。そのせんそがしんでのぎしきがひつようかどうか、チェックします。これが、しゆのわざをすすめるためにぼくにできることです。

ステファン・S, 6才 (フィリピン)



ローラ・D, 8才 (ブラジル)



とくべつなしょうにん
特別な証人



じょうに しょとていじんかいがくちう
十二使徒定員会会長

ボイド・K・
パッカー会長

じょうに しょとていじんかいのかいじんは、
イエス・キリストの
特別な証人です。

せいぶん

聖文は どのようにわたしを 助けてくれるでしょうか



せいぶん 聖文は……

- どこへ行き、何をすべきかを教えてください。
- 希望と知識をあたえてくれます。
- イエス・キリストのあかしが得られるように、助けてくれます。
- 霊的な守りをあたえてくれます。

まいにちのよていの中に、聖文を読むことを必ず取り入れるようにしましょう。そうすれば、祝福があたえられます。

人生の早い時期に聖文から学ぶようにするなら、歩むべき道が分かるようになるでしょう。■

「霊的な守りを受けるための鍵」『リアホナ』2013年11月号、26-28から

ひみつ



ジェシカ・ラーセン
ほんとうにあった話をもとに書かれました。

「できることはだれにもしてあげなさい」
《『小さな川が』『子供の歌集』116 - 117》

「アイビーはだめだよ。女の子じゃないか。」ブレードンがアダムの後ろからささやきました。

でも、アダムはその日、ドッジボールチームのキャプテンだったので、選手を選びました。「アイビーを選びます。」アダムは少し大きな声でくり返しました。てきチームのキャプテン、タイラーはにやにや笑っていました。ガルシアコーチでさえ、アダムが二人目に選んだ名前を聞いておどろいた顔をしていました。

アイビーもおどろいた様子で、はずかしそうに一步前に出ました。ブレードンは、うなり声を出しました。

アイビーはただの女の子ではありませんでした。クラスで一番小さい女の子だったのです。あまり足も速そうに見えませんが、ボールの方が大きく見えるくらいです。「ボールを持ち上げることさえできないじゃないか。」歩いて来たアイビーを見て、ブレードンが言いました。

「多分、アイビーはうちのひみつ兵器になるよ」と、アダムがみんなを安心させるように言いました。でも、それはアダムがアイビーを選んだ理由ではありませんでした。前にアイビーが「スポーツをするときは、いつも最後に選ばれるからいやだ」と話してくれたことがあったのです。他の男の子たちはアイビーをからかいましたが、アダムはお父さんとお

母さんから女の子にはそんけいの気持ちを表さないといけなよと、教えられていました。それで、アイビーを選んだのです。タイラーがクラスで一番大きな男の子を選んでいながら、アダムは自分のはんだんが間ちがっていないといひなど思いました。

全員が二つのチームに分かれると、ガルシアコーチの笛の合図で、各チーム全員がそれぞれ反対側のコートのはしに向かって走って行きました。ガルシアコーチがタイラーにボールをわたしました。タイラーはアダムのチームをざっと見回すと、アイビーにねらいを定め、うでを後ろに引き、ボールを投げました。

バーン！ ボールが地面にたたき

兵器



アイビーがそこまでできるとは、だれも思（おも）っていませんでした。

つけられ、だれにも当たらずにはねかえりました。アダムは目をぱちくりしました。アイビーはちょうどいいタイミングでにげていました。アダムの周りにいた人はみんなおどろいたようでしたが、アダムはただにっこりしました。もしかしたら、アイビーを選んだのは、とても良い考えだったのかもしれない。

試合は続きました。タイラーは何とかアイビーをねらってボールを当てようとするのですが、アイビーはひらりひらりと身をかわし続け、こうげきをくぐりぬけていました。だれもアイビーにボールを当てることができませんでした。タイラーとそのチームの何人かは、アイビーをねらうことにいそがしく、他のメンバーには

目もくれませんでした。アダムは内心ににまりました。アイビーは小さくてすばしっこく、なかなかボールに当たらないので、他の人より上手な選手になっていたからです。

ついに、アダムのチームが試合に勝ちました。「ひみつ兵器っていう言葉、ぴったりだったよ。アイビーはかなり上手だね」とブレードンが言いました。

「そうだね」とタイラー。「今度アイビーがぼくのチームに来てくれたら、きっと勝つな。」アイビーはチームメートに囲まれながら、えがおで教室にもどりました。

アダムはみんなの後ろを歩きながら、思わずえがおがこぼれてしまうのをおさえられません。アダムはア



失敗する
運命の人などいない

「だれもがちがっていて、ちがったこうげんをします。失敗する運命の人などいません。」

大管長会第一顧問 ヘンリー・B・アイリング管長
「高い目標を持てるよう青少年を助ける」
『リアホナ』2012年11月号, 60

アイビーに親切にできたし、他の男の子たちがもう少女の子にそんげいをしめせるように助けることもできました。ひみつ兵器はひみつでも何でもなくて、ただ親切にする、それだけだったのです。■

このお話を書いた人はアメリカ合衆国アリゾナ州に住んでいます。

イエス・キリストについて まな たび 学ぶ旅



今年、初等協会では、新約聖書のページをめくってイエスの歩まれた道にならい、イエスの人生について学ぶという、すばらしい旅に出かけます。みなさんのお父さんやお母さんも、日曜学校のクラスで、みなさんと同じように新約聖書を学びます。みなさんと家族が一緒に新約聖書についてもっと学べるように、いくつかの活動をしようかしましょう。

家族で話し合うためのアイデア

新約聖書を学ぶのはなぜ大切で、なぜ楽しいのでしょうか。救い主についてもっと学ぶことで、わたしたちはどのようにさらに強められるのでしょうか。必ず一人一人に話してもらおうようにしましょう。その後で、新約聖書の書の名前を、工夫して暗唱したり、カードに書いて順番にならべたりしてもよいでしょう。

うた 歌とせいく

- 「イエス様の話聞かせて」(『子供の歌集』36)
- マタイ 11:29

せいぶん よ ていあん 聖文を読むときの提案

聖文に印をつけると、後で好きなせいくを見つけやすくなります。

えんぴつ いろえんぴつ つか
鉛筆やペン、色鉛筆などを使います。

イエスが語られている場面のせいくに線を引いてもよいですし、せいくの番号に丸をつけるだけでもよいでしょう。

お父さんやお母さんに、store.lds.org で英語、あるいはスペイン語の新約聖書を2ドル50セントで注文してもらうことができます(訳注 — 日本では、配送センターを通じて、聖書〔中型〕を860円で買うことができます)。

もっと知る

マリヤとヨセフは、政府の人口調査のためにここに来ました。

もっと知る

ヘロデ王がイエスにやきもちをやいたので、ヨセフとマリヤは安全のためにイエスをここに連れて行きました。

もっと知る

マタイ 2:23

もっと知る

イエスがお生まれになった後、イエスをおがむために、羊かいたちや博士たちがここに来ました。

もっと知る

マタイ 2:14

もっと知る

ヨセフとマリヤは、おさな子イエスをここに連れて来ました。また、イエスが12才になられたときも、ここに連れて来ました。イエスは一人でのこり、神殿の中で人々に教えておられました。

もっと知る

マタイ 2:1

もっと知る

マリヤは、天使ガブリエルのおとずれを受けて、イエスがお生まれになることを伝えられたとき、ここに住んでいました。

もっと知る

ヘロデによって建てられた神殿は、かべに囲まれたこの大きな町の中にもありました。

もっと知る

この国はイスラエルの近くにあります。

もっと知る

イエスは少年時代、マリヤとヨセフと一緒にここに住んでおられました。

もっと知る

ルカ 2:42 - 49

イエスが歩まれた道

順番に、「もっと知る」カードを1まい引いてもらいます。そこに書かれている事実を読み上げたり、せいくを見つけて読んでもらったりします。その後、そのカードに書かれている場所を、地図でかくにんします。



ナザレ



エジプト



エルサレム

ベツレヘム





ちゅうおうしやうきようかいちやう
中央初等協会会長

ローズマリー・M・
ウィクソン

アビーの10の目標リスト

「これが……すべての人にあたえられる
救いの計画である。」(モーセ6:62)

あるとき、若い女性のクラスを訪問
したことがありました。
教師がクラスのみんなに、人生で
成しとげたい大切な10の目標を書く
ように言いました。その後、何を
書いたかをみんなで発表しま
しょうとすすめました。最近
12才になったばかりのアビー
という女の子がわたしのと
なりにすわっていました。

これはアビーの書いたリストです。
アビーが思いえがいていた目標
は、天のお父様がわたしたち全員の
ために用意してくださった計画その
ものでした。みなさんの道が、天の
お父様のもとにもどるといふ最も
大切な目標に向かってのびてい
るなら、みなさんはそこにたど
り着くことができます。■

「語り合い、耳を傾ける時間を
持つ」『リアホナ』2012年
4月号、37から

1. 大学に行く。
2. インテリアデザイナーになる。
3. インドに伝道に行く。
4. 神殿で帰還宣教師と結婚する。
5. 子どもを5人産んで、自宅を持つ。
6. 子どもたちを伝道に送り出し、大学に行かせる。
7. 「クッキーで喜ばす」おばあちゃんになる。
8. 孫をあまやかす。
9. 福音をもっと勉強して、人生を楽しむ。
10. 天のお父様のもとにもどってともに住む。

あなたの10の目標リスト

あなたの人生で達成したい10の目標を書き
出してください。そしてそれを、日記やかべなど、
よく目につく場所にはってください。

しんでんで おし お教えになる イエス ルカ 2:42-47

このページを あつ紙か だんボールに
このりで はります。絵の 形に 切っ
て、わりばしを つけたり、紙ぶくろに
はったりします。さんしょうせいくを 書いた
ふうとうに、絵を 入れます。■

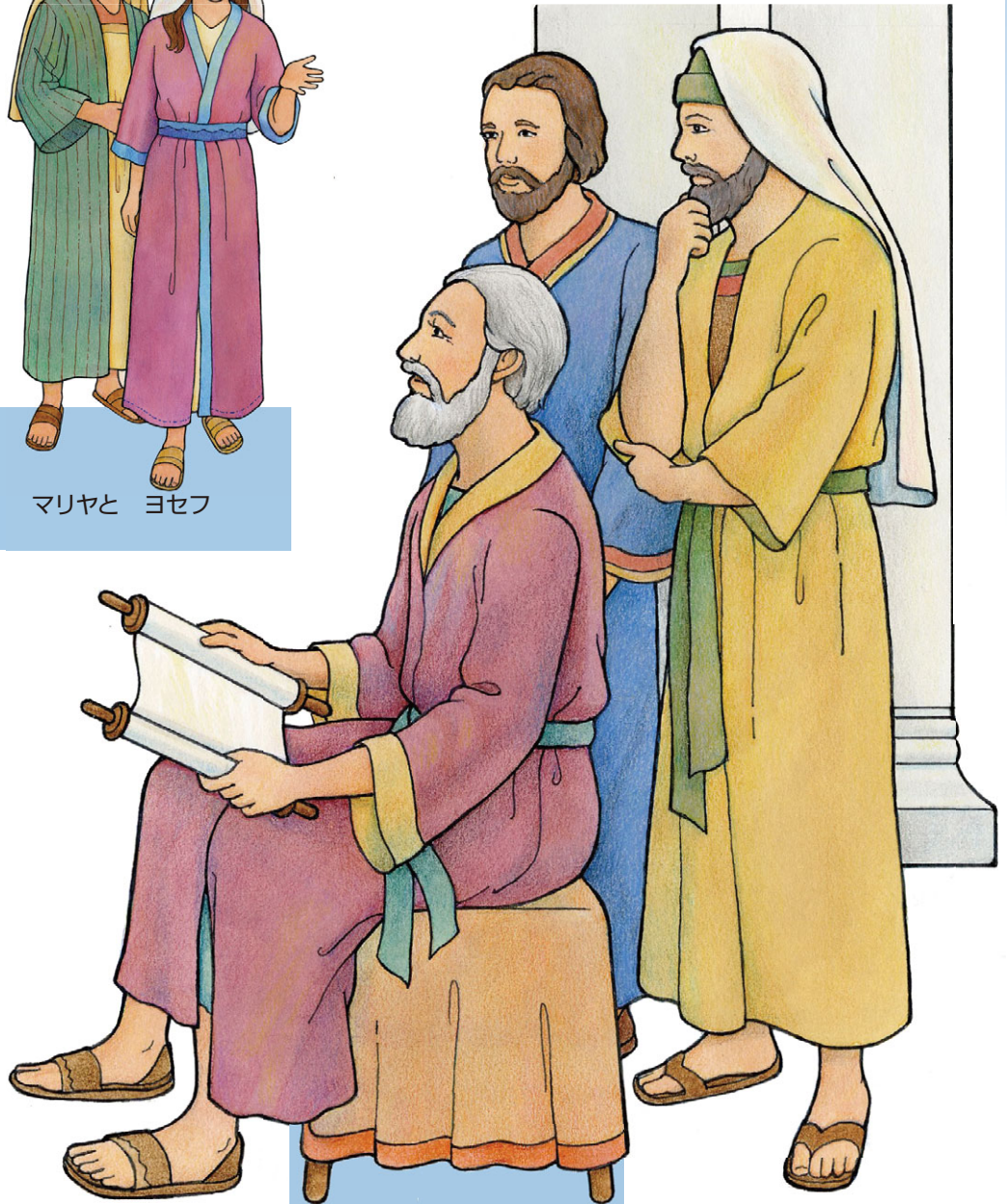
liahona.lds.org で、もっと たくさん いんさつできます。



イエス (12才)



マリヤと ヨセフ



きょうしたち

バスの中の

ミツイー・ヒメネス・ラミレス

ほんとうにあった話をもとに書かれました。

ソフィアはもうすぐ8才で、バプテスマを受けるじゅんびをしていました。大切なことをたくさん学んでいましたが、その中の一つは、いのりについてです。いつでも、どこでも、天のお父様にいのれることを知りました。

ある日、ソフィアとお母さんはお父さんの仕事場に行ってみることにしまし

た。お父さんはちがう町で働いていたので、長い旅になりそうです。バスと、トラックと、タクシーを乗りついで行くのです。

バスに乗っている間、ソフィアはねむってしまいました。目が覚めたとき、赤ちゃんの泣き声がありました。赤ちゃんを連れてお父さんとお母さんがバスに乗っていたのですが、

赤ちゃんは病気で大きな声で泣いていました。お父さんとお母さんは心配そうな顔をしていました。

ソフィアは赤ちゃんのことも、お父さんとお母さんのこともかわいそうになりました。そのとき、ある考えがうかびました。そしてお母さんの耳にこうささやいたのです。「天のお父様においのりして赤



いのり

ちゃんを祝福^{しゅくふく}してくださる
ようにお願い^{ねが}してもいいか
しら。」

「もちろんよ」とお母^{かあ}さん
はにっこり^いして言いま
した。

ソフィアは頭^{あたま}を下^さげると、
声^{こえ}は出^ださずにいのりま
した。一生^{いっしょうけんめい}懸命^{めい}にいのり
ました。赤ちゃん^{あか}を祝福^{しゅくふく}
してくださるよう^{てん}に、天^{てん}
のお父^{とう}様^{さま}にいのりました。

気分^{きぶん}が良^よくなって、泣^なき
やむよう^{たす}に助^{たす}けてくださ
いと願^{ねが}い求^{もと}めました。

ソフィアは、いのったと
おりにならない^しこともある
と知^しっていました。また、
いのりの答^{こた}えがすぐには
あたえられない^しこともあ
ると知^しっていました。でも
そのとき、すぐ^{あか}に赤^{あか}ちゃん
は落^おち着^つき、泣^なきやんだ
のです。気分^{きぶん}も良^よくなっ

たようでしたし、お父^{とう}さん
もお母^{かあ}さんも、前^{まえ}ほど心
配^{ばい}していない^{あたた}ようでした。^{しあわ}

ソフィアは温^{あたた}かくて幸^{しあわ}
せな気^き持^もちを感^{かん}じまし
た。赤^{あか}ちゃんとお父^{とう}さん
とお母^{かあ}さんのこと^{おも}を思^{おも}
うと、うれしくなりました。
天^{てん}のお父^{とう}様^{さま}が、自分^{じぶん}のい
のりを聞^きいてくださ^しったと
知^しりました。■

このお話^{はなし}を書^かいた人^{ひと}はメキシコ^すに住^すんでいます。





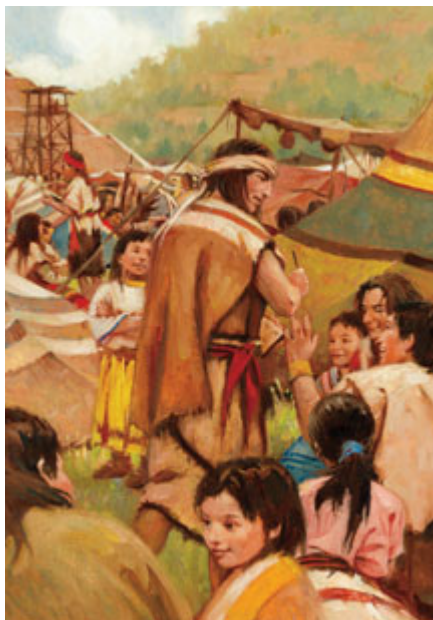
ハロルド・B・
リー大管長
(1899-1973年)

どうしたら主が ゆる 赦してくださったこと が分かりますか

そのような質問をしてくる人に、
皆さんならどう答えるでしょうか。

数年前、[マリオン・G・]ロムニー
管長〔1897-1988年〕とわたし
がオフィスにいたときのことで
す。ドアが開いて、一人の立派な青年が
入って来ました。しかし、その青年の
表情にはありありと苦難の色がうかが
えました。青年は言いました。「リー
長老、ロムニー長老。わたしは明日初
めて神殿に入ります。わたしは過去に
ある過ちを犯し、ビショップとステーク
会長のところへ行き、その罪を完全
に告白しました。そして、わたしが
悔い改めて二度とそのような過ちを
犯さずに一定の期間が経過したので、
ビショップとステーク会長は、神殿に
入る準備ができたかと判断してくれま
した。でも、それで十分とは言えないの
です。わたしは知りたいのです。どう
したら主もわたしを赦してくださった
と知ることができますか。」

そのような質問をしてくる人に、皆
さんならどう答えるでしょうか。わた
したちはしばらく深く考えて、モーサヤ



書にあるベニヤミン王の説教のことを
思い出しました。そこには、バプテスマ
を求める群衆のことが書かれています。
群衆は、自分たちが肉の欲に
支配されている有り様を顧みて、次の
ように言いました。

「そして彼らは皆、声を合わせて大
声で叫んだ。『おお、憐れんでくださ
い。わたしたちが罪の赦しを受けて
心が清められるように、キリストの贖
いの血の効力を及ぼしてください。
……

……彼らがこれらの言葉を語り終
えると、主の御霊が彼らに降られた。
そして彼らは、罪の赦しを受け、良心
の安らぎを得たので、喜びに満たされ
た。』(モーサヤ4:2-3)

これこそが答えでした。

自分が何者であろうと、どこにいよ
うと関係なく、罪を悔い改めるために
自分のできることは全て行い、能力の
限りを尽くして償いと回復をしたなら、
また、その罪が教会員としての資格に
関わるものである場合に、しかるべき
権能を持つ人のところへ行ったら、
そのときには、主が自分を受け入れて
くださったのかどうか知りたいと心か
ら願うことでしょう。もし心の奥底か
ら良心の安らぎを求め、見いだすな
ら、そのしるしによって、主が悔い改
めを受け入れてくださったことを知る
ことができるのです。しかし、サタン
は別の考え方を抱かせようとするこ
とでしょう。しかも時には、既に1度過
ちを犯したのだから元に戻ることはで
きない、だからどんどん罪を犯し続け
た方がいい、とそそのかすかもしれま
せん。これは大きな偽りです。赦し
の奇跡は、悪い行いを捨て去って、
二度と同じ過ちを犯さない人々には皆
与えられるものです。■

「汝ら聖なる所に立つべし」『聖徒の道』1974年
3月号、140より抜粋

洞 察



人生がうまくいかないとき、どうしたら喜びを見いだせるでしょうか。

「人生の大半は自分の態度で決まります。物の見方や人への対応のしかたで、全てが異なってきます。最善を尽くし、その後、自分の置かれている状況をよしとすることを選ぶならば、どのような状況にあっても平安と満足を得ることができます。」

今月号のその他の記事

ヤングアダルト

しばしばともに 評議する

実りある家族会議のためにこれらの6つの原則を使いましょう。



42
ページ

青少年



48
ページ

2015年の ミューチャルのテーマ

中央若い女性と中央若い男性の会長会が、教義と聖約第4章2節についての考えを話してくれました。

子ども

新約聖書 読書 チャレンジ

今年、新約聖書の決められた聖句を読むたびに色をぬる活動をしてみましょう。



66
ページ

